

2024年度版

学習のてびき 2024

京都精華大学

← KYOTO SEIKA UNIVERSITY

2017～2020年度入学生向け

2024年度版

学習のてびき 2024

京都精華大学

← KYOTO SEIKA UNIVERSITY

2017～2020年度入学生向け

1 はじめに 004

建学の理念・教育理念	005
教育目標と3つのポリシー	006
沿革	007
学部・研究科の構成	008
年間の流れ	009
SDGsの取り組み	010

2 学生生活 011

学生生活の基礎知識	012
大学メールアドレス	016
セイカ・ポータル	018
経済的支援	022
学生生活の支援	025
学内のルール	027
緊急事態発生時の対応・事前対策	029
ケガ・体調不良時の対応	030
様々なトラブルを防ぐために	031

3 キャリア支援 033

セイカのキャリア支援	034
------------------	-----

4 国際交流 039

セイカの国際交流	040
----------------	-----

5 教 学 042

授業科目	043
卒業・修了・進級	047
履修登録	048
授業	050
単位修得	053

6 カリキュラム 059

全学共通カリキュラム	060
------------------	-----

芸術学部	072
造形学科	072

デザイン学部	078
イラスト学科 イラストコース	081
ビジュアルデザイン学科 グラフィックデザインコース／ デジタルクリエイションコース	084

プロダクトデザイン学科 プロダクトコミュニケーションコース	088
ライフクリエイションコース	092
建築学科 建築コース	097

マンガ学部	101
マンガ学科 カートゥーンコース	105
ストーリーマンガコース	108
キャラクターデザインコース	111
新世代マンガコース	114
アニメーション学科 アニメーションコース	117

ポピュラーカルチャー学部	121
ポピュラーカルチャー学科 音楽コース／ファッションコース	121

人文学部	129
総合人文学科	129

7 大学院 138

教育方針	139
博士前期課程・修士課程	143
博士後期課程	153

8 資格課程 158

資格課程の概要	159
教職課程	160
博物館学芸員課程	180
図書館司書課程	182

9 諸規程 184

京都精華大学 学則	185
京都精華大学大学院 学則	190
京都精華大学 学位規程	193
京都精華大学 履修規程	195
京都精華大学 各種試験およびレポート等における 不正行為に関する規程	201
京都精華大学大学院 博士前期課程および修士課程 学位審査規則	202
京都精華大学大学院 博士後期課程 学位審査規則	203

10 施設 206

キャンパスマップ	207
学内施設	208
学外施設	220

1 はじめに

INTRODUCTION >

建学の理念・教育理念

京都精華大学の理念

京都精華大学は、1968年にリベラルな政治学者であった初代学長岡本清一を中心にまったく新しい大学の創造をめざすべく誕生しました。岡本清一は、学長就任の条件として、「教育の基本方針に関する覚書」を提示しました。この覚書には、京都精華大学の建学の理念ともいえる「人間尊重」「自由自治」がうたわれています。

「人間尊重」「自由自治」を基盤とし、新しい人類史の展開に対して責任を負い、世界に尽力する人材の育成を使命としてきた京都精華大学では、学生、教員、職員がすべて人格的に平等であり、全員が大学の創造に参加しています。

● 教育の基本方針に関する覚書

1. 京都精華短期大学は、人間を尊重し、人間を大切にすることを、その教育の基本理念とする。この理念は日本国憲法および教育基本法を貫き、世界人権宣言の背骨をなすものである。
2. 京都精華短期大学は特定の宗教による教育を行わない。しかし諸宗教の求めてきた真理と、人間に対する誠実と愛の精神は、これを尊重する。
3. 学生に対しては、師を敬うことが教えられる。師を敬うことなくして、人格的感化と学問的指導を受けることはできないからである。そして敬師の教育を通じて、父母と隣人に対する敬愛の心を養う。
4. 教員の学生に対する愛情責任は、親の子に対するそれが無限であるように、無限でなければならない。職員もまた教員に準じて教室外教育の一斑の責任を負う。
5. 学内における学生の自由と自治は尊重され、その精神の涵養がはかれる。従って学生は、学内の秩序と環境の整頓に対して責任を負わなければならない。
6. 礼と言葉の素直さが、新しい時代にむかって正され、品位のない態度と言葉とは、学園から除かなければならない。
7. かくしてわが京都精華短期大学における教育の一切は、新しい人類史の展開に対して責任を負い、日本と世界に尽くそうとする人間の形成にささげられる。

教育理念

初代学長岡本清一の建学理念は、その時々を担う人々によって新しい理解が加えられ、時には議論の対象となってきました。2003年春、建学理念の継承と再生を図るため、京都精華大学はあらためてその使命と基本理念を明らかにしました。

● 京都精華大学の使命

1. 京都精華大学は、人間を尊重し人間を大切にすることを教育の基本とし、学問・芸術によって、人類社会に尽くそうとする自立した人間の形成を目的とする。
2. 京都精華大学は、社会に責任を負う自立した人間の形成という目的のために、恒に現実の社会的視点を維持し、広く社会に貢献する活動を行う。
3. 京都精華大学は、教員、職員、学生によって一個の有機的社会を構成し、この大学社会における人間的な交流を基礎にして教育を行う。

● 京都精華大学の基本理念

1. 京都精華大学は、広く国内外に開かれた教育を行う。人間が国家、宗教、民族の対立を乗り越えて共に生きるためには、その価値観の違いを超えて人間的な信頼関係を創出しなければならず、国家、宗教、民族を超えた人間的な交流の体験が必須である。
2. その教育において、特定の宗教・思想による教化を行わない。しかし、歴史を通じて人類が求めてきた普遍的な価値と、人間に対する誠実と愛の精神は、これを尊重する。
3. その教育は、共生を目指し、なお自立する人間の形成を目的とするために、現実の人間の問題を扱う学問・芸術の探求に基づき行わなければならない。その知的資源の創造的な編成と運用は、広く国内外に貢献することを目指すなければならない。
4. そのように現実社会に対する建設的批判と貢献を目指す、京都精華大学の教育と研究の活動は、また恒に現実と対峙し社会的視点を維持する大学の経営によって保障されねばならない。
5. 京都精華大学は、教員、職員、学生に開かれた大学社会を組織し、この社会を人格的平等主義に基づき運営する。各構成員が自覚的に選択した価値観は、対等にこれを尊重し、特定の価値観の絶対化は、人間の自由を抑圧し個人の自立を妨げるものとして、これを拒否する。
6. この大学社会は、構成員の自己啓発と相互の建設的批判によって日々刷新され、新たな教育と研究の土壌を形成する。品位のない態度と言葉は、この大学社会から除かれなければならない。構成員間の身分差別は、本学の理念とは無縁である。
7. すべての構成員は、この大学社会の規範に従うことが求められるとともに、新しい大学の創造に参加する権利を有する。

教育目標と3つのポリシー

教育目標（目指すべき人材像）

京都精華大学は、日本国憲法および教育基本法を貫き、世界人権宣言の背骨をなす「人間尊重」を教育の基本とし、「自由自治」を建学の理念としています。この考えのもと、社会の課題を克服し、全人類が幸福に共生する地球社会を築く人間の形成を目標としています。私たちはこの目標を実現するために、以下に定める能力・資質を備え、それらを総合的に発揮できる人間を育成します。

	ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)	アドミッション・ポリシー (入学受入れの方針)	カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)
1 知識・理解・技能	1 多様性を理解する力 人類の文化、社会と自然に関する幅広い知識と多角的な視点を身につけている 2 専門知を活用する力 特定の学問分野における知識・技能を体系的に理解し、その分野に固有の視座や思考方法を身につけている	1 高等学校の教育課程における基礎学力・技能を有している	京都精華大学は、学位授与の方針に掲げる知識・技能などを修得させるために、全学教養科目、全学専門科目、学部専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目のナンバリングおよびカリキュラム・マップにより、カリキュラムの体系を明示します。 教育内容、教育方法、評価について以下のように定めます。 1 教育内容 (1)全学教養科目 全学教養科目は、専門教育を相対化しその社会的意義と本質を捉える力を伸ばすため、様々な学問領域にわたる教養科目を配置します。 (2)全学専門科目 全学専門科目(副専攻、コラボレーション)では、芸術・文化の専門性に加えて、専門的能力を社会に展開し、役立てるための科目を配置します。 (3)学部専門科目 学部専門科目では、専門分野の基礎から専門的知識・技能や主体的に取り組む態度を修得し、それらを総合的に活用する力を養うため、体系的に科目を配置します。
2 思考・判断・表現	1 論理的に思考し判断する力 自ら設定した課題について、多角的な視点から論理的かつ客観的に分析・考察し、解決できる 2 考えを表現する力 修得した知識・技能・態度を基に、知性と感性を適切に表現できる 3 多様な人とコミュニケーションする力 社会的な文脈を判断して、他者に自分の考えを伝達できる	1 身近な問題について、知識や情報をもとに筋道を立てて思考できる 2 他者の意見を理解し、自分の考えをわかりやすく表現できる	2 教育方法 (1) 学生の主体性を伸ばすため、能動的学修の視点を取り入れた教育方法を実施します。 (2) 授業内・外の学修時間を考慮した授業内容を設計します。 (3) 学修成果の可視化を通じて、学生の自律的な学修を支援します。
3 関心・意欲・態度	1 他者と協働する力 自らの個性や適性を活かして行動し、目標を持って多様な人々と協働できる 2 社会と他者に貢献する力 修得した知識や技能を適用し、社会の課題解決に貢献できる	1 新しい領域や多様な人々に対して先入観なく向き合い、生涯にわたって学習を継続する意欲がある 2 学びたい学部・学科の知識や経験を社会で活かしたいという目的意識を持っている	3 学修成果の評価 本学では、学位授与の方針に掲げる能力・資質およびこれらの総合的な活用力の修得状況を、「学部・学科レベル」「科目レベル」の2つのレベルで把握し、評価します。 各レベルの評価の実施方法は、以下のとおりとします。 ①学部・学科レベルの評価は、学部学科所定の教育課程における卒業要件達成状況(単位取得、GPA)、進級要件達成状況(単位取得、GPA)により行います。 ②科目レベルの評価は、シラバスで提示された科目の学修目標に対する評価により行います。

沿革

京都精華大学は、1968年に英語英文科、美術科の2学科をもつ短期大学として開学しました。
1979年に美術学部を有する4年制の大学となってからは、1989年に人文学部の開設、2006年にデザイン学部、マンガ学部の開設、
2013年にポピュラーカルチャー学部を開設するなど、学問の領域をつねに広げてきました。
2018年には創立50周年を迎え、今後も新たな挑戦を続けていきます。

1968年	4月	京都精華短期大学開学。 美術科・英語英文科を設置。
1973年	4月	美術科デザインコースにマンガクラスを設置。
1979年	4月	京都精華大学開学。美術学部造形学科、美術学部デザイン学科を設置。
1989年	4月	人文学部人文学科を設置。
1991年	4月	京都精華大学大学院を設置（美術研究科造形専攻・デザイン専攻）。
1993年	4月	大学院人文学研究科を設置。
2000年	4月	人文学部に環境社会学科を設置。 芸術学部デザイン学科にビジュアル・コミュニケーションデザイン分野・映像分野・ プロダクトコミュニケーション分野を設置。 芸術学部マンガ学科（ストーリーマンガ分野・カートゥーンマンガ分野）を設置。
2003年	4月	人文学部に社会メディア学科・文化表現学科を設置。 大学院芸術研究科に博士後期課程を設置。
2006年	4月	デザイン学部（ビジュアルデザイン学科・プロダクトデザイン学科・建築学科）を設置。 マンガ学部（マンガ学科・マンガプロデュース学科・アニメーション学科）を設置。 芸術学部素材表現学科・メディア造形学科を設置。
	11月	京都国際マンガミュージアムを開設（京都市との共同事業）。
2009年	4月	人文学部を再編し、総合人文学科を設置。
2010年	4月	大学院芸術研究科を再編し、デザイン研究科デザイン専攻修士課程・建築専攻修士課程 およびマンガ研究科マンガ専攻修士課程を設置。
2012年	4月	大学院マンガ研究科に博士後期課程を設置。
2013年	4月	ポピュラーカルチャー学部ポピュラーカルチャー学科を設置。 ビジュアルデザイン学科を再編し、イラスト学科を設置。 マンガ学科にギャグマンガコース・キャラクターデザインコースを設置。
2017年	4月	芸術学部造形学科・素材表現学科・メディア造形学科を再編し、造形学科を設置。 マンガ学科に新世代マンガコースを設置。
2021年	4月	ポピュラーカルチャー学部と人文学部を再編し、メディア表現学部と国際文化学部を設置。 人間環境デザインプログラムを開設。 プロダクトデザイン学科にファッションコースを設置。

学部・研究科の構成

※2017～2020年度入学生の学部構成です。

芸術学部

造形学科

洋画専攻

日本画専攻

立体造形専攻

陶芸専攻

テキスタイル専攻

版画専攻

映像専攻

デザイン学部

イラスト学科

イラストコース

ビジュアルデザイン学科

グラフィックデザインコース

デジタルクリエイションコース

プロダクトデザイン学科

プロダクトコミュニケーションコース

ライフクリエイションコース

建築学科

建築コース

マンガ学部

マンガ学科

カートゥーンコース

ストーリーマンガコース

キャラクターデザインコース

新世代マンガコース

アニメーション学科

アニメーションコース

ポピュラーカルチャー学部

ポピュラーカルチャー学科

音楽コース

ファッションコース

人文学部

総合人文学科

文学専攻

歴史専攻

社会専攻

大学院

人文学研究科 修士課程

芸術研究科 博士前期課程／博士後期課程

デザイン研究科 修士課程

マンガ研究科 博士前期課程／博士後期課程

※2021年度からの学部構成は次のとおりです。

国際文化学部

人文学科／グローバルスタディーズ学科

メディア表現学部

メディア表現学科

芸術学部

造形学科

デザイン学部

イラスト学科／ビジュアルデザイン学科／

プロダクトデザイン学科／建築学科

マンガ学部

マンガ学科／アニメーション学科

[学部横断プログラム]

人間環境デザインプログラム

年間の流れ

	行事	セメスター制（前期・後期）	クォーター制（1Q・2Q・3Q・4Q）
4 月	入学式		
	新入生ガイダンス	在学生前期履修登録	新入生／在学生1Q・2Q履修登録
		前期授業開始	1Q授業開始
5 月		前期履修取消	1Q履修取消
6 月			2Q履修登録変更
			2Q授業開始
7 月			2Q履修取消
8 月			
	夏季休暇		
9 月	夏季休暇		
	3Q／後期ガイダンス	後期履修登録	3Q・4Q履修登録
10 月		後期授業開始	3Q授業開始
		後期履修取消	3Q履修取消
	学園祭		
11 月			
			4Q履修登録変更
12 月			4Q授業開始
	冬季休業		
1 月			4Q履修取消
2 月	卒業・修了展		
	春季休暇		
3 月	春季休暇		
	卒業式		
	在学生ガイダンス	在学生前期履修登録	在学生1Q・2Q履修登録

詳細は、「セイカ・ポータル」および大学Webサイトに掲示された「学年暦（大学カレンダー）」で確認してください。

SDGsの取り組み

京都精華大学では、様々な差異を持つ全ての大学構成員が尊重され人格的に平等であることを、教育の基本として歩んできました。2016年にはダイバーシティ推進宣言を発表し、翌年には「違いとともに成長する」をコンセプトに、ダイバーシティ推進センターを設立。2018年には、「関西SDGsプラットフォーム」に参加し、積極的に研修等の取り組みを行ってきました。さらに2020年12月には、新たに「京都精華大学SDGs宣言」を発表しました。すべての人の違いを尊重しながら、「誰一人取り残さない」持続可能な社会の構築に貢献するために、全学的にSDGsの実現に向けて取り組んでいます。

京都精華大学SDGs宣言

2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択されたSDGs(Sustainable Development Goals)は、持続可能で多様性と包摂性ある社会の実現に向けて、2030年までに達成すべき17のゴールとそれに関連する169のターゲットを定めた国際的な目標です。大学も、教育、研究、運営の面から、SDGsの実現に向けて貢献することが重要になってきていると言えるでしょう。

京都精華大学の教育の基本方針には、日本国憲法、教育基本法、世界人権宣言との共通理念である「人間の尊重」、そして「自由自治」を教育の基本理念とすることが明記されています。2016年に発表したダイバーシティ推進宣言の中でその基本的な考え方を改めて表明し、翌年にはダイバーシティ推進センターを設立しました。さらに2018年には、より明確なコンセプトと活動方針を盛り込んだ「ダイバーシティ推進宣言2018」を発表してきました。本学の教育理念とダイバーシティ推進コンセプト「違いとともに成長する」は、「誰一人取り残さない」というSDGsの趣旨と根本を同じくするものです。

これまでダイバーシティ推進宣言のもとに進めてきた、学内すべての学生・教員・職員に包摂的なキャンパスを目指す方針を継続した上で、年齢、人種、性別、身体的特徴、性表現など表面的に認識されやすいものから、国籍、宗教、家庭環境、出自、働き方、性自認、性的指向など表面からは認識されにくいものまで、すべての人の違いを尊重しながら、「誰一人取り残さない」持続可能な社会の構築に貢献するために、全学的にSDGsの実現に向けて取り組んでいくことを宣言します。

「リベラルアーツ」「表現」「グローバル」の3つを基軸とする京都精華大学は、芸術やデザイン、人文学の知見を生かし、世界が直面する共通課題の理解とクリエイティブな解決法の開発とを教育・研究を通して行うほか、大学運営においてもESG(環境・社会・ガバナンス)を重視してまいります。

京都精華大学

在学生に向けた具体的な取り組み

- 性別違和、通称名使用などの事由による学籍簿の氏名・性別記載変更を認めています。
- 定期健康診断で、性別違和や健康上の事情を抱える人を対象に専用の時間帯を設けています。
- 大学で発行する全ての証明書に性別の記載はありません。
- 誰でも利用できる「みんなのトイレ」を学内24カ所に設置しています。
- 生理用品無料配布サービス機器Oitaを学内トイレ内個室に設置しています。
- 学食のメニューに食肉表示を記載しています。
- 障害のある学生の学修支援を行っています。

2

学生生活

◀ CAMPUS LIFE

学生生活の基礎知識

1. 事務局各種窓口案内

学生生活の様々な場面において、事務局の職員がサポートします。各部署の窓口対応時間、取り扱い内容は以下の通りです。

窓口対応時間(授業期間)

月～金曜日 9:00～18:00

※授業期間外の窓口対応時間は「セイカ・ポータル」に掲示します。

取り扱い内容

グループ名	窓口	取り扱い内容	場所	連絡先
学生グループ	学生支援チーム	学生生活に関する相談(進路、休退学、復学など)、各種証明書発行(学生証・学割・健康診断書など)、奨学金、忘れ物、課外活動、教室・学外施設利用申請、留学生支援、学生寮など	本館1階	TEL:075-702-5101
	障害学生支援室	障害学生支援、支援学生養成講座など		TEL:075-702-5268
	キャリア支援チーム	就職活動支援(求人情報の閲覧・進路就職ガイダンス・企業説明会・進路相談)、求人・インターンシップなど	明窓館1階	TEL:075-702-5130
教学グループ	教務チーム	履修登録、授業、試験、成績、各種証明書発行(在学証明書・成績証明書・卒業見込証明書など)、資格課程、単位互換、転学部・転学科・転コース相談など	本館1階	TEL:075-702-5119
総務グループ	総務チーム	学外アトリエ「the SITE」利用申込など	本館4階	TEL:075-702-5131
	経理チーム	学費納入、施設使用料・資格課程受講料の納入など		TEL:075-702-5120
	施設管理チーム	施設に関する相談、ごみの分別など		TEL:075-702-5228
	情報管理チーム ※ICTサポートセンターを含む	ソフトウェア利用申込、大学メールアドレスなど	対峰館T-110 ※ICTサポートセンターは本館2階東	TEL:075-702-5255 ※ICTサポートセンターは075-702-6395
学長室グループ		情報館事務(図書・雑誌・新聞・AV資料等の閲覧・貸出など)、社会連携事業、公開講座、学外所有スペース・ギャラリーの利用申込、研究支援、学長事務など	本館4階	TEL:075-702-5263
グローバル推進グループ		国際交流プログラム支援(交換留学、海外ショートプログラム、グローバルコモンズ、修交館など)	本館2階	TEL:075-702-5199
広報グループ		展覧会・出版等の告知、大学案内など	本館2階	TEL:075-702-5197

2. 学籍

(1) 学籍 学籍とは学校における籍のことです。本学の学籍を有するとは、本学に在籍している学生であることを示しています。

(2) 学籍番号 一人ひとりの学生に学籍番号が付与されます。

例 **220 G 001**
 入学年度 (2020年度) 個人番号
 学科・コース (右記参照)

※編入生は220の次にXと各学科・コース記号が入り、2年次生は21番から3年次生は31番から始まります。大学院はM(修士)またはD(博士)がつきます。

2017年度以降入学生

G 造形 F イラスト V グラフィックデザイン Q デジタルクリエイション
 D プロダクトコミュニケーション R ライフクリエイション A 建築
 M カートゥーン N ストーリーマンガ S 新世代マンガ
 K キャラクターデザイン Y アニメーション
 Z 音楽 B ファッション L 総合人文

(3) 学生証

学生証は大学の学生である身分を証明するものです。したがって、常に携帯し、確認を求められた場合はただちに提示してください。学内では事務局窓口で各種手続きを行う場合や情報館への入館、各種証明書発行の際などに必要です。また、学外では通学定期券購入や大学が提携する美術館などの文化施設で特別優待を受ける際に提示が求められます。学生証を紛失した場合は速やかに学生支援チームで再発行の申請をしてください。申請方法については、P.14「各種証明書の発行方法」を参照してください。

(4) 学籍情報の変更

学生の個人情報、入学試験出願時の情報に基づき、大学のデータベースに登録されています。入学後、個人情報に変更が生じた際は、以下の方法で変更の手続きを行ってください。

①住所・電話番号・学費支弁者(保証人)・緊急時連絡先(保証人以外の方)などの変更(帰省先の住所・電話番号を含む)
 学生生活支援総合サイト「セイカ・ポータル」から手続きを行ってください。

②氏名の変更

学生本人の氏名変更は、学生支援チームで手続きを行ってください。

※性別違和、通称名使用の希望などの事由による氏名・性別表記の記載変更についても、学生支援チームに問い合わせてください。

(5) 学籍の異動と学籍に関する諸制度

①休学

休学とは、学生が疾病またはその他の事由により、3カ月以上就学することができない場合、学長の許可を得て、当該学期に大学を休むことです。

【休学を願い出る際の留意点】

- ・休学をするためには、休学をしようとしている学期以前の学費が完納されている必要があります。
- ・休学期間中の学費は、半期10,000円です。ただし、休学手続き期日は、前期:3月31日、後期:9月30日であり、当該期日を過ぎると通常の授業料が発生します(期日が窓口対応日でない場合は、直前の窓口対応日を期日とします)。休学期間については学修状況も踏まえ、手続き前に担当教員や教務チームとよく相談してください。
 ※手続きには日数を要するため、各期日の1ヶ月前までに学生支援チームへ申し出てください。
- ・休学期間は半期(前期・後期)または1年間です。ただし、特別の理由がある場合は継続して1年(連続で2年)を限度に延長することができます。なお、兵役による休学のみ休学期間を連続で3年まで認めます。
- ・休学期間満了日の2週間前までに「復学願」「休学願」「退学願」のいずれかの提出がない場合は除籍となります。必ず手続きを行ってください。

②復学

復学とは、休学期間の満了に伴い、大学に復帰することです。

③退学

退学とは、学生が疾病、その他の事由により大学を辞めることです。

④除籍

除籍とは、大学の決定により学生の身分を失うことです。学則に定められている除籍の主な理由は次の通りです。

- ・所定の在学年限(最長8年間)を超える場合(ただし、休学期間などを除く)
- ・所定の授業料等学費の納付を怠り、その督促を受けてもこれを納付しない場合
- ・休学期間の満了に伴い、復学の手続きを行わない場合

など

⑤再入学

本学を退学した者、または除籍となった者は、退学または除籍の日より2年以内であれば、再度入学の機会があります。

再入学考査の結果、大学がこれを許可すれば再度大学の学籍を有することができます。なお、再入学については入学金が免除されます。

休学・復学・退学に関する申請・手続きについて

休学・復学・退学の申請・手続きの詳細については、大学Webサイトを参照してください。

また、休学・退学を検討する必要がある場合は、早期に担当教員、または学生支援チームに相談してください。

3. 大学Webサイトでの情報取得について

大学Webサイトにも施設利用や各種申請手続き、奨学金情報など大学生活に関する基本情報を掲載しています。
PCとスマートフォンに対応していますので、必要に応じて情報を確認してください。



「京都精華大学 在学生の方へ」 <https://www.kyoto-seika.ac.jp/stu/>

4. 通学

通学に際しては、公共交通機関、スクールバス、自転車などを利用してください。自動車による通学は認められません。

- (1) 通学定期券を購入するには
公共交通機関の通学定期券を購入する際には、各機関の窓口で学生証の裏面に貼付された「通学証明書」シールを提示してください。
通学証明書シールは毎年更新が必要です。例年4月に学生支援チームで配布しますので、必ず貼り替えてください。
- (2) スクールバス
無料で利用できるスクールバスは、地下鉄「国際会館」駅と大学の間を運行しています。授業がない日曜日・祝日・施設使用禁止日は運行しません。また、大学行事や長期休暇中などは運行ダイヤが変わりますので、その都度、大学Webサイトやバス停で時刻表を確認してください。
- (3) 自転車・バイクによる通学
自転車・バイクによる通学に際しては、学内の駐輪場を利用してください。所定の場所以外での駐輪は認められていません。
また、盗難を防ぐために自転車・バイクは必ず施錠し、ヘルメットやそのほかの付属品は持ち歩くようにしてください。
なお、京都市内・京都府内で自転車を利用する場合、自転車保険（個人賠償責任保険）に加入する義務があります。
- (4) 自動車の一時乗り入れ
制作材料・資材の搬入などにより、自動車の乗り入れが必要な場合は、学生支援チームにて「車両一時乗り入れ票」の発行を受け、一時的に駐車をすることができます。手続きの際には学生証の提示が必要となります。

5. 各種証明書の発行方法

証明書は、本館1階に設置の「証明書自動発行機」にて発行することができます。
発行の際は「学生証」もしくは「セイカ・ポータルのユーザーIDとパスワード」が必要となります。
一部、後日の発行となる証明書がありますのでご注意ください。
※本学が発行するすべての証明書に性別の記載はありません。

表記	証明書	手数料	発行時期	手続き方法	注意事項
日本語版	在学証明書	200円	即時発行	不要	
	成績証明書	200円	即時発行	不要	
	卒業見込証明書	200円	即時発行	不要	卒業年次生のみ発行
	修了見込証明書	200円	即時発行	不要	修了年次生のみ発行
	各種資格取得見込証明書	200円	申込から1週間後	証明書自動発行機より「納付書」を発行のうえ、教務チーム窓口にて申込	
英語版	在学証明書	500円	即時発行	不要	
	成績証明書	500円	即時発行	不要	
	卒業見込証明書	500円	即時発行	不要	卒業年次生のみ発行
	修了見込証明書	500円	即時発行	不要	修了年次生のみ発行
	健康診断証明書	200円	即時発行	不要	学内の定期健康診断を受診した人に対してのみ発行
	学割証	無料	即時発行	不要	有効期間:発行日より3カ月間 発行可能枚数:年間1人あたり10枚まで
	学生証の再発行	1000円	申込から2〜3日後	証明書自動発行機より「申込書」を発行のうえ、学生支援チーム窓口にて申込	学生証が手元に無くても申込書の出力が可能です

6.学費について

学費納入期日

前期1期	前期2期	後期1期	後期2期
4月30日	7月31日	10月31日	1月31日

口座自動振替の場合、学費は各納入月の26日に引き落とされます(26日が金融機関の休業日に当たる場合は、翌営業日に振り替えます)。
入学初年度の前期1期学費は、入学手続き時の納入となります。
学費納入を困難にする経済的事情が発生したときは、速やかに身近な教職員や学生支援チームに相談してください。

授業料

学部		芸術学部	デザイン学部	マンガ学部	ポピュラー カルチャー学部	人文学部
前期	1期	387,500円	394,750円	394,750円	394,750円	271,500円
	2期	387,500円	394,750円	394,750円	394,750円	271,500円
後期	1期	387,500円	394,750円	394,750円	394,750円	271,500円
	2期	387,500円	394,750円	394,750円	394,750円	271,500円
合計		1,550,000円	1,579,000円	1,579,000円	1,579,000円	1,086,000円

大学院		博士前期課程・修士課程		博士後期課程
		実技系 芸術・デザイン・マンガ研究科	理論系 人文学・芸術・デザイン・マンガ研究科	芸術・マンガ研究科
前期	1期	262,500円	187,500円	187,500円
	2期	262,500円	187,500円	187,500円
後期	1期	262,500円	187,500円	187,500円
	2期	262,500円	187,500円	187,500円
合計		1,050,000円	750,000円	750,000円

学費の延納手続きについて

やむを得ない事情により、学費納入期日までに支払いができない場合は、経理チームからの案内を「セイカ・ポータル」で確認し、所定の期間内に延納願を提出してください。

学費未納による除籍について

学費納入期日や延納期日を過ぎても学費が未納であり、督促を受けても学費が納入されない場合は、学費未納による除籍となります。

大学メールアドレス

1. 大学メールアドレス (Gmail) の付与

在学中は、学生一人ひとりに京都精華大学メールアドレス (Gmail、～@stu.kyoto-seika.ac.jp) が付与されます。

教員や事務局に連絡する際は、こちらの大学メールアドレスから送信してください。

また、この大学メールアドレスは、みなさんに連絡するための情報として教職員で共有しています。

大学からの重要なお知らせが届きますので、毎日1回必ず確認してください。

メールアドレスカード

京都精華大学メールアドレスカード 220A000 セイカ タロウ	
京都精華大学Webサービス(履修登録等) ユーザID: s220a000 パスワード: ②gJfEaJvM	
京都精華大学メール(Gmail) ユーザー名: s220a000 パスワード: ⑤ytx89k6b メールアドレス: s220a000@stu.kyoto-seika.ac.jp abcdefghijklmnopqrstuvwxyz ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ 0123456789	

京都精華大学メール(Gmail)用
『ユーザー名』、『パスワード』
『メールアドレス』

注 意

『京都精華大学メールアドレスカード』には、個人の「京都精華大学Webサービス」用のユーザID・パスワードおよび、「京都精華大学メール(Gmail)」用のメールアドレス・パスワードが記載されています。大変重要な情報ですので、各自で厳重に管理してください。これらが第三者に漏れるとメールを読まれたり、成りすましてメールを使用されたりする危険性があります。万が一、メールアドレスカードを紛失した場合は、すみやかに情報管理窓口(対峰館1階)までご相談ください。

2. 大学メールアドレスの確認方法

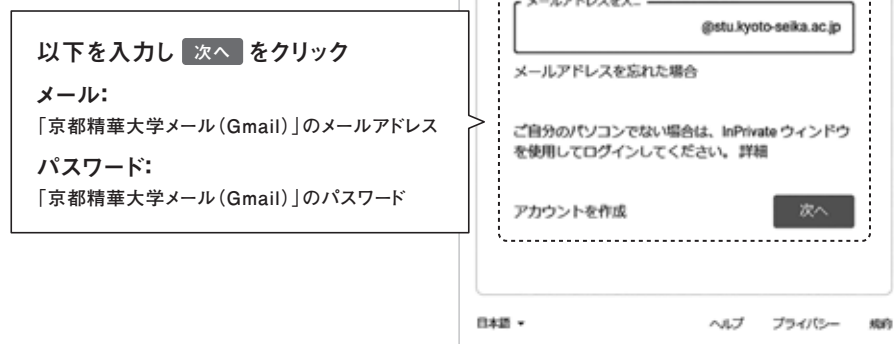
(1) パソコンで確認する場合

- ① 任意のWebブラウザでGoogleのトップページにアクセスします。
- ② 画面右上のログインボタンをクリックするとログイン画面が表示されます。

※すでにアカウントを持っている場合には、
アイコンから「別のアカウントを追加」をクリックしてください。



- ③ 以降は画面の案内に従い『京都精華大学メールアドレスカード』に記載されている「京都精華大学メール (Gmail)」の【メールアドレス】と【パスワード】を入力し、【次へ】をクリックします。



- ④ メニューよりGmailをクリックしてください。



(2) スマートフォンおよびタブレットで確認する場合

Webブラウザでパソコン使用時と同様にアクセスするか、無料のメールアプリを活用することをおすすめします。

セイカ・ポータル

1. セイカ・ポータルとは

「セイカ・ポータル」とは、本学学生専用の学生生活支援総合サイトです。

履修登録手続きを行うほか、学生生活や授業、進路、就職支援に関する重要な情報が掲載されています。

必ず1日1回はログインして情報を確認してください。

「セイカ・ポータル」の主な機能は以下のとおりです。

(1) 履修登録・履修取消

履修登録および履修取消の手続きは、「セイカ・ポータル」で行います。

手続き期間を過ぎると履修登録・取消ができなくなりますので、期間内に忘れず手続きを行ってください。

(2) 時間割の確認

履修登録手続き後、決定した時間割はいつでも「セイカ・ポータル」で確認できます。

履修登録した授業科目と自分の時間割に誤りがないか、必ず履修登録や履修取消をした後に確認してください。

(3) 成績、単位修得状況の確認

各学期に履修した授業科目の成績、およびその学期までの単位修得状況は、学期末に「セイカ・ポータル」で確認できます。

(4) 休講・補講・教室変更情報の確認

履修登録を行った授業が休講になった場合の情報、休講になった授業の補講に関する情報を確認できます。

また、履修登録を行った授業の教室が何らかの事情により変更になった場合も、変更後の教室を「セイカ・ポータル」で確認できます。休講・補講・教室変更の情報はメール(～@stu.kyoto-seika.ac.jpのアドレス)で受け取ることもできます。

(5) 学修ポートフォリオの蓄積

ディプロマ・ポリシーに対応した7種の能力がどれだけ身についているかをレーダーチャート形式で確認できます。

その他、これまでの単位修得状況やGPAの推移などを一括して確認できます。

(6) その他授業に関する情報の確認

オリエンテーションの案内など授業全体に関わる情報のほか、

課題の提出締め切りなど履修登録を行った授業科目に関する情報を確認できます。

(7) 学生生活に関する情報の確認

健康診断や奨学金説明会の案内、施設の利用や各種イベント情報など学生生活に関する情報を確認できます。

(8) アンケートへの回答

「キャンパスライフ・アンケート」や「授業評価アンケート」など、アンケートは、「セイカ・ポータル」より回答してください。

2. 利用上の注意

「セイカ・ポータル」の利用にあたってはいくつかの注意点がありますので、必ず以下に目を通してから利用してください。

(1) 利用環境について

「セイカ・ポータル」は、パソコンおよびスマートフォンやタブレット型端末で利用することができます。



(2) 利用が勧められているブラウザソフトを使ってください

ブラウザソフト(インターネットでホームページなどを閲覧するときに使うソフトウェア)は、Internet Explorer 11、Google Chrome、Safari、Firefox、Microsoft Edge の利用をおすすめしています。それ以外のソフトでは表示位置がずれるなど、うまく機能しないことがあります。

(3) 0:00～6:00の間は「セイカ・ポータル」を利用できません

毎日0:00～6:00の時間帯は、データのバックアップを行いますので、「セイカ・ポータル」を利用することはできません。

(4) 30分間、操作ボタンをクリックしないと、ページの有効期限が切れ、再度ログインが必要となります

履修登録手続き中にページの有効期限が切れると、情報が正しく登録されません。定期的に「チェック」ボタンをクリックするといった対処方法を取ってください。

3. セイカ・ポータルへのログイン

(1) セイカ・ポータルへのアクセス

Internet Explorer 11、Google Chrome、Safari、Firefox、Microsoft Edgeなどのブラウザソフトを立ち上げて、以下のURLにアクセスしてください。ログイン画面が表示されます。

<https://portal.kyoto-seika.ac.jp/>

(サイト上でログイン後にスマホ版とPC版を切替可能です)

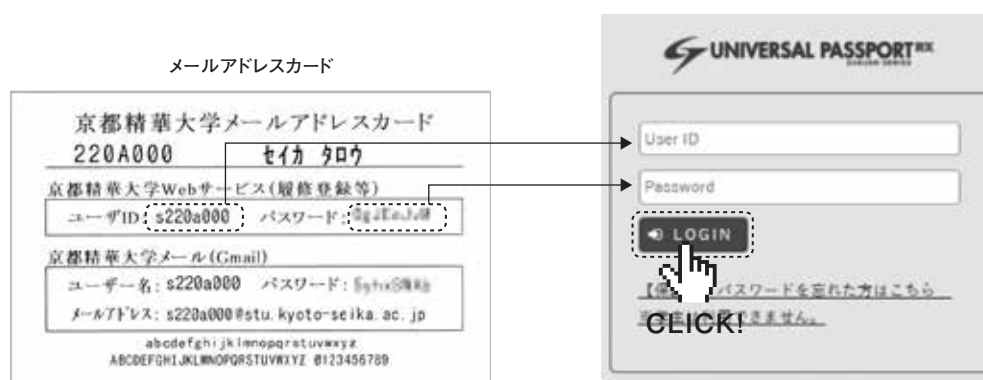


QRコード

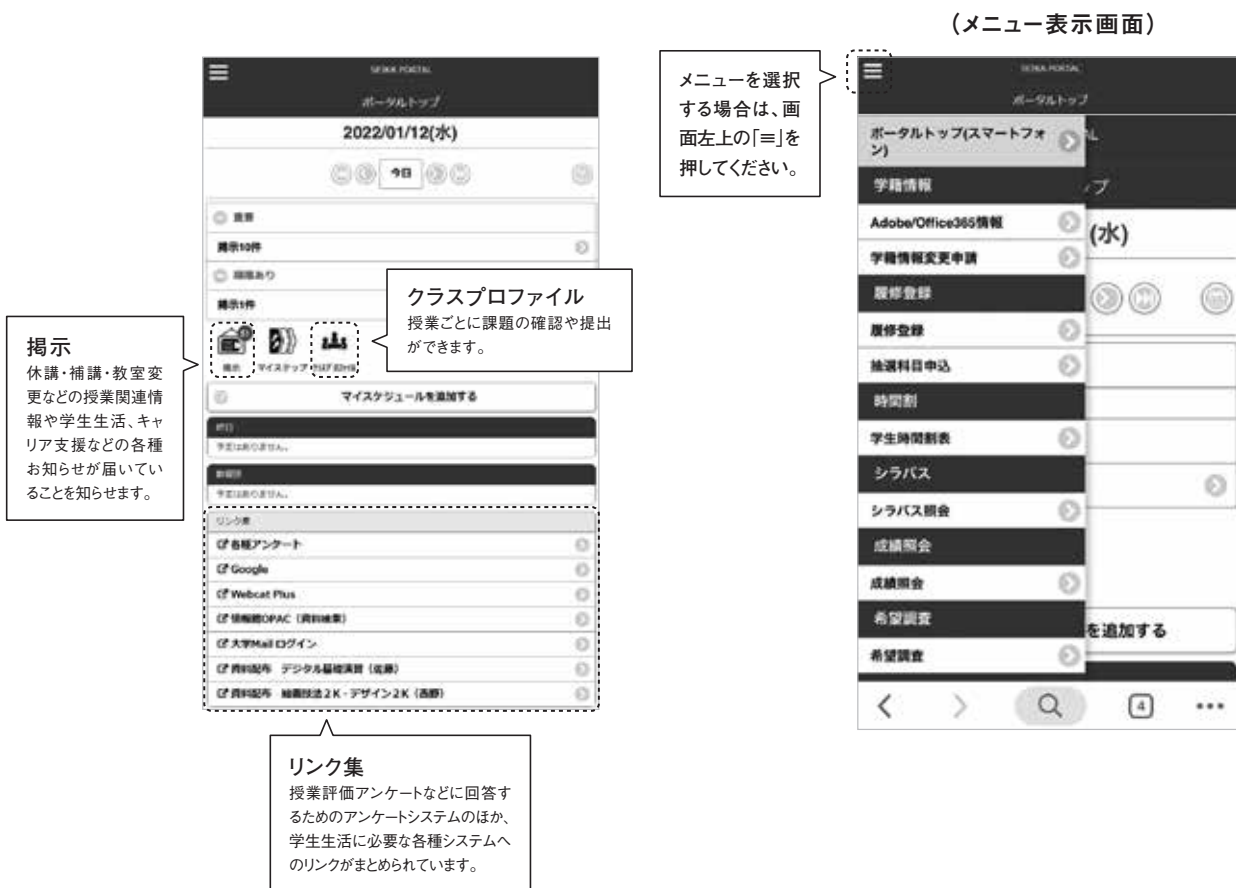
(2) セイカ・ポータルへのログイン

入学時に配布された名刺サイズの「メールアドレスカード」に記載されたユーザーIDとパスワードをログイン画面の所定ボックスに入力して、「LOGIN」ボタンをクリックしてください。

※「メールアドレスカード」を紛失した場合は、情報管理チーム窓口で再発行の手続きを行ってください。



(3) スマホ版のログイン後のトップ画面は以下のような構成となっています。



(4) PC版のログイン後のトップ画面(以降、トップ画面)は以下のような構成となっています。



※ログイン後にスマホ版とPC版の切り替えはできません。一度ログアウトし、再度ログインしてください。

(掲 示)

キーワードや授業科目から、必要な掲示を検索することができます。

ポータルトップ・掲示一覧

キーワードは、件名・差出人・本文から検索します。

キーワード 部分一致で検索 授業科目 コード、名称から検索

グループ 全表示 授業 既読 未読 新着 重要 申込 フラグつき

並び順 掲示開始日時 表示

❗ 【重要】2021年度4Q/後期 筆記試験・レポート提出について [教務チーム] 12.24

❗ 【重要】「2021年度4Q 履修取消について」 [教務チーム] 12.23

(クラスプロファイル)

授業ごとに課題を確認したり、Web上で課題を提出することができます。

課題名

課題グループ すべて対象

ステータス すべて対象

提出状況 ☐ 未提出 ☐ 提出済

並び順 課題グループ

フィードバック ☐ 未確認 ☐ 確認済

Q 検索

課題グループ名	課題名	課題提出開始日時	課題提出終了日時	提出方法	ステータス	未提出	提出回数	再提出回数
第4回課題		2021/12/28(火) 09:00	2022/01/10(月) 23:59	ウェブ	提出受付中	0	1回	
第3回課題		2021/12/21(火) 09:00	2021/12/27(月) 23:59	ウェブ	受付終了		1回	
第2回課題		2021/12/14(火) 09:00	2021/12/20(月) 23:59	ウェブ	受付終了		1回	
第1回課題		2021/12/07(火) 09:00	2021/12/13(月) 23:59	ウェブ	受付終了		1回	

4件 (1 / 1)

4. セイカ・ポータルのマニュアル掲示

各種機能の操作マニュアルは、セイカ・ポータルの掲示板および ? アイコンより確認できます。

(1) 掲示板で確認する

以下の手順で確認してください。

PC版 「掲示」 ▶ キーワード検索窓にて「セイカ・ポータル利用マニュアル」と入力 ▶ 「検索」ボタンをクリック

スマホ版 「掲示」 ▶ 「検索する」バー右の「+」ボタンをクリック ▶
キーワード検索窓にて「セイカ・ポータル利用マニュアル」と入力 ▶ 「検索」ボタンをクリック

(2) ? マークより確認する

右上にマークが表示されているページは、表示しているページに関連した各機能のマニュアルが掲示されています。
履修登録などのマニュアルを掲示していますので必要に応じて確認してください。

経済的支援

1. 奨学金制度

奨学金は減免・給付型と貸与型に大別されます。減免・給付型とは、返済の必要のない奨学金で、貸与型は返済しなければならない奨学金です。また、奨学金には本学が独自に設けている制度と、国やそのほか地方自治体などが設けている制度があります。

(1) 京都精華大学独自の奨学金

※詳細は、学生支援チーム窓口にて確認してください。

(2)日本学生支援機構奨学金

経済的理由によって修学が困難な学生を支援する国の教育事業です。返済不要の給付型奨学金と、卒業後に返還が必要な貸与型奨学金があります。例年4月に申込説明会を実施しますので、希望者は「セイカ・ポータル」を確認し、必ず出席するようにしてください。なお、給付型奨学金の採用者は授業料等減免も同時に受けることができます(高等教育の修学支援新制度)。

※詳細は、学生支援チーム窓口にて確認してください。

(3)その他

各地方公共団体・民間育英団体が運営する奨学金制度については、学生支援チームに問い合わせてください。

2.学資ローン

民間の金融機関や日本政策金融公庫など国の金融機関が設ける、資金使途を教育関連費用に限定した個人対象のローン制度です。本学が提携する、みずほ銀行、オリエントコーポレーション、セディナ(SMBCファイナンスサービス)、滋賀銀行では、融資利率が優遇され、有利な条件で融資を受けることができます。制度の詳細については、大学Webサイトを参照してください。

3.国民年金学生納付特例制度

現在、日本国内に住むすべての人(留学生も含む)は20歳になった時から国民年金の被保険者となり、保険料の納付が義務づけられています。所得の少ない学生については、申請により在学中の保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」が設けられています。本制度の申請は、住民登録している市(区)役所・町村役場の国民年金窓口、または年金事務所で行うことができます。

学生生活の支援

1. 教員に相談するには

本学の専任教員に相談・質問がある場合は、オフィスアワーを利用することができます。オフィスアワーとは、指定された時間帯に、教員の研究室を訪れ、授業に関する質問や学生生活に関する相談などを行うことができる制度です。各教員が設けているオフィスアワーの時間帯は、「セイカ・ポータル」もしくは教務チームで確認することができます。

2. ハラスメントに関する相談窓口

ハラスメントとは、言葉や行為により、相手方に不利益や不快感を与え、その尊厳を傷付けることを意味します。本学では、ハラスメントに関する学内相談窓口を設置しています。相談者のプライバシー保護を優先し、秘密を厳守します。

●ハラスメント相談室

[学生支援チーム] 受付時間 9:00～17:00(月曜日～金曜日)

TEL 075-702-5265 E-mail gsoudan@kyoto-seika.ac.jp

[総務チーム] 受付時間 9:00～17:00(月曜日～金曜日)

TEL 075-702-5336 E-mail soudan@kyoto-seika.ac.jp

3. 学生相談室（臨床心理士による相談・フリールーム）

学生相談室では、気分が落ち込む、心理的不調がある、授業に出られないなど、様々な悩みを臨床心理士に相談することができます。病院紹介や各種連携も行っていますので、気軽に相談してください。相談は予約制です。右の2つの方法のどちらかで申し込むことができます。

また、学生相談室内には「フリールーム」があります。授業の合間にくつろぎたい、静かに過ごしたいときなど、くつろぎのスペースとして利用できますので、気軽にたずねてみてください。開室時間は、12:00～17:00(月曜日～金曜日)です。変更や臨時閉室などは、学生相談室前の掲示などで確認してください。

1. 専用アドレス gakusou2020@kyoto-seika.ac.jp にメールを送信する

2. 「予約申込票」に記入し、学生相談室前のポストに投函する
※メールには「氏名・学籍番号・学部・学年・相談したいこと・来室可能な曜日と時間帯」を記載してください。

※「予約申込票」は本館3階の学生相談室前や本館1階の学生支援チーム前に置いてあります。

※申込みから次回予約の決定まで1～2週間かかることがあります。

4. 障害学生支援

「障害学生支援室」は、障害等の理由により修学上の支援が必要な学生のための窓口です。専門のスタッフが授業での困りごとをうかがい、所属する学部・研究科や学内外の関係機関等と連携して支援を行います。どのような支援が必要か具体的にわからない人も、スタッフが一緒に整理して考えますので、安心して相談してください。また、講義の情報保障（パソコンテイク、字幕作成やガイドヘルプ等）などを行う学生サポーターを随時募集しています。「セイカ・ポータル」で募集を案内しますので、活動に興味のある方はご参加ください。

●連絡先 TEL 075-702-5268 E-mail shien@kyoto-seika.ac.jp

●場所 本館1階 学生支援チーム内

その他相談窓口について

学生生活の様々な場面における各種相談窓口については、上記以外にも、学習のてびき P.12の「事務局各種窓口案内」や大学ウェブサイト「お問い合わせ一覧」——「在学生の方(授業/学生生活/学費納入など)」

<https://www.kyoto-seika.ac.jp/contact.html> に記載されていますので、参照のうえ相談してください。

そのうえで、もしどこに相談すべきか不明な場合は、本館1階の学生支援チームにまずは相談してください。

●連絡先 TEL 075-702-5101 E-mail gakusei@kyoto-seika.ac.jp

5. 定期健康診断

春季オリエンテーション期間中に学内で定期健康診断を無料で受診することができます。自身の健康状態の確認のために必ず受診してください。とくに教職課程の介護等体験対象者や就職活動を控えた3・4年生は、体験先や企業に健康診断書を提出する必要があります。定期健康診断を受けず、後で健康診断の必要が生じた場合は自費(15,000円程度)で受診することになります。健康診断の日程は学部・学年別に指定されます。なお、性別違和や健康上の理由などで別日程の受診を希望する人を対象に専用の時間帯を設けていますので、希望者は学生支援チームに相談してください。

6. 文化施設の特別優待

(1) 学生証の提示により無料・優待価格で利用できる施設

京都国立近代美術館／国立国際美術館／京都国立博物館／奈良国立博物館／細見美術館／茶道資料館／京都市動物園(学生支援チームで無料入場券を配布)／京都国際マンガミュージアム

※詳細は大学Webサイトで確認してください

大学Webサイト
「文化施設の特別優待」



(2) 京都市キャンパス文化パートナーズ制度

本学は京都市キャンパス文化パートナーズ制度に加入しています。同制度は、学生が文化芸術に対する理解を深め、学生生活をより豊かなものとするために、京都市が設けているものです。本学の学生は、この制度に登録・入会すると、学生証と携帯会員証の提示により、特定の文化施設を利用する場合に優待を受けることができます。利用できる文化施設や登録方法などの詳細は、京都市Webサイトで確認してください。

京都市キャンパス文化
パートナーズ制度



7. 無償で利用できるソフトウェア

本学は各種ソフトウェア会社と独自のライセンス契約を結んでいるため、在籍する学生は以下のソフトウェアを無償で使用できます。

(1) Adobe Creative Cloud 「Photoshop」「Illustrator」「After Effects」「Premiere Pro」など

(2) Microsoft Office 「Word」「Excel」「PowerPoint」など

※上記ソフトウェアの利用は、在籍期間中に限られます。ソフトウェアの利用に関する詳細は、情報管理チーム(対峰館1階)にお問い合わせください。

8. アルバイトの紹介

本学では「バイトネット(学生アルバイト紹介システム)」を通じて、アルバイト情報を提供しています。「バイトネット」では、業務内容や労働条件などを厳正に審査し、安心して優良な求人情報のみを紹介しています。

※「バイトネット」は、本学が業務提携する株式会社学生情報センターが運営する求人情報提供サイトです。

「バイトネット」
京都精華大学専用ページ
<https://www.aines.net/kyoto-seika>



利用登録には大学が発行するE-mailアドレス(@stu.kyoto-seika.ac.jp / @kyoto-seika.ac.jp)が必要です。下記の手順に沿って利用登録を行い、「バイトネット」のIDとパスワードを取得してください。

登録の手順

1. 「バイトネット」京都精華大学専用ページから「利用登録」ページを開く。
2. 大学が発行するE-mailアドレス(@stu.kyoto-seika.ac.jp / @kyoto-seika.ac.jp)を入力する。@以下まで省略せずに入力すること。
3. 大学が発行するE-mailアドレス宛に「バイトネット」のID・パスワードが送信される。

9. 住まいの紹介

本学では、提携業者を通じて、アパート、マンション等の住まいを紹介しています。希望する方は、総合窓口となる株式会社フラットエージェンシーにご相談ください。また、本学学生のための物件検索サイト「賃貸京都.jp 京都精華大学」でも提携業者各社が管理する物件を検索できます。

株式会社 フラットエージェンシー 本店

☎120-75-0669 営業時間 10:00~18:00 定休日 火曜日、第2水曜日

賃貸京都.jp
京都精華大学



10. 学外アトリエ「the SITE」

本学が所有するレンタルスペースです。アトリエ・事務所・店舗として貸し出しをしています。

学外アトリエ「the SITE」 所在地 京都市左京区田中東春菜町30番地3

アクセス 叡山電鉄叡山本線「元田中」「茶山」駅 徒歩5分 賃料 4.5万円から13万円+消費税(共益費8,000円+消費税)

問い合わせ先 総務チーム TEL 075-702-5131

学内のルール

1. 忘れ物・落とし物の取り扱い

学内で忘れ物・落とし物をした場合、または拾得した場合は、学生支援チームへ届け出てください。持ち主が判明した場合は本人に連絡をします。また、持ち主が分からない拾得物は、3カ月間保管した後に処分します（財布、携帯電話、キャッシュカードなどの貴重品は、1週間後に警察署に届け出ます）。

※キャッシュカードやクレジットカードなどを紛失した場合は、速やかに最寄りの警察署・交番へ届け出るとともに、銀行または発行会社に必ず連絡してください。

2. 郵便物の取り扱い

学生個人宛の郵便物や宅配便などを大学が受け取ることはできません。自宅で受け取るよう手配してください。

3. 京都精華大学環境方針

本学では、2022年4月1日に以下の環境方針を策定しています。

(1) 基本理念

京都精華大学は「自由自治」を教育理念とし、芸術・文化の教育を通して、あたらしい社会と文化の創造に取り組んでいる。

本学は、その活動を基盤として、ひとびとが自然と調和し、自由と平和を享受できる未来の実現をめざす。これは、自然環境、社会環境、生活環境といった人間をとり巻くあらゆる次元での環境において追求されるものである。そのために、大学の教育活動によって、環境に関する意識を醸成するとともに、様々な実践をとり入れて、人類史の展開に尽くそうとする人間の育成をはかる。

(2) 基本方針

- ① 京都精華大学の教員・職員・学生および常駐する委託会社社員を含めた全員が協力し、自然環境と共生した人間を含めた生物にとって健康かつ安全で快適なキャンパス空間の創造につとめる。
- ② 大学の教育活動を通じ、学生の環境意識を形成し、一人ひとりが責任と自覚を持ち、自発的に行動できる人間の育成につとめる。
- ③ 大学が社会的存在であることをふまえ、学生の社会的成長をうながすための、社会に開かれた教育プログラムを設定し、展開する。
- ④ あらゆる活動において、使用エネルギーの削減、資源の有効利用など、エネルギー効率を高める方策に積極的に取り組み、また環境汚染を予防するための関連法規などを遵守する。

4. 快適なキャンパスライフのためにできること

快適なキャンパスライフを維持するために、本学の構成員として実行してください。

(1) ごみ分別は「義務」です

- ① 日常のごみは、種類別に分別廃棄する。
- ② 制作ごみは、朝夕館横の集積場に分別廃棄する。
※P.28「京都精華大学ごみ分別表」参照
※正しく分別しないと回収を断られることがあります。
※特に「紙ごみ」と「プラスチックごみ」を「燃えるごみ」に入れるケースが目立ちます。

(2) 安全で快適なキャンパスを作り、守る

- ① 実習室や設備などは整理整頓し、きれいに使う。
- ② バイクは専用駐車場に停める（キャンパス内乗り入れ禁止）。
- ③ 自転車は押して歩く（キャンパス内走行禁止）。
- ④ 指定喫煙場所以外は禁煙（歩きタバコ、ポイ捨て禁止）。
※P.207キャンパスマップ参照
- ⑤ 防火扉の前や点字ブロックの上に物を置かない（一時的であっても禁止）。

(3) 限りある資源やエネルギーを大切に

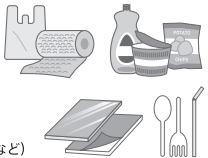
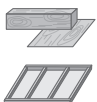
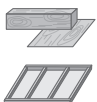
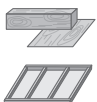
- ① 教室や実習室はこまめに消灯、エアコンや換気扇のスイッチもOFF。
- ② 冷房は28℃、暖房は20℃設定にする。
- ③ トイレの暖房便座は必ずふたを閉める。
- ④ 余ったペンキや溶剤類は、流しや水路に流さず、ウエスで拭き取り、「燃えるごみ」に出す。
- ⑤ 「プラスチックごみ」、「缶・ペットボトル」、「紙ごみ」はリサイクルのため分別してごみに出す。

5.ごみの分別について

大学から出すごみは分別することが義務となっています。大学の構成員として、以下の分別表に従ったごみの分別を行ってください。正しく分別しない場合、ごみ回収を断られることがあります。不明な点は下記担当（施設管理チーム）までご連絡、ご相談ください。

京都精華大学ごみ分別表

適切に分別しましょう
～混ぜればごみ、分ければ資源～

 プラスチック	●ビニール類（ビニール紐・PPバンド・梱包材など） ●プラスチック製容器・包装※1 （カップ・キャップ・フィルム・ラベルなど  が付いたもの） ●発泡スチロール※2 ●スチレンボード※2 ●プラスチック製品 （クリアファイル・ペン・ディスク・ラミネートされたものなど） 	※1: ・飲食物がついた容器は、洗うか 汚れをふき取ること ・インク類の空容器は朝夕館の集積場へ ※2: ・細かく削ったものは透明ビニール袋に まとめること ・サイズが大きいものは朝夕館の集積場へ											
 缶・ペットボトル	●飲料用の缶・ペットボトル  ⚠ 飲み残しやごみは入れないこと ・溶剤缶やスプレー缶は 朝夕館の集積場へ ・菓子缶などはごみ箱前に置くこと	飲食用ガラスびん 専用回収箱へ  ⚠ 溶剤類のびんは 朝夕館の集積場へ ・割れたびんは袋に入れ ごみ箱の前に置くこと											
 紙・紙製品	●コピー用紙・メモ用紙 ●ハガキ・チラシ・ポスター ●封筒 ●画用紙 ●包装紙・紙袋・紙箱・紙筒 ●ボール紙・クラフト紙 ⚠ 次のものはリサイクル不可のため燃えるごみへ 紙コップ・紙パック・写真・ ビニールコート紙・シール・ 圧着はがき・和紙・金紙・ 銀紙・汚れた紙類など	古紙回収となるもの ごみ箱の横にまとめて置く ●段ボール ●新聞紙、雑誌、書籍 ●シュレッダーごみ  機密書類 段ボールに詰め、 封をせず 施設管理担当まで  ⚠ クリップやファイル、 機密性のないチラシや 封筒などは入れないこと											
 燃えるごみ	●生ごみ ●わりばし ●紙コップ・紙パック ●合成紙・粘着紙（写真・光沢紙・粘着シールなど） ●感熱紙（レシート・カーボン紙など） ●耐油紙（バラフィン紙・トレーシングペーパーなど） ●汚れた紙類（使用済みティッシュ類・食品や油で汚れた紙皿やシートなど） ●布（ウエス・ぞうきん・不織布など） ●その他（輪ゴム・ガムテープなど） 	⚠ 汚れたプラスチックは、洗うか 汚れを拭き取りプラスチックへ 実習室内のごみ箱も 「燃えるごみ」と同様です。 											
ごみ箱に廃棄できないもの 朝夕館の集積場に分別してください 朝夕館の搬入は 9:00～16:00  搬入時には必ず用務員さんに 声をかけてください <table border="1"> <tr> <td data-bbox="231 1478 678 1668"> 廃プラスチック ※上記ごみ箱に入らない サイズの大きいもの ●発泡スチロール ●スタイロフォーム ●樹脂制作物 ●FRP制作物 ⚠ プラスチック以外の 素材は取り除くこと </td> <td data-bbox="678 1478 1061 1668"> 木くず ●パネル ●コンパネ ●看板  ⚠ 木以外の素材は取り除くこと ⚠ おがくずは 透明ビニール袋に まとめ宛明館前へ </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1668 678 1825"> 溶剤類の缶・びん  ⚠ 少量残っている場合は ウエス等で拭き取ること ・スプレー缶は使い切り 穴をあけて中を空に </td> <td data-bbox="678 1668 1061 1825"> 陶磁器・ガラスくず  ⚠ 包装紙などは 取り除くこと </td> <td data-bbox="1061 1668 1364 1825"> 石膏くず  ⚠ 液状の石膏は 乾燥させること </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1825 502 1937"> 廃蛍光灯  </td> <td data-bbox="502 1825 1061 2038"> 電化製品・大型ごみに関して ●テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン ※家電リサイクル料金がかかります ●パソコン・プリンター ●大型ごみ（畳・ソファなど）  ⚠ 処理を希望される場合は、 事前に施設管理担当まで （個人所有物は大学では 処理できません） </td> <td data-bbox="1061 1825 1364 2038"> 電池類 専用回収箱へ  ⚠ その他、各学科・コースで特有なもの （廃液など）は個別に回収しています </td> </tr> <tr> <td data-bbox="231 1937 502 2038"> 金属くず  </td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>			廃プラスチック ※上記ごみ箱に入らない サイズの大きいもの ●発泡スチロール ●スタイロフォーム ●樹脂制作物 ●FRP制作物 ⚠ プラスチック以外の 素材は取り除くこと	木くず ●パネル ●コンパネ ●看板  ⚠ 木以外の素材は取り除くこと ⚠ おがくずは 透明ビニール袋に まとめ宛明館前へ	溶剤類の缶・びん  ⚠ 少量残っている場合は ウエス等で拭き取ること ・スプレー缶は使い切り 穴をあけて中を空に	陶磁器・ガラスくず  ⚠ 包装紙などは 取り除くこと	石膏くず  ⚠ 液状の石膏は 乾燥させること	廃蛍光灯 	電化製品・大型ごみに関して ●テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン ※家電リサイクル料金がかかります ●パソコン・プリンター ●大型ごみ（畳・ソファなど）  ⚠ 処理を希望される場合は、 事前に施設管理担当まで （個人所有物は大学では 処理できません）	電池類 専用回収箱へ  ⚠ その他、各学科・コースで特有なもの （廃液など）は個別に回収しています	金属くず 		
廃プラスチック ※上記ごみ箱に入らない サイズの大きいもの ●発泡スチロール ●スタイロフォーム ●樹脂制作物 ●FRP制作物 ⚠ プラスチック以外の 素材は取り除くこと	木くず ●パネル ●コンパネ ●看板  ⚠ 木以外の素材は取り除くこと ⚠ おがくずは 透明ビニール袋に まとめ宛明館前へ												
溶剤類の缶・びん  ⚠ 少量残っている場合は ウエス等で拭き取ること ・スプレー缶は使い切り 穴をあけて中を空に	陶磁器・ガラスくず  ⚠ 包装紙などは 取り除くこと	石膏くず  ⚠ 液状の石膏は 乾燥させること											
廃蛍光灯 	電化製品・大型ごみに関して ●テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン ※家電リサイクル料金がかかります ●パソコン・プリンター ●大型ごみ（畳・ソファなど）  ⚠ 処理を希望される場合は、 事前に施設管理担当まで （個人所有物は大学では 処理できません）	電池類 専用回収箱へ  ⚠ その他、各学科・コースで特有なもの （廃液など）は個別に回収しています											
金属くず 													

【施設管理チーム】TEL:075-702-5228

緊急事態発生時の対応・事前対策

1. キャンパス内で火災・地震が発生した際の対応

(1) 火災が発生した(火災を発見した)場合

- ① 大声で周囲に知らせ、火災報知機を押す。または通報する。

施設管理チーム TEL 075-702-5228

警備棟 TEL 075-722-3729 消防署 TEL 119

- ② 廊下または実習室内に設置してある消火器や消火栓で初期消火をする。

消火器の使用法

1. 安全栓(黄色いリング)を抜く
2. ホースを外し、火元に向ける
3. レバーを強く握り、放射する(消火器の放射時間は15秒!)
4. 1本で消せない場合は周囲に応援を呼ぶ

- ③ 初期消火できない場合は、安全な場所へ避難する。

避難にはエレベーターを使わず、必ず階段を使うこと。
煙が発生している場合は、身をかがめて低い姿勢になり、ハンカチで口を覆うなど煙を吸い込まないようにすること。

(2) 地震が発生した場合

- ① 丈夫な机の下に避難し、衣類やかばんなどで頭を守るなど身の安全を図る。
- ② 窓や扉を開けるなど出口を確保する。
- ③ 必ず火を止め、万一出火した場合は初期消火をする。
- ④ 扉を開けたままにし、負傷者を優先し、安全な場所へ避難する(すぐに外に出ないこと)。

●避難場所はグラウンドです。

※火災予防のため日ごろから消火器や消火栓、防火扉の前には物を置かないでください。

※廊下や階段、非常口は避難経路となるため日ごろから物を置かないよう心がけてください。

2. 災害に備えた対策・基礎知識

(1) 日頃の対策

被害や不安を少しでも軽減するために以下の対策をしておきましょう。

- ① 避難場所の確認(大学付近および自宅周辺など)
- ② 家族との連絡方法および待ち合わせ場所の確認
- ③ 災害用伝言サービスの確認と登録(事前登録が必要なものがあります)
- ④ 帰宅ルートおよび所要時間の確認
- ⑤ 転倒防止対策や緊急時アイテムの確認
- ⑥ 大学や友人などへの連絡方法の確認とリスト整備

(3) 家族への連絡方法

① NTT災害用伝言ダイヤルサービス

地震など大災害発生時、電話がつながりにくい状況になったときに、提供されるサービスです。

●伝言の録音方法

- ①「171」へ電話をかけます。ガイダンスが流れます。
- ②「1」をダイヤル。
- ③市外局番+自宅電話番号。

●伝言の再生方法

- ①「171」へ電話をかけます。ガイダンスが流れます。
- ②「2」をダイヤル。
- ③市外局番+被災地の人の電話番号。

※被災地にいる人も、被災地以外にいる人も利用方法は同じです。

②携帯各社の災害用伝言板サービス

携帯電話各社でも災害発生時に「災害用伝言板」などのサイトが利用できるようになります。
事前登録が必要な場合もありますので、利用方法を確認しておきましょう。

(4) 大学への安否報告

災害が発生した場合、大学は学生の安否確認を行います。災害発生時に登校していない場合は、連絡可能になり次第、電話かメールで学生支援チームに連絡してください。その際には、学籍番号、氏名、現在の状況を知らせてください。

学生支援チーム TEL 075-702-5101
E-mail gakusei@kyoto-seika.ac.jp

ケガ・体調不良時の対応

1. 学内でのケガ・体調不良

学内でケガをした場合や体調が悪くなった場合は、保健室を利用することができます。
保健室には看護師が常駐し、応急手当や健康に関するアドバイスをを行っています。

保健室 (本館1階)	開室時間 (授業期間中のみ)	月～金 10:00～17:00(閉室時間 13:00～14:00) 土 10:00～14:30(閉室時間 13:00～14:00)
---------------	-------------------	--

※「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」(薬機法)に基づき、保健室では一般医薬品(内服薬等)を取り扱っていません。体調不良が心配な方は、主治医や薬局(薬剤師等)と相談のうえ、緊急時に対応できる自分にあった薬を携帯するようにしてください。

2. 医療機関

本学では、以下の医療機関と提携し、学生の保健管理や健康診断を行っています。

丹羽内科医院(校医)

京都市左京区岩倉三宅町360(叡山電車「八幡前」駅下車、北へ徒歩5分) TEL 075-781-5221

診察時間 9:00～12:00、17:00～19:00 休診日 木曜・日曜・祝日・土曜午後 URL <http://www.niwanaika.net>

校医以外の大学周辺の医療機関については、保健室で紹介しています。必要に応じて問い合わせてください。

3. 学内で傷病者を発見したら

学内で傷病者を発見したときは、慌てずに周りの人に知らせ、協力して応急手当をするとともに、教職員に連絡し、指示を仰いでください。
緊急時に備え、本学ではAED(自動体外式除細動器)をキャンパスおよび学外施設に設置しています。AEDは、心肺停止者が心室細動状態か否かを自動的に判断し、必要に応じて電気ショックを与える医療機器です。キャンパス内に4カ所、学外施設に3カ所設置しており、誰でも利用できます。

AED設置場所

(1)キャンパス内 ※P.207キャンパスマップ参照

①本館1階 ②体育館1階 ③情報館2階 ④警備棟

(2)学外施設

①京都国際マンガミュージアム ②丹後学舎 ③朽木学舎



4. 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険

本学では、全学生が入学時に「学生教育研究災害傷害保険」および「学研災付帯賠償責任保険」に加入しています。
講義や実習、課外(クラブ)活動、通学中の事故によるケガの治療、他人にケガをさせたり、器物を破損してしまったときの賠償には、一定条件の下に保険金が支払われます。そのような場合は、速やかに学生支援チームに連絡してください。

●学生教育研究災害傷害保険

国内外における正課中(講義、実習、演習)、学校行事、大学が認めた課外活動(クラブ・サークル、インターンシップ、ボランティア活動)などの教育研究活動中、学内施設利用中、通学中の事故によるケガを治療した場合、一定条件のもとに保険金が支払われます。

●学研災付帯賠償責任保険

国内外における正課中(講義、実習、演習)、学校行事、大学が認めた課外活動(インターンシップ、ボランティア活動)またはその往復において、他人にケガをさせた場合や、他人の器物を破損させてしまった場合、一定条件のもとに保険金が支払われます。

※インターンシップを保険対象とするためには、事前にキャリア支援チームに届出書を提出する必要があります。

様々なトラブルを防ぐために

1. 飲酒・喫煙時の注意 (20歳未満の飲酒・喫煙は違法です)

(1) 飲酒

2010年に発生した学生の飲酒死亡事故以降、
学内外を問わず大学施設内での飲酒はできません。

- ① アルコールハラスメントはやめましょう。イッキ飲み、罰ゲーム、上下関係で飲酒を強要する、その雰囲気をつくる、大量に飲ませて酔いつぶす、酔ってからむなど、すべてがアルコールハラスメントであり、人権侵害です。命を失うケースもあり、傷害などの犯罪に発展する可能性のある極めて悪質かつ危険な行為です。絶対にやめましょう。
- ② 飲酒運転はやめましょう。お酒を飲んで、車・バイク・自転車を運転することは法律で固く禁止されています。また、飲酒運転は本人だけでなく第三者にも迷惑や被害を与える大きな事故につながります。また、お酒を飲んで人の運転を制止する立場にありながら止めなかった人も処罰の対象となることがあります。絶対にやめましょう。

(2) 喫煙

すべての人が快適に過ごせるキャンパスづくりのために、キャンパスは指定場所以外全面禁煙です。喫煙の際には、タバコを吸わない人に煙を吸わせることや、不快な思いをさせることがないように、周囲に配慮し、マナーを守ってください。歩きタバコ、吸いがらのポイ捨てはやめましょう。本学における特定屋外喫煙場所はP.207のキャンパスマップに記載されています。

2. 薬物乱用の防止

大麻や覚せい剤、麻薬などの違法薬物を使用することは犯罪です。

違法薬物はその乱用だけでなく所持も禁止されており、例えば、大麻所持の場合は5年以下の懲役に処せられます。

特に近年は青少年による大麻事犯が増加傾向にあり、2019年には本学学生6人が大麻取締法違反(所持)の罪で逮捕・起訴されました。インターネット等において「有害性がない」などの誤った情報が氾濫していますが、大麻の乱用は、青少年期に構築される脳・神経系の正常な発達及び成熟に障害を起こす可能性が強く示唆されており、10代の頃から使い始めると依存症になる危険が高まることが報告されています。

違法薬物はただ一度の使用でもあなたの人生を台無しにし、家族や友人などあなたに関わる周囲の人も傷つける恐れがあります。自ら使用しないことが大切ですが、他者から誘われた場合もしっかりと断り、必ず自分を守ってください。もし、あなたの周囲で使用の可能性がある場合はすぐに学生支援チームか教職員へ相談してください。大学に相談することは友人やクラスメイトを裏切る行為だと自身を責めることはありません。薬物乱用を止めないことのほうが、その人の人生を悪化させる恐れがあるからです。

また、「合法ドラッグ」や「合法ハーブ」といった危険ドラッグに関する事故やトラブルも社会問題化しています。身体への影響がなく安全であるかのように誤解されていますが、危険度は麻薬と同じ、またはそれ以上です。

薬物は絶対に買わない、使わない、かかわらないようにして自分を守ってください。

違法薬物に関するメールでの相談窓口 gakusei@kyoto-seika.ac.jp

3. ネット上のマナーおよび個人情報の取り扱いに関する注意

インターネットは、情報の収集や交流など、私たちの生活に欠かせないツールですが、無防備な書き込みによるトラブルやフィッシング詐欺など、多くの社会問題も起きています。インターネット上の発言は、全世界の人に見られる可能性があり、一度書き込んだ内容を完全に削除することはできません。特に近年はSNSをきっかけにした学生間のトラブルが数多く発生しています。アカウントに鍵をかけたり、特定の相手をブロックしたりしていても友人などを通じて相手に伝わる場合がありますので、個人情報や他人の人権を傷つける発言など、無防備・無責任な書き込みをしないよう気をつけましょう。また、芸術・表現を学ぶ学生としての自覚を持ち、著作権や肖像権の正しい理解と配慮を心がけましょう。

4. 悪徳商法・悪質団体への注意

路上での「キャッチセールス」や下宿への「訪問販売」で高値で不要な物を売りつけられる、「宗教活動」に言葉巧みに誘い込まれる、「街頭アンケート」に答えたために後々までしつこくつきまとわれる、「学生ローン」を借りて元金の何倍もの返済に追われることになるなど、身の回りには様々な危険な誘いがあります。甘い言葉、うまい話にはくれぐれも注意してください。たとえ勧誘やセールスが執拗でも、毅然とした態度で断ることが大切です。万一、トラブルに巻き込まれてしまったときや不審に思ったときはすぐに学生支援チームに相談してください。

「訪問販売」に代表されるような、冷静に判断できないまま契約をしてしまいがちな販売方法に対して、「クーリング・オフ制度」が設けられています。具体的には、特定の取引について、契約日を含む8日間以内（「マルチ商法」では20日間以内）であれば解約できる制度です。「クーリング・オフ制度」により商品を解約したい場合は、商品には絶対に手をつけないで、「解約通知」を簡易書留郵便で契約先へ送付してください。また「解約通知」は郵送する前にコピーをとり保管してください。「クーリング・オフ制度」を適用できる取引の詳細については、以下のサイトに掲載されています。

独立行政法人国民生活センター URL <http://www.kokusen.go.jp>

3 キャリア 支援

CAREER SUPPORT >

セイカのキャリア支援

1. セイカのキャリア支援の考え方

「好きや得意を仕事に」を本気で支援

セイカのキャリア支援のコンセプトは「好きや得意を仕事に」です。大学を卒業すれば、基本的には社会に出て毎日多くの時間を仕事に使うこととなります。であれば、好きなことや得意なことにつながっている仕事の方が、より幸せに生きられるはず。それをただの理想ではなく一人ひとりが実現できるよう本気で支援するのが、セイカのキャリア支援です。

卒業後の進路にはいくつかのケースがあります。

学んできた内容を
活かす仕事に就く

専攻とは直結していないが
自分の特徴を活かせる
仕事に就く

自分で仕事をつくる
(作家、マンガ家、
イラストレーターなど)

など

どの進路を選ぶにしても優劣はありません。むしろどういう仕事のかたち、働き方に関心が向くかは、4年間の学生生活の間に大きく変化するものです。専攻分野にとらわれすぎする必要ありません。専門資格が必須の仕事を除けば、専攻を問わずやってみたい!と思う仕事にいくらかでも挑戦できる時代です。

そして、セイカではどの進路に対してもサポート体制を整えています。窓口対応だけでなく、授業や年間に多数実施するイベント・講座を通して、あらゆる角度からみなさんが自由な進路選択ができるよう支援していきます。

2. 進路を考えるときのヒント

進路選択に必要なのは自分だけの「経験」

どんな仕事のかたちを希望するとしても、仕事を探す際には「自分がどんな人間で何をやってきたか、何をしたいか」を伝えることが必要になります。つまり、進路を考えるには「自分自身の経験をどれだけ掘り下げられるか」が肝心になるのです。自由度の高い大学生時代に、好きなことややってみたいことに思い切り挑戦する経験をひとつでもふたつでも積むことが、大学生活で一番大事なことだと言えるかもしれません。そうした経験を積み重ねていけば、自分の傾向や将来の仕事の方向性が自ずと見えてくるはずです。

アンテナを張っていれば、セイカには学部を問わず誰でも参加・挑戦できるチャンスがたくさん転がっています。進路は自分のために自分で選び取るもの。人に流されたり合わせたりするのではなく、少しでも気になるものは積極的に参加してみてください。挑戦も失敗も含め「経験しないと学べないこと」こそが、あなただけの糧になります。

表現の学びは武器になる

「自己アピールできないことがない」という相談を受けることがありますが、実は、表現を学ぶセイカの学生は無意識に多くの力を身につけています。「絵画」に取り組んでいるなら観察力や集中力が、「デザイン」ならコンセプトから考える企画力が、「マンガ」なら発想力や忍耐力が、「論文」なら客観性や分析力が…、といった具合に、各学部の日々の学びを通して自然に養われる力があります。

今のあなたは何が好きですか? 何が得意ですか? そして、周囲の人々や世界がどうなるとうれしいですか? 進路・就職のことを考えるとき、まずはこれを自分に問いかけてみてください。

3. 各学年別のステップとやっておくべきこと

進路選択に向けてどんな準備をしていけばいいのかを学年ごとに見ていきましょう。

	各学年別のステップとやっておくべきこと	キャリア支援チームからの一言アドバイス
1年生	1年目は、授業で基礎知識や技術をどんどん吸収するインプットがメインの時期です。興味関心をもったことは積極的に参加、挑戦しておく、それが後々進路を考えるときの資源になります。活動内容は、経過や結果を必ずデータで記録して!	 吸収し基礎を固める時期。 失敗も成長の糧。 自由にどんどん挑戦してみる事が大事。 キャリア支援チーム 公式キャラクター「うまび」
2年生	授業課題はもちろん、課外プロジェクト、サークルやアルバイトなど課外活動にも力を入れられる時期。この時期に「〇〇に力を入れてがんばった!」と言える経験をつくっておくことが大事です。PCスキルも苦手分野は克服しておきましょう。	 挑戦を蓄積する時期。 学内外の活動に幅をもたせ、好きなことに思い切り打ち込んで。
3年生	進路ガイダンスが始まり、将来と自分について考え向き合う時期。情報収集と自分自身の考えを明確にできるかどうかが明暗を分けます。関心がある業界や仕事があれば積極的にインターンシップに参加するとよいでしょう。	 進路と向き合う時期。 情報収集と自分自身の考えを言葉にする時間をつくろう。
4年生	就職希望者は前半から活動が本格化。卒論、卒制と活動が重なってくるので、早めの行動が肝心。作家など就職以外の進路を希望する場合はとくに、活動を継続していきける環境を在学中にどれだけ整えられるかが大切になります。困ったとき、迷ったときはキャリア支援チームへ相談を!	 活動本格化、早めの行動が成功のカギ。 相談はどんな些細なことでもウェルカム!

4. 活用しよう！大学のキャリア支援

本学では、みなさんのキャリアに役立つさまざまなサポートを行っています。目的に合わせて積極的に利用してください。

学生グループ キャリア支援チーム

明窓館1階

(1) 進路・就職に関する個別相談

進路・就職に関する個別相談を受けられます。就職活動をはじめ進路についての悩みだけでなく、履歴書・エントリーシートの添削や面接指導、ポートフォリオのチェックも可能です。

対応時間 月～金 10:30～17:30（1回30分）

※【1・2年生】相談希望日の前日18時までにキャリア支援チームで予約してください。
【3・4年生】相談希望日の前日まで、「キャリア支援サイト」からいつでも予約ができます。
詳しい予約方法については、「セイカ・ポータル」を確認してください。

(2) その他の窓口で受けられるサポート

先輩の作品ポートフォリオ閲覧	クリエイティブ職で内定を決めた先輩のポートフォリオを閲覧できます。ゲーム、アニメーション、広告、グラフィック、プロダクトなど多様な進路に対応したポートフォリオが揃っています。
就職関連書籍の貸し出し	様々な進路や働き方を考えるための書籍、業界や職種の解説本、ポートフォリオ制作の参考書籍、筆記試験対策本などをカウンターで借りられます。
適職診断ゲーム	セイカ生の進路をもとに独自に製作した適職診断カード「セイカミライカード」を使って、ゲーム感覚で適職診断ができます。自分に向いている仕事かわからず悩んでいる人は一度、窓口まで来てください。

(3) 窓口以外で受けられるサポート

「セイカ・ポータル」、 学内メールを通じた情報発信	「セイカ・ポータル」、学内メールを通じてキャリア支援チーム主催の講座・ガイダンスをはじめ、学外のインターンシップ、就職・進路に関するイベントなどについての情報を随時配信しています。必要な情報をしっかりチェックしましょう。
キャリア関連イベントの実施	さまざまな業界の現場からゲストを招いた業界研究会を、年間通じて数多く実施しています。学部・学年問わず参加できるので、関心があれば早期から知識や理解を深められます。
就職活動体験レポート閲覧 (3年生以降対象)	卒業生の就職活動体験レポートをキャリア支援サイトで閲覧することができます。
キャリア支援サイト (3年生以降対象)	大学に届くインターンシップ、求人情報を確認することができます。

5. 一番使える!セイカ生に合わせた各種ガイダンス

本学では1年を通じて、進路選択や就職活動に役立つさまざまな内容の講座やガイダンスを実施しています。
とくに進路・就職ガイダンスは参加率の高い人ほど内定率も高いため、積極的に参加しましょう。

(1)すべての就職希望者のための総合支援

就職を目指す学生のために以下のような大学オリジナルの講座・ガイダンスを実施しています。
一部、学年を限定したイベントがありますが、希望者は参加できます。詳細は「セイカ・ポータル」で確認してください。

進路・就職ガイダンス	業界や職種の理解、仕事の探し方、履歴書の書き方、面接対策など就職活動に必要な基本的な知識が身につきます。
企業説明会(単独・合同)	人事・採用担当者を大学に招き、会社の紹介や採用スケジュール、求める人物像などを説明してもらいます。このイベントで内定が出るケースが増えています。
内定者が語る今年の就活体験談	就職が内定した4年生から就職活動の“生”の体験談が聞けます。
各種就職対策講座	「面接対策講座」や「職業研究」など、就職活動に役立つ各種講座やイベントを実施しています。

(2)クリエイティブ系職種を目指す人に特化した支援

ゲームクリエイター、Webデザイナー、グラフィックデザイナーなどクリエイティブ系の職種を目指す学生を対象に以下の講座・ガイダンスを実施しています。

ポートフォリオ対策講座	クリエイティブ職の就職活動で最も重視して審査されるのはポートフォリオ。ゲーム、広告デザインなどの分野で活躍する現役デザイナー等を招き、ポートフォリオ制作のポイントをわかりやすく説明します。
ポートフォリオ個別相談	ポートフォリオは、業界や職種によってその評価ポイントは全く異なります。キャリア支援チームの個別相談を利用したアドバイスはもちろんですが、現役クリエイターより直接指導の機会も多数設けています。セイカ・ポータルや大学メールを通じてお知らせしますので、お見逃しなく。
ポートフォリオのプレゼンテーション術	クリエイティブ職では、面接でも必ずポートフォリオについて説明を求められます。ポートフォリオや掲載作品の意図やコンセプトについて、どこを、どのように伝えればよいのか、ポイントをお伝えします。ポートフォリオのプレゼンテーションの極意をお伝えする講座を年2回、実施しています。

(3)就職以外の進路を目指す人を支援

マンガ家など企業就職以外の働き方を希望する学生のためのサポートプログラムも実施しています。

マンガ講評会	マンガ編集者を大学に招き、マンガ作品を講評・指導してもらいます。夏と冬の年2回開催される合同講評会では、大手出版社を中心に多数の編集部が来学します。
フリーランス、アーティスト スタートアップ志望者向け講座	フリーランスやアーティストとして生計を立てる卒業生や起業家などを中心に招き、活動方法などをお話いただく講座や、公募紹介講座を実施しています。

6. セイカならではの特色あるサポート

本学の学生に合わせてつくられた、セイカ独自の特色あるサポートを紹介します。

① 京都精華大学オリジナルキャリア手帳

無数の卒業生たちの進路を支援してきたキャリア支援チーム。そんなチームスタッフが経験をもとに書き下ろした、進路就職ノウハウ情報つきの手帳を、3年生全員に無料配布しています。必要な基本情報はもちろんセイカ生の興味関心に合わせた内容が盛り込まれており、活動の際に携帯しやすいサイズとデザインになっています。ダイアリー機能もあるので手帳としても活用できます。



② 適職診断ができる『セイカミライカード』

セイカのキャリア科目担当教員がオリジナルで開発・デザイン制作した適職診断ゲーム『セイカミライカード』を使って、いつでも適職診断をすることができます。ゲーム感覚で受けられるので、「どんな仕事があるかわからない」「何が向いているのか知りたい」という人にはうってつけ。友達と一緒にやってみるのも○。進路について考えるときの一つのきっかけとして活用してみてもいい。



③ 先輩たちの豊富なポートフォリオ

デザイナーなどクリエイティブ職の採用試験で最も大きなウエイトを占める作品審査。そこで提出する自分自身の作品ポートフォリオについて、早めからリアルにイメージをもてるよう、実際に内定先に提出したポートフォリオを毎年先輩たちから集めています。業界、職種も幅広く、これだけ多くのポートフォリオ事例が実物で見られるのはセイカならでは！学部学年不問、誰でもいつでも自由に閲覧可能です。



☒ キャリアに役立つ科目も要チェック！

カリキュラムのなかにも、キャリアを考えるうえで役立つ科目がたくさんあります。

1. キャリア科目

『コミュニケーション実践演習』『職業研究』『インターンシップ』『ポートフォリオ演習』など、進路選択に直結する科目を目的に合わせて履修しましょう。

2. 汎用性が高いスキルはPC・デジタル関連と語学！

仕事内容や業界を問わずワードなどのPCスキルは必須です。クリエイティブ職であれば、デジタルソフトの操作スキルが必要です。ウェブのスキルも需要UP中。語学力はあって損なし！苦手部分を早めに授業でスキルアップしておきましょう。

3. 社会、経済、ビジネスへの理解を深める科目

筆記試験や面接時に必要となる時事・ビジネスに関する知識。『現代社会の諸問題』などの科目を通して、世界や社会で起こっているトピックスへの理解を深めましょう。

INTERNATIONAL EXCHANGE ➤

4 国 際 交 流

セイカの国際交流

本学では1968年の開学時より国際交流に力を入れてきました。芸術系の学部がある大学としては全国でもトップクラスの留学生数、協定校数を有するほか、国際交流に関わる充実した制度が整っているため、学内にいながらにして海外の文化を感じることも可能です。しかしながら、皆さん自身が実際に現地へ足を運び、見て、話し、聞いて得られる「経験」に勝るものはありません。学生の間にぜひ一度は海を渡り、現地の文化に触れ、人と交流することで、自身の世界、可能性を広げてください。

1. 海外での国際交流

(1) 交換留学

本学に在籍したまま1学期の間、海外の協定校で学ぶことができる制度です。本学の規定授業料を納めれば、留学先協定校での授業料は免除されます。また、現地で取得した単位は帰国後に卒業要件単位として認定されるので、4年間での卒業が可能です。留学先では、正規の学生として扱われ、現地の学生と同等に指導されます。本学の協定校リストには、世界トップレベルの大学が名前を連ねています。

(2) 海外留学型フィールドプログラム ※人文学部対象

人文学部では、3年次の1学期間、キャンパスをはなれ国内外のフィールドでの学修を通じ、それぞれの社会や文化を構成する人々の歴史的背景、価値観への理解を深め、人間や社会の多様性と普遍性に触れ、自己や社会を広い視野から批判的・相対的に捉える力を身につけることを目指すフィールドプログラムを実施します。

このうち、海外留学型は、アジア圏と欧米・大洋州圏の大学を拠点に実施します。プログラム開始時には教員も同行するアジア圏の各プログラム前半では、現地の語学をはじめ、現地の歴史、文化と社会を学び、演習地について多面的・多角的な理解を深めます。教員が同行しない欧米・大洋州圏のプログラムは語学学習が中心となります。いずれのプログラムも受入機関での授業終了後（一部派遣先では授業と並行して）、自ら設定した課題のフィールドワークを行ないます。

(3) 海外ショートプログラム

正課科目の授業として取り扱われる短期の海外研修プログラムです。海外ショートプログラムには、次の3種類があります。

①タイプA：教員主導型（1～2週間）
研修先の事情に通じた本学専任教員が、現地に同行・引率して直接指導をおこないます。

②タイプB：大学幹旋型（スタディツアー）（1～4週間）
特色あるテーマに基づき、個々人が関心と目的意識をもって主体的にツアーに参加します。

③タイプC：大学幹旋型（語学研修）（2～4週間）
語学を修得するという目的に特化して、決められた生活環境のなかで勉強に励みます。

2. 学内での国際交流

(1) iC-Cube（アイシーキューブ）

京都精華大学は留学生の比率が高く、学生のバックグラウンドは多彩です。キャンパス内での多文化交流や異文化理解のための共同スペースであるiC-Cube（アイシーキューブ）では、英語をはじめとする多彩な言語によるコミュニケーションや講演会、ワークショップなどの国際交流イベントを開催します。語学力に自信がなくても不安に感じることはありません。気軽に国際交流を楽しみましょう。

(2) 海外からのビジターとの交流

京都精華大学では、世界各国の教育機関などから、日本語や日本文化の研修、交換留学、視察旅行などを目的としたビジターやゲストを多数受け入れています。ぜひ彼らと交流する機会を楽しみましょう。

5 教 学

← ACADEMIC MATTERS

授業科目

1. 大学の授業とは

大学では、それぞれの授業のシラバス(授業概要および計画を示したもの)を見て、学びたい授業を自身で選び、自分専用の時間割を作ります。各学部・学科・コース・専攻ごとに体系化された教育内容があり、様々な科目で構成されています。みなさんは自分の所属している学科・コース・専攻のカリキュラムに沿って授業を選ぶことになります。

2. 2学期(セメスター)制

本学では、2020年度以前入学生の科目および大学院、資格課程の科目においては、1年を前期と後期に分ける2学期(セメスター)制を採用しており、セメスターごとに科目が開講されます。2024年度の学期は右の通りです。

※各年度の学期は、「セイカ・ポータル」および大学Webサイトに掲示された学年暦(大学カレンダー)を参照してください。

前期	2024年4月1日から2024年9月29日
後期	2024年9月30日から2025年3月31日

3. 4学期(クォーター)制

本学では、2021年度以降入学生の科目においては、1年を1Q、2Q、3Q、4Qに分ける4学期(クォーター)制を採用しており、クォーターごとに科目が開講されます。2024年度の学期は右の通りです。

※2020年度以前入学生の一部の科目についても、4学期(クォーター)制が運用されることがあります。

1 Q	2024年4月1日から2024年6月9日
2 Q	2024年6月10日から2024年9月29日
3 Q	2024年9月30日から2024年12月1日
4 Q	2024年12月2日から2025年3月31日

4. 開講期間による科目の分類

科目は開講期間によって以下のように分類できます。

(1) 通常授業

セメスター開講科目	前期もしくは後期の15週間、毎週開講される授業
クォーター開講科目	1Q、2Q、3Qもしくは4Qの7.5週間、毎週開講される授業 なお、7.5週間とは、通常90分の授業が、8週目の授業のみ45分授業となることを意味します。
通年授業	1年間(前期、後期の合計もしくは1Qから4Qの合計30週間)、毎週開講される授業

※各年度の授業開講期間および授業日は、「セイカ・ポータル」および大学Webサイトに掲示された学年暦(大学カレンダー)を参照してください。

(2) 集中授業

毎週決まった曜日・時間に関講するのではなく、夏季休暇期間、春季休暇期間中の数日間や、不定期に関講する授業です。開講日程は授業によって異なりますので、各科目のシラバスで確認してください。

5. 履修条件による科目の分類

科目の中には、卒業するために履修が必須となるものや自由に選択して履修できるものがあります。

- (1) 必修科目**
卒業要件として、必ず履修してその単位を修得しなければならない科目です。
- (2) 選択必修科目**
卒業要件として指定された科目群の中から選択して履修し、所定の単位数または科目数を修得しなければならない科目です。
- (3) 選択科目**
指定された科目群の中から、自身の目的や興味関心に応じて自発的に選択して履修する科目です。
- どの科目が「必修科目」「選択必修科目」「選択科目」に該当するかは、P.59以降の「卒業要件表」、「科目一覧」で確認してください。

6. 授業形態による科目の分類

科目は授業形態によって、以下の5種類に分類できます。

- (1) 講義**
担当教員が自身の研究実績や知見に基づき、履修者にテーマに沿った解説をする事を基本的なスタイルとする授業形態です。質問やコメントペーパーなどを活用した双方向授業による場合も多く見られます。
- (2) 演習**
同じテーマに取り組む比較的小人数の履修者とそれを指導する教員によって成立する授業形態です。あるテーマについて討議をする、グループで1つのプロジェクトの完成を目指して制作に取り組むなど、複数人で課題に取り組む授業形態が多く見られます。
- (3) 実習**
講義や演習で培った知識、技術を活かし、実際に制作や活動に取り組むような授業形態です。
- (4) 学外実習**
さまざまな学外の団体等で、それまでの知識や経験を活かし、実際に現地での活動を体験する授業形態です。
- (5) 成果評価**
卒業論文、卒業研究、卒業制作など学修の成果を評価して単位を認定する科目です。

7. 授業実施形態による科目の分類

- (1) 対面授業**
教室で教員と直接対面して受ける授業です。
- (2) 対面授業(一部、遠隔授業含む)**
総授業時間数の半分以上が対面で行われる授業です。
- (3) 遠隔授業:オンデマンド型**
資料揭示、動画配信等の教材で学修し、オンライン上で課題のやりとりを行う授業です。
- (4) 遠隔授業:同時双方向型**
Zoom等のツールを使って、時間割通りにオンライン上で受講する授業です。
- (5) 遠隔授業(一部、対面授業含む)**
総授業時間数の半分以上が遠隔で行われる授業です。

8. 実務経験を有する教員による科目について

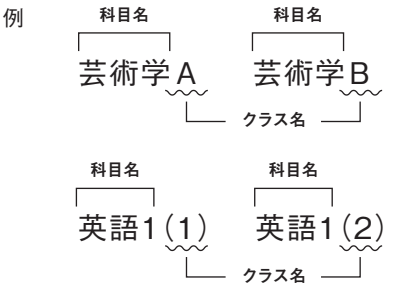
科目の中には、実務経験を有する教員がその経験を活かし担当する科目、学外から多様な企業等で活躍する方々を講師に迎え実施する科目、企業とのコラボレーション授業、インターンシップなど、実践的教育から構成される科目を配置しています。各科目の詳細はシラバスの「実務経験／実践的教育」欄で確認してください。シラバスのキーワード検索で【実務経験／実践的教育】と入力し、該当科目を抽出することができます。

9. クラス

クラスとは、教育上の効果を考慮して、受講者を適切な人数のグループに分けたものです。

科目名の後に続く“A”“B”“C”および“(1)”“(2)”“(3)”はクラス名を表します。
右の例の場合、AクラスとBクラスの授業、(1)クラスと(2)クラスの授業は、クラスは異なりますが、同じ科目のため、重複して履修することはできません。また、科目によっては、学科・コース・専攻ごとにクラスが決められているものもあります。

なお、この「学習のてびき」カリキュラムページの「科目一覧」には、クラスが表示されていません。各科目のクラスについては、「セイカ・ポータル」に掲示される「開講科目一覧」を参照してください。



10. シラバス

シラバスとは、各科目について、その内容と計画を解説した概要のことです。科目名、担当教員名、開講期、単位数、科目の目的や到達目標、授業実施形態、具体的な授業計画等が説明されています。また、成績評価の方法・基準、教科書・参考文献、履修条件などについても書かれています。シラバスをよく読み、科目を履修登録してください。

11. 科目ナンバリング

科目ナンバリングとは、カリキュラム（教育課程）を体系的に理解することを目的に、本学で開講しているすべての科目にコード（番号）を付けたものです。

科目ナンバリングコードは、各科目の対象とする学部・学科・コース、履修可能な年次などを表しています。コードはP.67以降の「科目一覧」およびシラバスの各科目ページに記載されていますので、履修科目を選択する際、何年生から履修できるのか、どのような順序で履修すればよいのかを判断するのに活用してください。

たとえば、全学教養科目のキャリア科目群で、1年生から履修できる講義科目の「ライフデザイン」は以下のようなコードが付けられています。

C	C	A	1	0	0	1	1	0	1
① 開講 学部 など	② 学問分野 (コース、課程、 科目群など)	③ 開講 形態	④ 整理番号			⑤ 履修 開始 年次	⑥ クラス番号		

科目ナンバリングコード

① 開講学部など	コード
全学共通	C
芸術	A
デザイン	D
マンガ	M
ポピュラーカルチャー	P
人文	H
大学院	G

③ 開講形態		コード
全学 共通	講義	1
	演習・実習	2
学部 専門	講義	3
	演習・実習	4
大学院 ・資格	講義	5
	演習・実習	6
その他（成果評定等）		9

⑤ 履修開始年次	コード
年次不問	0
学部1年次	1
学部2年次	2
学部3年次	3
学部4年次	4
大学院M1年次	5
大学院M2年次	6
大学院D1年次	7
大学院D2年次	8
大学院D3年次	9

② 学問分野	コード
造形学科共通	FA
イラスト	IL
グラフィックデザイン	GD
デジタルクリエイション	DC
プロダクトコミュニケーション	PC
ライフクリエイション	LC
建築	AR
カートゥーン	CT
ストーリーマンガ	SM
新世代マンガ	NG
キャラクターデザイン	CD
アニメーション	AN
音楽	MU
ファッション	FS
総合人文	CH
VD学科共通	VD
PD学科共通	PD
学部内共通	GS

② 学問分野	コード
大学院共通基盤(M)	MC
人文学研究科(M)	MH
芸術研究科(M)	MA
デザイン研究科(M)	MD
マンガ研究科(M)	MM
芸術研究科(D)	DA
マンガ研究科(D)	DM
セイカ学	SE
語学	FL
ITリテラシー	IT
表現理論	ET
表現技法	AT
自然科学	NS
社会科学	SS
人文科学	HU
人間科学	HS
現地演習	FW
キャリア	CA
副専攻	MI
コラボレーション	CO
資格(教職)	QT
資格(学芸員)	QM
資格(司書)	QL
資格(その他)	QA
単位認定	ZZ

12. 単位制度

すべての科目には単位数が設定されています。単位とは、科目を修得するために必要な学修量（時間）を数で表したもので、「1単位の科目」は「45時間の学修を必要とする内容（自学自習時間を含む）」をもって構成することが標準となっています。

1単位

=

授業時間

+

予習・復習、
課題への取り組み

= 45時間

1回の授業は90分ですが、制度上これを2時間の学修時間として計算します。
各科目の単位数は、この授業時間と自学自習時間、および1単位あたりの学修量をもとに、次のように計算します。

学期制	授業科目の分類	1週あたりの学修量	1学期あたりの 授業週数	1学期あたりの 学修量	1単位あたりの 学修量	単位数
セ メ ス タ ー 制	講義 人文学部の演習	授業2時間[実質90分] + 自学自習4時間＝6時間	15週	90時間 (6時間×15週)	45時間	2
	外国語／ 実習／演習	授業2時間[実質90分] + 自学自習1時間＝3時間	15週	45時間 (3時間×15週)	45時間	1
ク ォ ー タ ー 制	講義	授業2時間[実質90分] + 自学自習4時間＝6時間	7.5週	45時間 (6時間×7.5週)	45時間	1
	外国語／ 実習／演習	授業4時間[実質180分] + 自学自習2時間＝6時間	7.5週	45時間 (6時間×7.5週)	45時間	1

学修量には、大学の教室で行われる授業だけでなく、予習・復習、課題への取り組み（作品制作、レポート作成等）など自主的な学習が含まれます。自主的な学習の内容については、各科目のシラバス内「授業外学習の指示（予習・復習・課題等）」を参照してください。

13. 履修登録上限単位数

大学での学修は、授業時間以外に予習復習といった自学自習の時間も含めて考えられています。
学修時間をしっかりと確保するために、本学では以下のとおり、履修登録上限単位数を定めています。

芸術学部、デザイン学部、マンガ学部、ポピュラーカルチャー学部、人文学部

前期	後期	年間
24単位	24単位	48単位

- ※資格課程専門科目は、履修登録上限単位に含まれません。
- ※前期に修得できなかった単位分を上乗せして、後期に履修登録することはできません。
- ※前年度に修得できなかった単位分を上乗せして、次年度に履修登録することはできません。

卒業・修了・進級

卒業・修了・進級要件とは

(1) 進級要件

「進級要件」とは、次の学年に進級するために必要とされる条件のことです。

各学科・コース・専攻、各学年に設置・開講されている進級要件科目の単位を修得する必要があります。

したがって、進級要件科目の単位を修得できない場合は、次の学年に進級することができず、「留年」となります。

(2) 卒業要件

「卒業要件」とは、所属学部を卒業するために必要とされる条件のことです。

以下3点の要件を満たせば、卒業が認定され、「卒業証書」とともに学士の学位が授与されます。

- ① 本学に設置されている学部で4年以上在学すること（編入学生は別に定める）。
※休学の期間は、在学期間には含まれません。
- ② 所属学科・所属コース・所属専攻が定める卒業要件にしたがって、卒業に必要な単位を修得すること。
- ③ 学費等が完納されていること。

● 授与される学位の種類

芸術学部	: 学士（芸術）
デザイン学部	: 学士（芸術）
マンガ学部	: 学士（芸術）
ポピュラーカルチャー学部	: 学士（芸術）
人文学部	: 学士（人文）

(3) 修了要件

「修了要件」とは、所属研究科を修了するために必要とされる条件のことです。

以下3点の要件を満たせば、修了が認定され、「修了証書」とともに修士または博士の学位が授与されます。

- ① 本学に設置されている大学院研究科に
修士・博士前期課程は2年以上、博士後期課程は3年以上在学すること。
※休学の期間は、在学期間には含まれません。
- ② 所属研究科が定める修了要件にしたがって、修了に必要な単位を修得すること。
- ③ 学費等が完納されていること。

● 授与される学位の種類

【博士前期課程・修士課程】

人文学研究科	: 修士（人文学）
芸術研究科	: 修士（芸術）
デザイン研究科	: 修士（芸術）
マンガ研究科	: 修士（芸術）

【博士後期課程】

芸術研究科	: 博士（芸術）
マンガ研究科	: 博士（芸術）

※各研究科・学部・学科・コース・専攻の卒業・修了・進級要件は、それぞれのカリキュラム紹介ページを参照してください。

履修登録

1. 履修登録とは

「履修登録」とは、単位を修得しようとする科目を決め、その科目の受講を申請することです。前期後期の各学期初めに履修登録期間(学年暦参照)が定められ、「セイカ・ポータル」にて学生自身が登録手続きを行います。科目の登録にあたっては、所属する学部、学科、コース、専攻、学年に指定されている必修科目と進級・卒業・修了要件を確認したうえで、履修できる科目のシラバスをよく読み、学びたい内容や身に付けたい力に沿った科目を登録してください。

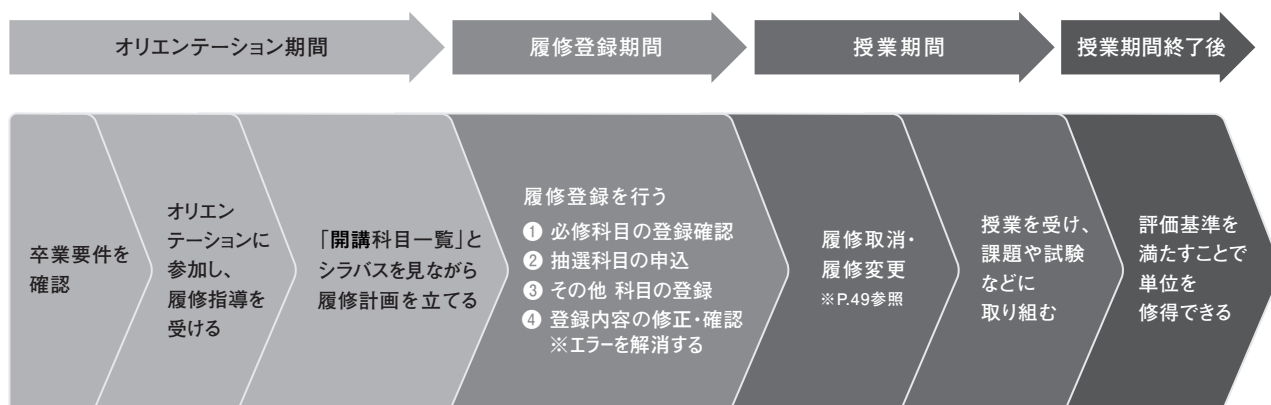
履修登録の原則

- 同一曜日同一講時に履修できる科目は1科目です。曜日講時が重複する複数の科目を履修登録することはできません。
(日程が重複する複数の集中授業も同時に履修登録できません)
- 単位を修得した科目を再度履修することはできません。
- 不合格になった科目は、再度履修登録することができます。
- 1学期に登録できる単位数には上限があり、それ以上は履修登録できません(P.46参照)。
- 各科目には開講最低人数基準が定められており、履修登録学生数が次の人数に満たない場合は、原則として当該科目を開講しません。
講義、語学、実習科目 5人／演習科目 3人 ※履修登録の結果、登録した科目が開講されない場合、教務チームより登録した学生に連絡します。
- 上記いずれかにより、「セイカ・ポータル」上で履修エラーが出た場合は、速やかにエラー解除手続きを行なってください。エラーを解消しないままでは、当該学期の全登録科目の単位が修得できません。

2. 履修登録から単位修得までの流れ

履修登録から単位修得までは以下の手順で進みます。

前期開始前には前期開講科目(1Q開講科目・2Q開講科目を含む)および通年科目を、後期開始前には後期開講科目(3Q開講科目・4Q開講科目を含む)を履修登録します。集中授業も同様です。



3. 履修登録手続き

履修登録手続きは、「セイカ・ポータル」で行います。手続きの際は以下の事項に注意してください。

- 各学期開講科目の詳細（科目担当者およびクラス、開講曜日講時など）は、『学習のてびき』のカリキュラムページに記載していません。「セイカ・ポータル」に掲示される「開講科目一覧」を参照してください。
- 登録期間内に手続きを行ってください。期間内に行わないと、その学期の科目の受講資格は認められません。
- 履修登録期間終了後、正しく登録されているかどうか、自身で確認してください。
誤った履修登録を放置すると、正しい科目の受講資格が認められず、単位が修得できなくなります。
- 必修科目は進級や卒業に関わるため、時間割に登録されているか必ず確認してください。
- 卒業制作など、成果に対して単位を認定する科目も履修登録が必要です。
- クラス指定のある授業科目は、指定されたクラスで履修登録してください。
- 一部科目においては、授業期間開始後に、選抜や申し込みにより受講生を決定する場合があります。

4. 抽選科目

施設設備の状況や学習計画を考慮し、受講できる人数に定員を設けている科目は、抽選によって受講生を決定します。受講を希望する場合は、抽選科目申込期間中に「セイカ・ポータル」にて手続きを行ってください。

5. 履修取消

授業の内容や難易度が学生の認識と違っていた場合などに、不合格などの評価によってGPA(P.55参照)が低下することを回避するために、学期途中に履修している科目の登録を取り消すことを認める制度です。履修取消の手続き方法や期間等の詳細は、各学期中に「セイカ・ポータル」でお知らせします。なお、履修を取り消した科目に替えて、別の科目を追加登録することはできません。また、必修科目等において、履修取消が認められない場合もあります。

6. 履修変更

2Q・4Qの開講科目について、前クォーターの学修状況などを踏まえ、開講前に、履修登録した科目の取り消しと一部の科目の追加登録を認める制度です。履修変更の手続き方法や期間等の詳細は、「セイカ・ポータル」でお知らせします。

授 業

1. 通常授業時間

1 講 時	2 講 時	3 講 時	4 講 時	5 講 時	6 講 時
9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50	18:00～19:30

2. 休講・補講・休校

(1) 休講

病気など授業担当者の都合や、自然災害などに伴い、授業が行われないことを休講といいます。

授業が休講になった場合は、「セイカ・ポータル」でお知らせします。

また、担当教員から休講の連絡がなく、授業開始時間から30分経過しても授業が開始されないときは休講となる場合があります。

(2) 補講

授業が休講になった場合、授業回数の不足を補うために補講を行います。

補講は原則各学期に設けられている「補講日」に行われますが、各科目の具体的な日時、教室については

「セイカ・ポータル」でお知らせします。

(3) 休校

気象警報の発令および公共交通機関の運休などの理由により、すべての授業が行われないことを休校といいます。

代替の授業日を設ける場合があります。

3. 暴風警報・特別警報・交通機関運休等による休校・休講措置

以下のいずれかに該当する場合、休校・休講措置がとられます。

- (1) 気象庁が発表する気象警報において、「京都府南部」(もしくはその細分区域である「南丹・京丹波」、「京都・亀岡」、「山城中部」、「山城南部」のいずれかの地域)に暴風警報もしくは特別警報が発令されたとき。

注意事項

- 大雨洪水警報は休校・休講要件とはなりませんので注意してください。
- 特別警報の種類は問いません。特別警報は都道府県単位で発令されます。(1)は京都府に特別警報が発令された場合を指しますが、それ以外の地域に特別警報が発令された場合、発令地域にいる学生においては個別に公欠扱いとしますので、通学が可能になった後、教務チームに申し出てください。特別警報が発令された場合、発令地域にいる学生は、各自ただちに命を守る行動をとってください。

- (2) JR 在来線(米原～神戸)、叡山電鉄(鞍馬線)、京都市営地下鉄、および京阪電鉄(本線)、阪急電鉄(京都線)、近畿日本鉄道(京都線)のいずれかが運休になり、なおかつバスなどの代替手段がないとき。

注意事項

- 交通機関での事故などによる一時的な運転見合わせの際には休校・休講措置をとりません。
- 上記指定以外の交通機関各線の運休は休校・休講要件とはなりません。

- (3) その他の事情により、休校・休講が適切であると学長が判断するとき。

休校・休講の判断基準

- 気象警報、交通機関の運休状況を以下の時刻にて確認し、基準に従い判断してください。
- 気象警報、交通機関の運休状況は、警報解除、運行再開が発報された時刻が基準となります。何時に発報されたかを必ず確認し、基準に従ってください。

① 気象警報

基準時刻	条件	休校・休講の措置
午前 7時	警報が解除されている	平常授業実施
	警報が解除されていない	午前中休講
午前 9時	警報が解除されている	3講時より平常授業実施
	警報が解除されていない	終日休校

② 交通機関運行の状況

基準時刻	条件	休校・休講の措置
午前 7時	運行が再開されている	平常授業実施
	運行が再開されていない	午前中休講
午前 9時	運行が再開されている	3講時より平常授業実施
	運行が再開されていない	終日休校

※9:00よりも後に警報発令または運行休止となった場合は、その時点から休校となります。

4. 授業への参加

(1)出席・欠席

授業への出席は、科目に定められた単位を修得するために必要な前提条件の一つです。
授業を欠席すると、必要な学修機会を失い、各科目の目的、到達目標を達成できず、単位修得が認められないことがあります。

(2)授業中のマナー

- ①授業中の私語は禁止です。
- ②遅刻はしないでください。やむを得ない事情で遅刻をした場合は、授業の妨げにならないよう静かに教室に入室してください。
また、授業担当教員に断りなく途中退室はしないでください。
- ③授業担当教員の指示により、もしくは、授業担当教員の許可を得て授業のために使用する場合を除き、携帯電話・スマートフォン・PC・タブレット端末などの使用を禁止します。授業中は電源を切るか、マナーモードにしてください。
- ④特別な理由がある場合を除き、授業の撮影・録画・録音は原則禁止です。必要な場合は、必ず授業担当教員の許可を得てください。
- ⑤飲食は原則禁止としますが、授業担当教員の指示に従ってください。

5. 学修成果の確認週間

授業の最終週に、1週間の「学修成果の確認週間」を設けます。
この期間では、実習・演習科目を中心に授業で制作した作品の発表や展示、フィールドワーク報告会、研究・論文発表会といった各学期の学修成果のアウトプットを行います。また、講義でも授業内に実施した筆記試験やレポートなど取り組んだ課題に対する科目担当者からの振り返りを行う場合があります。自身の学修の成果を確認し、科目によっては発表などを行うことにより、表現力、コミュニケーション力、プレゼンテーション能力が高まるほか、他者からの評価を受けることで新たな発見を生み、次への学修、研究活動、表現活動につなげていく機会となります。

6. 授業評価アンケート

本学では、学生の意見を取り入れながら授業改善に取り組んでいます。学期ごとに授業評価アンケートを実施しますので、履修している科目に対して責任ある評価を行い、率直な意見を聞かせてください。FD委員会（授業内容および方法の改善を図るための組織）で授業評価アンケートの結果を共有し、本学の教育計画に反映させていきます。

7. 公 欠

授業欠席の理由が、本学の定める事由に該当する場合、公欠(公的な理由がある欠席)が認められる場合があります。以下の公欠の事由に該当する場合は、指定する書類・文書を持参のうえ、教務チームで「公欠届」を提出してください。科目担当者に対しては、手続き完了時に窓口で受け取る「公欠届」のコピーを手渡して事情を説明してください。 ※集中授業においては、その授業形態の性質により公欠が適用されないことがあります。

(1) 忌引

① 必要となる書類・文書

葬儀案内状

※提出が困難な場合は、保証人による理由書(書式自由)でもかまいません。ただし、保証人の署名・捺印が必要となります。

② 届出の期限

忌引期間終了後1週間以内

③ 公欠期間

本人と故人との関係に応じて、右記の通りとします。

故人との関係	日数
1親等の血族(父母・子)または配偶者	7日
2親等の直系血族(自分の祖父母・兄弟姉妹)	3日
1親等の姻族(配偶者の父母)	
上記以外の3親等以内の血族(伯父母・叔父母・甥姪)	1日
2親等以内の姻族(配偶者の祖父母・兄弟姉妹)	

(2) 通学経路の交通機関が事故などにより不通になった場合

① 必要となる書類・文書

各種交通機関が発行する遅延・不通などの理由を証明する文書(延着証明書・遅延証明書など)

※延着証明書・遅延証明書は各種交通機関の駅で受け取ることができるほか、交通機関のホームページから入手できる場合もあります。

② 届出の期限 交通機関が遅延・不通となった日から1週間以内

(3) 教育実習・博物館実習・介護等体験

① 必要となる書類・文書 教育実習・博物館実習・介護等体験の日程がわかる書類(窓口で複写後、返却)

② 届出の期限 教育実習・博物館実習・介護等体験が終了した日から1週間以内

(4) 学校感染症

『学校保健安全法』に定める感染症は以下の通りです。また、公欠期間は『学校保健安全法施行規則』に定められた感染症の出席停止期間に準じます。

学校保健安全法に定める感染症

第一種:エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限り)、中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限り)及び特定鳥インフルエンザ(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成十年法律第百十四号)第六條第三項第六号に規定する特定鳥インフルエンザをいう。次号及び第十九條第二号イにおいて同じ)

第二種:インフルエンザ(特定鳥インフルエンザを除く)、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限り。)であるものに限り。次条第二号チにおいて同じ。)、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎

第三種:コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第六條第七項から第九項までに規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症は、前項の規定にかかわらず、第一種の感染症とみなす。

① 必要となる書類・文書 医師による診断書

② 届出の期限 出席停止期間終了後1週間以内

(5) 裁判員制度および検察審査会制度による場合

① 必要となる書類・文書 裁判所または検察審査会事務局が発行する証明書

② 届出の期限 裁判所または検察審査会での用務が終了した日から1週間以内

(6) 外国人留学生の在留申請等手続き

① 必要となる書類・文書 ・入国管理局の申請受付票コピー ・新たに許可を受けた在留カード(窓口で複写後、返却)

② 届出の期限 申請手続き日から1週間以内

入国管理局の申請受付票コピーの場合:申請後1週間以内／新たに許可を受けた在留カードの許可年月日提示の場合:許可後1週間以内

③ 公欠期間 申請日(1日)および許可日(1日)

8. 長期欠席になる場合

病気やその他のやむを得ない事由により長期間欠席せざるを得ない場合は、すみやかに教務チームと所属学科・コース・専攻の教員に連絡してください。科目担当者から医師による診断書などの証明書の提示が求められる場合があるため、証明書は各自手配をしておいてください。何の連絡もなく、長期間の無断欠席が続くと、就学の意思がないものと判断されます。

単位修得

1. 単位を修得するには

科目に定められた単位を修得するには、次の3点に取り組み、各科目において定められた評価基準を満たす必要があります。

- ①その科目の履修登録をしていること。
- ②その科目について、修得に必要な時間数分の授業に出席し、自学自習を行うこと。
- ③指定された筆記試験の受験、レポート・作品などの提出を行ない、定められた基準をクリアすること。

上記②③における学修の成果を「成績」として総合的に評価します。

2. 成績評価基準

成績評価の基準は以下のとおりです。

	合 格					不 合 格	
評価	S	A	B	C	N	F	K
点数	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	認定	59点以下	評価対象外

※成績評価「N」とは

「N」は認定という意味です。本学入学・編入学前に所属していた教育機関で、本学の科目と同等の学修を行ったと判断した場合や、外部の公的機関が実施する試験で一定の基準以上のスコアを取った場合(P.56・57)、大学コンソーシアム京都の単位互換科目を修得した場合など、本学における単位修得が認められた場合につけられます。

※成績評価「K」とは

「K」は評価対象外という意味です。授業の出席状況や受講態度が悪い、試験を受験しなかった等、担当教員が「受講放棄」と判断した場合につけられます。この場合、再試験や成績訂正の対象にはなりません。

※成績保留「H」とは(2018年度以前入学生)

成績評価「H」は、合格点に達せず、一時的に成績評価が保留となっている状態です。「H」がついた場合は、必ず担当教員もしくは教務チームへ問い合わせてください。担当教員から提示される保留解除のための課題(追加レポート、作品の提出など)に取り組み、指定期日までに提出し、合格と評価された場合は、保留が解除され「C」以上の評価に訂正されます。ただし、「H」評価のまま放置していた場合、一定期間を過ぎると不合格評価に訂正されます。

3. 各種試験およびレポート等における不正行為 (P.201規程参照)

成績評価方法として、各種試験を行う場合があります。また、科目によっては、レポート等の提出を求める場合があります。

(1) 各種試験およびレポート等とは

各種試験	学期末試験、追試験、再試験、授業時間内に実施される中間テストや小テスト
レポート等	授業内で指示された課題レポート・課題作品や学期末のレポート試験、卒業論文・卒業制作、修士論文・修士作品、博士論文

(2) 不正行為への処分

不正行為と判定した場合、行為の重大性や悪質性により、当該科目の成績評価を0点とする、または、当該学期の全履修科目の成績評価を0点とするなどの処分を行ないます。

(3) 「各種試験」における不正行為

各種試験において、不正と判断される行為は以下の通りです。

- ① 私語や態度不正を注意しても改めないとき
- ② 不正に物品や教科書・ノートの貸し借りをしたとき
- ③ 許可されていないものを参照したとき。また、他人のノートのコピーや、コピーを貼りつけたノートを持ち込んだとき
- ④ 代人受験をしたとき、またはそれをさせたとき
- ⑤ 答案用紙を他の受験者とすり代えたとき、またはそれに応じたとき
- ⑥ 他の受験者の答案用紙を見たり解答を聞いたりしたとき、またはそれに応じたとき
- ⑦ 監督者の指示に従わないとき
- ⑧ その他、教務委員会において不正と判断されたとき

(4) 「レポート等」における不正行為

レポート等において、不正と判断される行為は以下の通りです。

- ① 他人の著作物を剽窃・流用・コピーしたとき
- ② インターネット上に掲載されている第三者の著作物を、引用元などの記載をせずにそのまま流用したとき
- ③ 生成AI等の人口陳坊を用いて出力した情報を、科目担当教員の許可なく使用したとき、または引用元などの記載をせずにそのまま使用したとき
- ④ その他、教務委員会において不正と判断されたとき

4. レポート等の提出

レポート等の提出における注意点は、以下の通りです。

- ① 提出期限を厳守してください。期限に遅れた場合は、提出を受け付けません。
※インターネットの接続環境が悪いことを理由とした事後提出も認められません。締切までに余裕をもって準備をしてください。
- ② 提出先は、各科目担当教員からの指示に従ってください。

5. 各種試験の受験およびレポート提出ができなかった場合

以下のやむを得ない理由によって、各種試験の受験およびレポート提出ができなかった場合は、担当教員に申し出てください。担当教員が専任教員でないなど、連絡が取れない場合は、欠席後1週間以内に教務チームに相談してください。

理 由	必 要 書 類
病気、ケガ	医師の診断書（試験日を含んだ日程が記載されたもの）
交通機関の遅延	交通機関が発行する遅延証明書または事故証明書
忌引（原則として3親等以内）	葬儀案内状または保証人の証明（押印のこと）
就職活動に伴う採用試験 （採否に関わらないセミナーや説明会は除く）	採用試験を行ったことを証明する書類
裁判員制度または検察審査会制度による場合	裁判所または検察審査会事務所が発行する証明書
学外実習、教育実習、博物館実習、介護等体験	教務チーム担当者が実習を行ったことを証明する書類
その他	理由を証明できる書類

6.再試験（2018年度以前入学生対象）

履修登録した科目の成績が合格点に達しないため、卒業単位が不足（8単位以内）する卒業年次の学生に対し、当該年度に履修した科目に限り、学部と担当教員が認めた場合のみ再試験を実施します。再試験の注意点は以下の通りです。

- ①成績評価が「K」の科目は再試験の対象になりません。
- ②再試験対象者には教務チーム担当者より連絡があり、再試験を希望する場合は「再試験願」の提出が必要となります。
- ③再試験の受験には1科目につき、5,000円の受験料が必要です。

7.GPA制度

(1)GPA制度とは

GPA(Grade Point Average)とは、履修科目の成績の平均を数値で表すもので、修得単位数という学修の“量”だけでなく、“質”(内容)を表す指標であり、学修の成果を総合的に判断するデータとなります。この数値を活用することで、学修の到達度が明確になり、自身の努力目標を具体的に設定できるといった効果が期待できます。

(2)GPAの算出方法

GPAは科目ごとの成績評価に対してグレードポイント(GP)をつけて、全履修登録科目の平均を算出します。成績を4点満点の基準で点数化し(S=4、A=3、B=2、C=1、F=0、K=0)、各科目の単位数を掛け合わせます。

GPAの計算式は以下の通りです。

$$\frac{(Sの単位数合計 \times 4) + (Aの単位数合計 \times 3) + (Bの単位数合計 \times 2) + (Cの単位数合計 \times 1)}{履修登録科目すべての単位数合計 (N、未評価科目、資格課程専門科目を除く)}$$

※GPAは小数点第4位以下を四捨五入し、小数点第3位までの数値で表します。

(3)履修取消

授業の内容や難易度が学生の認識と違っていた場合などに、不合格などの評価によってGPAが低下することを回避するために、学期途中に履修している科目の登録を取り消すことを認める制度です。履修取消の手続き方法や期間等の詳細は、各学期中に「セイカ・ポータル」でお知らせします。なお、履修を取り消した科目に替えて、別の科目を追加登録することはできません。また、履修取消が認められない場合もあります。

(4)GPAの運用

入学からの通算GPAは「セイカ・ポータル」で確認することができます。また、算出されたGPAは、海外の教育機関への留学や奨学金の受給などの判定の基礎資料として使われるほか、履修指導などに活用されます。

8.成績・単位修得状況の確認

(1)成績、単位修得状況の確認方法

各学期に履修した科目の成績は、以下の時期に「セイカ・ポータル」で確認することができます。その学期までの単位修得状況も「セイカ・ポータル」で確認できますので、次の履修計画を立てるために、必ず確認してください。

セメスター開講科目	前期:8月下旬		後期:2月下旬	
クォーター開講科目	1Q:6月中旬	2Q:8月中旬	3Q:12月中旬	4Q:2月下旬

(2)成績に関する問い合わせ

各科目の成績について疑問・質問がある場合は、成績公開日から1週間以内に「セイカ・ポータル」に掲示される所定の問い合わせフォームより問い合わせてください。結果は後日、教務チームより回答します。

(3)学費支弁者への成績通知

学費支弁者は「セイカ・ポータル」を通じて学生の単位修得状況を確認することができます。

9. 大学コンソーシアム京都単位互換制度

(1) 単位互換制度とは

大学コンソーシアム京都の単位互換制度は、京都地域の大学および短期大学が相互に単位互換協定を締結し、これらの大学に所属する学生が他大学の授業を受講し、修得した単位をその学生が所属する大学の単位として認定できるようにする制度です。約45の加盟大学が提供する特色ある科目を履修することにより、自分の興味関心や視野を広げることができます。
本学では、この制度で修得した単位を「大学コンソーシアム認定」として認定します(成績評価「N」)。ただし、卒業要件単位には含まれません。

(2) 出願手続

単位互換制度で提供される授業の履修を希望する学生(2年生・3年生のみ)は、前期のオリエンテーション期間中に教務チーム窓口で必要な出願手続を行ってください。

10. 編入学による単位の認定

本学に編入学した場合、他大学等(短期大学等を含む)で修得した単位のうち、2年次編入学生は30単位を上限に、3年次編入学生は62単位を上限に卒業に必要な単位として認定します(成績評価「N」)。ただし、一部の単位が認定されない場合があります。

11. 入学前に修得した単位の認定

下に該当する学生は、他大学、短期大学等で修得した単位を本学で修得した単位として認定することがあります。

- ① 他大学、短期大学等を卒業し、1年次から本学に入学した場合
- ② 他大学、短期大学等中途退学し、1年次から本学に入学した場合

本人の申請に基づき、修得した科目および単位内容を審査したうえで単位を認定します(成績評価「N」)。希望者は右の書類を揃えて期限までに教務チームへ提出してください。
なお認定単位数は、大学コンソーシアム京都単位互換制度、海外留学制度により認定される単位と併せて30単位を上限とします。

提出書類

- ① 出身大学、短期大学、高等専門学校または専修学校の既修得単位を証明する成績証明書または単位修得証明書
- ② 既修得科目のシラバス

提出期限

入学年度の4月20日
(本学の事務取扱日でないときは、直後の事務取扱日)
やむを得ない事由により期限までに書類が提出できない場合は、必ず提出期限までに教務チームへ相談してください。

単位認定の時期

入学年度の5月下旬

12. TOEICスコアによる単位の認定(2017年度入学生対象)

TOEICスコアによって「英語1」「英語2」「英語3」「英語4」の単位認定を行います。
単位認定を行う基準スコアはTOEIC公開テスト及びTOEIC IPテストのものとします。

単位認定基準

基準スコア	認定科目	認定単位数
500	英語1	2単位
550	英語2	2単位
600	英語3	2単位
650	英語4	2単位

単位認定の方法

以下①、②の書類を教務チームに提出してください。

① 基準スコア以上のTOEIC Official Score Certificate(公開テストの認定証)、またはTOEIC Institutional Program Score Report(IPテストの認定証)

② TOEIC単位認定申し込み用紙
(用紙は教務チームに準備していますので事前に取りにきてください)

申請受付後、本学の承認を経て、単位認定が決定されます。
※申請受付期間：3月および9月

注意事項

※申請日から遡って3年以内に受験したスコアを有効とする。ただし、スコアに有効期限がある場合は、入学時点で有効であること。

13. 外部の資格試験による語学科目単位認定 (2018～2020年度入学生対象)

以下の資格試験によって語学科目の単位認定を行います。

単位認定基準

対象科目	成績基準(スコア／級)		授業科目	認定単位数
英語科目	TOEIC	650点以上	英語1 英語2 英語3 英語4	8単位
	TOEFL(PBT)	520点以上		
	TOEFL(CBT)	190点以上		
	TOEFL(iBT)	68点以上		
	実用英語技能検定	準1級以上		
	IELTS	6点以上		
	TOEIC	600点以上	英語1 英語2 英語3	6単位
	TOEFL(PBT)	500点以上		
	TOEFL(CBT)	173点以上		
	TOEFL(iBT)	61点以上		
	IELTS	5.5点以上		
	TOEIC	550点以上	英語1 英語2	4単位
	TOEFL(PBT)	480点以上		
	TOEFL(CBT)	157点以上		
	TOEFL(iBT)	54点以上		
	IELTS	5点以上		
	TOEIC	500点以上	英語1	2単位
	TOEFL(PBT)	470点以上		
	TOEFL(CBT)	150点以上		
	TOEFL(iBT)	32点以上		
	IELTS	4.5点以上		
	その他の資格試験		応相談	
日本語科目	日本語能力試験	N1以上	日本語1 日本語2	4単位

※ 申請日から遡って3年以内に受験したスコアを有効とする。ただし、スコアに有効期限がある場合は、入学時点で有効であること。

単位認定の方法

(1) 以下の①②の書類を
教務チームへ提出してください。

- ① 該当する資格試験の資格または成績証明書類
(窓口で複写後、返却)
- ② 英語または日本語の
単位認定申込用紙

(2) 申請受付後、認定を行います。
ただし、受付後、担当教員による面談を行う場合があります。また、1年生の場合には英語または日本語のプレイスメントテストのスコアも勘案して決定する場合があります。

※ 申請受付期間：3月および9月

※ TOEICは、会場受験のみが対象となります。
オンライン形式のスコアは、認定の対象となりません。

※ TOEFLにおける「CBT」はコンピューター方式のテスト、「PBT」はペーパー方式のテスト、「iBT」はインターネット方式のテストのことです。

14. 転学部・転学科・転コース制度

この制度は、本学内での転籍を希望する学生が、選考試験に合格すれば、志願する学部・学科・コースの2年次、もしくは3年次に転籍することができるものです。募集を行う学部・学科・コースおよび募集人数は、在籍している学生数などを考慮し、毎年決定します(学部・学科・コースによっては受け入れができないことがあります)。出願手続きや日程、選考に関する詳細については、「セイカ・ポータル」に掲示される「転学部・転学科・転コース試験出願要項」を確認してください。

試験の出願資格は以下の通りです。

3年次への転学部・転学科・転コース

本学に在籍している2年次修了者および年度末までに2年次修了見込みの学部生で、62単位以上修得または年度末までに修得見込みの者。

2年次への転学部・転学科・転コース

本学に在籍している1年次修了者および年度末までに1年次修了見込みの学部生で、30単位以上修得または年度末までに修得見込みの者。

科目表の見方

科目ナンバリングコード

各科目の対象とする学部・学科・コース、授業形態、履修可能な年次などを表したコードです。 ▶詳しくはP.45

科目名

その科目の名称を表しています。

必修/選択

その科目が必修科目か、選択必修科目か、選択科目かを表しています。 ▶詳しくはP.44

授業形態

授業の形態によって講義、演習、実習、学外実習、成果評定に分類しています。 ▶詳しくはP.44

単位数

その科目を修得することで得られる単位数を表しています。 ▶詳しくはP.46、53

配当年次

その科目を履修できる年次を表しています。

ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連

その授業を修得した時に身につけることができる能力・資質を表しています。

※『学習のてびき』には、クラス名が記載されていません。「セイカ・ポータル」に掲載される「開講科目一覧」を参照してください。

例

科目ナンバリングコード	科目名	必修/選択	授業形態	単位数	配当年次	ディプロマ・ポリシーとの関連						
						1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
						1	2	1	2	3	1	2
MGS30011	キャラクター造形論1	選択	講義	2	1・2・3・4		●	●			●	
MGS30031	キャラクター造形論2	選択	講義	2	1・2・3・4		●		●	●		●
MGS30051	風刺画論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
MGS30071	物語キャラクター論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●					
MGS30091	脚本概論1	選択	講義	2	1・2・3・4		●		●			
MGS30111	脚本概論2	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●		●			
MGS30131	マンガ表現史1	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●					
MGS30151	マンガ表現史2	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			●		
MGS30171	編集概論1	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●					
MGS30191	編集概論2	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●					
MGS30251	アニメーション作品作家研究1	選択	講義	2	1・2・3・4		●			●		
MGS30271	アニメーション作品作家研究2	選択	講義	2	1・2・3・4		●			●		
MGS30372	海外コミックマンガ論	選択	講義	2	2・3・4	●	●					
MGS30392	比較マンガ論	選択	講義	2	2・3・4	●	●					
MGS30452	マンガ業界論	選択	講義	2	1・2・3・4		●	●				
MGS35113	メディア文化論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●		
MGS35123	メディア産業論	選択	講義	2	2・3・4	●	●					
MGS30592	新世代マンガ総合講座	選択	講義	2	2・3・4		●				●	●
MAN30311	日本アニメーション史	選択	講義	2	2・3・4	●	●					
MAN30411	世界アニメーション史	選択	講義	2	2・3・4	●	●					

CURRICULUM >

6

カリキュラム

P060 全学共通カリキュラム

P072 芸術学部

P078 デザイン学部

PI01 マンガ学部

PI21 ポピュラーカルチャー学部

PI29 人文学部

2017年度以降入学生

全学共通カリキュラム

カリキュラム（教育課程）の構成

2017年度以降入学生のカリキュラム（教育課程）は

5学部が共通で履修する「**全学共通教育科目**（全学教養科目、全学専門科目）P.67～」と
学部、学科ごとに編成された「**学部専門教育科目** P.76～」に分けて開設されています。

科目区分			履修年次				取得 単位数	卒業に要する 単位(計)
			1年次	2年次	3年次	4年次		
全学共通 教育科目 (SEEK) P.67～	全学教養科目 P.67～						30単位 以上	
	全学 専門科目 P.70～	副専攻	各科目群の 講義(概論) 科目	各科目群の 講義・演習科目			14単位 以上	
		コラボ レーション		演習・実習科目				
学部専門教育科目(主専攻) P.76～							80単位 以上	

「全学教養科目」では、幅広い知識と多角的な視点を養うための科目を設置し、「学部専門教育科目」においては専門的なスキルや知識、思考方法を身につけるための科目を設置しています。また、学部・学科において身につけた専門的な能力を社会に展開し、活用するためのアイデアや手法を実践的に学ぶための「全学専門科目」を開講します。これら本学独自のカリキュラムにより、4年間で身につけた芸術、文化の専門的なスキル、知識、思考方法を卒業後の社会で活用することが可能になります。

全学共通教育科目（SEEK）

全学共通教育科目（SEEK: Socially Engaged Educational Key）は、京都精華大学の教育目標である「社会の課題を克服し、全人類が幸福に共生する地球社会を築く人間の形成」の実現のために、幅広い知識と多角的な視点を身につけ、そして身につけた知識や技能を適用し、社会の課題解決に貢献することを目的に設置されています。5学部すべての学生が履修できる科目であり、「全学教養科目」と「全学専門科目（副専攻、コラボレーション）」から構成されています。全学共通教育科目を履修することで身につく力は、どの学部の学生にも必要となる知識、教養であり、学部専門教育科目をより強く展開するための有機的発想、手法の源となります。

1. 全学教養科目 30単位以上修得

全学教養科目は、芸術、文化を学修するうえで必要な基礎知識や基本的なスキルを修得し、幅広い視野と深い思考力を身につけることができます。「セイカ学」「語学」「ITリテラシー」「表現理論」「表現技法」「自然科学」「社会科学」「人文科学」「人間科学」「現地演習」「キャリア」の11の科目群から構成されています。それぞれの科目群から所属学部・学科・コース・専攻での学びとの関連性、自分の興味・関心、将来の進路などに応じて、4年間で30単位以上修得できるよう履修してください。

全学教養科目 科目群

(1) セイカ学	京都精華大学で学ぶための基礎をつくる科目群。本学の学生になるための導入教育である「大学入門」、本学の教育の基本である「日本国憲法」や「人権」のほか、建学の理念である「自由自治」について考える科目が設置されています。
(2) 語学	自分を表現し、他者とコミュニケーションを取るためのツールである日本語（ことば演習）、英語のほか中国語、タイ語、フランス語などの「読む」「書く」「聞く」「話す」能力を高める科目が設置されています。
(3) ITリテラシー	インターネット利用のマナーなどネットワーク社会における情報倫理に関する知識や、メール・SNSなどのコミュニケーションツールに関する知識、技術を身につける「情報リテラシー」のほか、文書作成ソフト、表計算ソフト、映像編集ソフトの使い方を身につける科目、簡単なプログラミングを学ぶ科目などを設置しています。
(4) 表現理論	表現活動を行うための基盤となる知識や理論を身につける科目群。美術史、音楽史といった歴史を学ぶ科目や、デザイン論、メディア論、写真論などそれぞれの領域に関する体系的な知識を身につける科目で構成されています。
(5) 表現技法	この科目群では、絵画、写真、マンガ、音楽など、5学部の特色を取り入れた入門的・基本的な制作スキルを身につける科目を設置しています。自分の所属学部・学科・コース・専攻で身につけられる制作スキル以外の表現方法を修得することで、表現の幅を広げることができます。
(6) 自然科学	「自然科学」とは、「自然」に属するもろもろの対象を取り扱い、その法則性を明らかにする学問です。この科目群では、自然科学そのものから、生物学、数学、地球と宇宙などに触れる科目を通じて人間が自然をどのように捉えてきたかを学び、人間の自然観と、それが生み出してきた表現を考える基礎となる知識を身につけることができます。
(7) 社会科学	社会は様々な面から構成されています。一つひとつを取り出してみると、経済、政治、法、道徳といった分野がありますが、これらは相互に密接に関連しており、私たちの生活を形成しています。この科目群には「政治学」「法学」「経済学」「ジェンダー論」などの科目が設置されており、多様な側面から私たちの社会生活を理解することで、社会の構造を多方面から学びとることができます。
(8) 人文科学	「人文科学」とは、人間が生み出したものすべてについて探究する学問です。この科目群では、「哲学」「宗教史」「倫理学」「言語学」「文学概論」などを学ぶことから、人間が築いてきた歴史や生み出してきた哲学、思想、文学などを通して「人間」を見つめ、専門科目での学びへとつなげていきます。
(9) 人間科学	「人間科学」とは、「人間とは何か」という問題を人間の行動や人間関係、身体などの側面から科学的に研究する比較的新しい学問です。この科目群では、教育学、心理学、健康科学などの分野を扱うほか、スポーツ実習、身体文化演習では体を動かすことで身体の構造・感覚、所作と文化の関連を学び取ることができます。
(10) 現地演習	国内または海外のフィールドを選定し、担当教員による事前学習の後、歴史、文化、自然、環境、ライフスタイル、社会問題などのテーマに沿って、現地に約1週間から4週間の実地研修、地域研究を行います。現地での見学、交流、体験、語学研修を通して、各フィールドに対する知識、理解を体験的に深めていき、そこから日本あるいは世界を相対視することを目的としています。
(11) キャリア	自分の進路を自らデザインし、それを実現するための基礎力を身につける科目群です。コミュニケーション力を高める科目や、様々な業界で働く先輩から仕事のリアルを聞く科目、自分の生き方としてキャリアを考える科目などが設置されています。

2. 全学専門科目(副専攻、コラボレーション) 14単位以上修得

全学専門科目は、学部・学科・コース・専攻での学びで身につけた専門的な能力を社会に展開し、役立てるための有機的な発想や手法を学ぶ科目です。全学専門科目は「副専攻」と「コラボレーション」の2つの科目群から構成されています。各学部で学修する専門的な知識、思考、技能と合わせることで、より強く、幅広い応用力が身につきます。

(1) 副専攻

「国際」「環境」「福祉」「ソーシャルデザイン」といった現代社会において重要と考えられるテーマに対して、学部・学科・コース・専攻での学びで身につけた専門的な能力を活かし、課題や問題を解決するための知識、アイデア、手法を身につける科目群です。同一の副専攻科目群から5科目10単位（ただし概論科目と演習科目は必修）以上を修得すれば、該当する副専攻を修了したと認定し、「副専攻修了証」を授与します。副専攻の修了は任意です。また、複数の副専攻群から自分の興味・関心、将来の進路などに応じて、幅広く科目を履修することもできます。

副専攻の履修のしかた	例1: 特定の副専攻を深く学ぶ 「社会福祉概論」(福祉) 2単位 ※概論科目:必修 「障がい者福祉論」(福祉) 2単位 「児童・家庭福祉論」(福祉) 2単位 「高齢化社会論」(福祉) 2単位 「地域福祉演習」(福祉) 2単位 ※演習科目:必修 ▼ 副専攻群「福祉」から5科目10単位修得したため、副専攻「福祉」を修了。「副専攻修了証」が授与されます。	例2: 多様な副専攻から広く学ぶ 「ビジネス概論」(ビジネス) 2単位 「コミュニティ論」(ソーシャルデザイン) 2単位 「地域創生論」(ソーシャルデザイン) 2単位 「ツーリズム形態論」(観光) 2単位 「観光資源」(観光) 2単位 「コンテンツビジネス論」(コンテンツマネジメント) 2単位 「文化政策論」(コンテンツマネジメント) 2単位 ▼ 「副専攻修了証」は授与されませんが、このような履修も可能です。
------------	--	---

副専攻科目 科目群

① 国際	今日の社会において、国際理解、異文化理解の重要性はますます高まっています。「国際」科目群は異文化理解、国際社会の諸問題、国際ボランティアなどの視点から展開する講義科目と、実際にフィールド調査を行い、渡航計画を立てる演習によって構成されており、この副専攻での学びにより、グローバル社会における芸術、文化の役割を考える多角的な視点が身につきます。
② 環境	今日、人類の経済・社会活動に起因する環境問題が世界中で顕在化しています。「環境」科目群では、現代社会の抱える諸問題を正しく理解し、その改善・解決方法について検討する科目から構成されています。この副専攻での学びにより、真に豊かな暮らしとは何かについて考え、次世代の利益や要求を充足する能力を損なわない範囲内で環境を利用し、生活をしていくための知識、思考方法を身につけます。
③ 京都 伝統文化	「京都伝統文化」科目群では、京都を中心に発展した日本の伝統的な文化や芸術の特質と意義への深い理解に基づき、集大成として京都の伝統工芸、伝統産業の現場で直接指導を受ける「京都の伝統産業演習」を行います。この副専攻での学びにより、文化・芸術の源流と現代の京都で学ぶ自らを結びつけ、表現活動や研究活動を深化させることができます。
④ ビジネス	「ビジネス」科目群では、営利・非営利を問わず、組織の活動目的を実現させるために必要となるマーケティングや統計学、財務といったビジネスに関する基礎知識を身につけたうえで、自らの表現活動、研究活動を現実的にどのようにビジネスに結びつけていくか、実際にビジネスモデルをつくり上げるまでを実践的に学びます。
⑤ ソーシャル デザイン	私たちが暮らす社会は、少子高齢化や経済格差などさまざまな課題を抱えています。この科目群では、コミュニティやライフスタイルなどに関する知識を得たうえで、学部・学科・コース・専攻で身につけた芸術、文化の専門性を活かして、現代社会の諸問題を解決するためのアイデア、手法を学びます。
⑥ 福祉	現代の日本では、あらゆる人がその尊厳を守られ、幸福に生きていくために必要な制度が整備されています。「福祉」科目群では、障がい者、高齢者、児童、家庭、司法、地域という視点から福祉制度の現状を把握します。「地域福祉演習」では、地域の抱えている問題を福祉の現場から学び、その解決方法をこれまで自分が学んできた知識やスキルを活かして考えます。この科目群での学びは、人間が生きていくうえで必要な諸制度を学修し、よりよい社会のあり方について考えることにつながります。
⑦ 観光	観光は現在の日本における重要な成長分野であり、本学教育領域である芸術、文化は観光に対し、深い関わりを持ちます。「観光」科目群では、経済や法律、心理などの側面から観光について理解した後、「ホスピタリティ演習」で京都における観光ビジネスの現場でもてなしやサービスについて実践的に学びます。
⑧ コンテンツ マネジメント	「コンテンツマネジメント」科目群では、近年、地域や国という枠組みを超えて世界中に広がるコンテンツに関して、ビジネス、政策、知的財産権、鑑賞と批評といった側面から学修します。そのうえで「コンテンツプランニング演習」で、人を楽しませるアイデア、デザインについて考え、それを伝えるためのプランを生み出し、企画書、デザイン制作に取り組みます。この科目群での学びにより、自らの表現活動、研究活動の意義や価値を理解し、発信する力を身につけることができます。

副専攻演習科目の履修条件

<履修条件>

① 演習科目と同一分野の概論科目の単位を修得している者

② 演習科目と同一分野の講義科目(概論科目以外)を2科目(4単位)以上修得している者

(京都伝統文化は前年度終了時に「和の文化論」「京都の伝統工芸講座1」「京都の伝統工芸講座2」すべての単位を修得している者)

※2年生が「海外フィールドスタディ演習」を履修する場合の特例措置

「国際」分野固有の目的(海外留学)により、2年から演習を履修できるように設定している。したがって、2年生に限り「海外フィールドスタディ演習」履修の必須条件を概論科目の単位修得のみとする。(3～4年生の履修については、他の副専攻と同様の条件とする。)

※ただし、演習科目は定員制(上限25名・抽選科目)です。

(2) コラボレーション

「学生連携」「社会連携」「学内活性」などをテーマに、様々な学部・学科・コース・専攻の学生と教職員が交じり合い、それぞれの専門性を活かしながらテーマ発見→企画立案・実施→成果発表までを行うプロジェクト授業です。社会的なテーマを背景としたプロジェクトを通して、自身の専門スキルの役割の発見や、それらを社会の中で活かすための知識や手法を実践のなかで学びます。また、他ジャンルとのスキルの融合などによる、独自の活動の発見、新たな表現の可能性について考察する視点を身につけます。

これまで実施したコラボレーションプロジェクト

スムーズなコミュニケーションを 考えるプロジェクト 新しいコミュニケーションの形を生み出すプロダクトの企画、制作をおこなうプロジェクト。コロナの影響で遠隔授業を受けた学生が、対面の環境になった時にストレスのないコミュニケーションで、より良い学生生活を促すための「カードゲーム」を企画しました。また、販売することを前提として現在、検証、広報などをおこなっています。	西陣織[和工房 明月]との 新サービス開発 和装の帯を手掛ける[和工房 明月]とのコラボレーション。絹織物に写真や図案を織り込む技術に着目し、写真をカードサイズの西陣織に仕立てるオーダーメイドサービス「おもいで織り」を発案。高級な西陣織を身近に感じながら愛用できるサービス開発をおこないました。価格設定や作業工程などのサービスに必要な要件も考案し、実際の商品化に向けて活動を続けています。	台所プロジェクト 新明窓館に設置される調理設備を備えた現代的な“台所”の設計企画立案を行います。鞍馬山の風倒木や裏山の粘土など地域の資源を最大限活用したインテリアや器のデザイン設計とともに、様々な交流と学内活性を生み出す仕組みの考案など、本学のシンボルとなる台所づくりを目指し現在も継続活動中。
--	---	--

4年間の履修計画

4年間で全学共通教育科目（SEEK）、学部専門教育科目をどのように履修していくのか、履修計画の例を紹介します。
以下に紹介しているのは一例ですので、学生のみなさんは、これを参考に自分の目的、将来の目標に合わせて履修登録を行ってください。
各授業科目の詳しい内容は、「セイカ・ポータル」からシラバスを参照してください。

 ケース 1 芸術学部造形学科所属 Aさん
「アートの力で病院を楽しく温かな空間にし、患者さんやその家族、病院で働く人たちを癒すことができれば・・・」

科目区分		1年次			2年次			3年次			4年次			取得単位数
		科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	合計
全学共通教育科目	全学 教養科目	大学入門	必修	2	人権論	選択	2	現代社会の諸問題	選択	2				30
		ことば演習	必修	2	生物学	選択	2	ジェンダー論	選択	2				
		英語1	必修	2	社会学	選択	2	倫理学	選択	2				
		英語2	必修	2	哲学	選択	2	身体文化演習	選択	1				
		芸術学	選択	2	健康学	選択	2	スポーツ実習1	選択	1				
		美学概論	選択	2										
	全学 専門科目	ソーシャルデザイン概論	選択	2	社会福祉概論	選択	2	児童・家庭福祉論	選択	2	地域福祉演習	選択	2	14
				障がい者福祉論	選択	2	高齢化社会論	選択	2	国際ボランティア論	選択	2		
学部専門教育科目	専門 基礎科目	基礎ゼミ	必修	2									14	
		絵画基礎	必修	3										
		彫刻基礎	必修	3										
		デザイン基礎	必修	3										
		工芸基礎	必修	3										
	専門 実習科目				造形基礎1(版画専攻)	必修	4	造形実習1(版画専攻)	必修	4	卒業研究実習1 (シルクスクリーンゼミ)	必修	3	38
					造形基礎2(版画専攻)	必修	4	造形実習2(版画専攻)	必修	4	卒業研究実習2 (シルクスクリーンゼミ)	必修	3	
					造形基礎3(版画専攻)	必修	4	造形実習3(版画専攻)	必修	4				
					造形基礎4(版画専攻)	必修	4	造形実習4(版画専攻)	必修	4				
	メチエ 教育科目	版画基礎1	選択	2									8	
		版画基礎2	選択	2										
		版画基礎3	選択	2										
		版画基礎4	選択	2										
	専門 演習科目 専門 講義科目	現代美術基礎講座2	選択	2	現代社会システム論	選択	2	アートマネジメント論	選択	2			16	
					現代アートプロジェクト演習1	選択	2	造形演習1	選択	2				
					美術工芸史2	選択	2	工芸2	選択	2				
				ドローイング	選択	2								
卒業研究									卒業研究	必修	4	4		

 ケース 2 芸術学部造形学科所属 Bさん
「地域振興型アートに興味がある。卒業後は国際的に活躍するアーティストになりたい!」

科目区分		1年次			2年次			3年次			4年次			取得単位数	
		科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数		合計
全学共通教育科目	全学 教養科目	大学入門	必修	2	Academic Communication Skills1	選択	2	身体表現論	選択	2					30
		ことば演習	必修	2	Academic Communication Skills2	選択	2	メディア論	選択	2					
		英語1	必修	2	西洋美術史	選択	2	視覚文化論	選択	2					
		英語2	必修	2	色彩学	選択	2								
		芸術学	選択	2	生物学	選択	2								
		美学概論	選択	2											
	美術史	選択	2												
	全学 専門科目				異文化理解とアイデンティティ	選択	2	地域創生論	選択	2	海外フィールドスタディ演習	選択	2		14
				ライフスタイル論	選択	2	国際社会論	選択	2	鑑賞と批評	選択	2			
				和の文化論	選択	2									
学部専門教育科目	専門 基礎科目	基礎ゼミ	必修	2										14	124
		絵画基礎	必修	3											
		彫刻基礎	必修	3											
		デザイン基礎	必修	3											
		工芸基礎	必修	3											
	専門 実習科目				造形基礎1(映像専攻)	必修	4	造形実習1(映像専攻)	必修	4	卒業研究実習1 (ビデオアートゼミ)	必修	3	38	
					造形基礎2(映像専攻)	必修	4	造形実習2(映像専攻)	必修	4	卒業研究実習2 (ビデオアートゼミ)	必修	3		
					造形基礎3(映像専攻)	必修	4	造形実習3(映像専攻)	必修	4					
					造形基礎4(映像専攻)	必修	4	造形実習4(映像専攻)	必修	4					
	メチエ 教育科目	映像基礎1	選択	2										8	
		洋画基礎2	選択	2											
		版画基礎3	選択	2											
		映像基礎4	選択	2											
	専門 演習科目 専門 講義科目				現代美術論	選択	2	芸術評論	選択	2	アートマネジメント論	選択	2	16	
				映像論	選択	2									
				映像メディア表現1	選択	2	映像メディア表現2	選択	2	写真表現	選択	2			
				現代アートプロジェクト演習2	選択	2									
卒業研究										卒業研究	必修	4	4		

ケース 3 デザイン学部ビジュアルデザイン学科デジタルクリエイションコース所属 Cさん



「ゲームやプログラミングに興味がある。京都の未来の観光を考えるコラボレーション授業を履修する中で、観光の知識をもっと増やしたいと思うようになった」

科目区分		1年次			2年次			3年次			4年次			取得単位数
		科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	合計
全学共通教育科目	全学 教養科目	大学入門	必修	2	色彩学	選択	2	日本史	選択	2				30
		ことば演習	必修	2	サウンド演習	選択	1	視覚文化論	選択	2				
		英語1	必修	2	自然科学概論	選択	2	クリエイティブの現場	選択	2				
		英語2	必修	2	スポーツ実習1	選択	1							
		芸術学	選択	2	職業研究	選択	2							
		デザイン論	選択	2										
		マンガ文化論	選択	2										
		メディア論	選択	2										
	全学 専門科目				コラボレーション概論	選択	2	コラボレーション実習1	選択	2	コンテンツビジネス論	選択	2	14
					コンテンツマネジメント概論	選択	2	コラボレーション実習2	選択	2				
							ツーリズム形態論	選択	2					
							京都のまちづくり	選択	2					
学部専門教育科目	学部専門 講義科目				デザイン論特講1	選択必修	2	デザイン論特講4	選択必修	2			76	
					デザインレクチャーズ	選択必修	2							
	コース専門 教育科目	ビジュアルデザイン基礎1	必修	2	クリエイション1	必修	3	プロジェクト1	必修	3	テーマ研究1	必修	1	
		ビジュアルデザイン基礎2	必修	2	クリエイション2	必修	3	プロジェクト2	必修	3	テーマ研究2	必修	1	
		ビジュアルデザイン基礎3	必修	2	クリエイション3	必修	3	プロジェクト3	必修	1	テーマ研究3	必修	2	
		ビジュアルデザイン基礎4	必修	2	クリエイション4	必修	3	プロジェクト4	必修	3	テーマ研究4	必修	1	
		ビジュアルデザイン基礎5	必修	2	クリエイション5	必修	3	プロジェクト5	必修	3	テーマ研究5	必修	1	
		ビジュアルデザイン基礎6	必修	2	クリエイション6	必修	3	プロジェクト6	必修	1	テーマ研究6	必修	2	
		デザインスキル1	選択必修	2	デザイン2	選択	2	デザインスキル5	選択	2				
		デザインスキル2	選択必修	2	デザイン3	選択	2	デザインスキル6	選択	2				
	デザインスキル3	選択必修	2	デザイン6	選択	2	デザインスキル8	選択	2					
卒業研究									卒業制作	必修	4	4		

ケース 4 マンガ学部マンガ学科新世代マンガコース所属 Dさん



「同じ学年のみんなとマンガ作品を掲載するWebサイトを制作。将来的にはマンガ配信アプリにしたい」

科目区分		1年次			2年次			3年次			4年次			取得単位数	
		科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	合計	
全学共通教育科目	全学 教養科目	大学入門	必修	2	日本史	選択	2	映画芸術論	選択	2				30	
		ことば演習	必修	2	メンタルヘルス	選択	2	ポートフォリオ演習	選択	1					
		英語1	必修	2	地球と宇宙の科学	選択	2	科学史	選択	2					
		英語2	必修	2	文化人類学	選択	2								
		情報リテラシー	選択	1											
		芸術学	選択	2											
		ストリート文化論	選択	2											
		生物学	選択	2											
		コミュニケーション実践演習	選択	2											
	全学 専門科目				コンテンツマネジメント概論	選択	2	コンテンツビジネス論	選択	2	コンテンツプランニング演習	選択	2	14	124
				文化政策論	選択	2	知的財産権概論	選択	2	ライフスタイル論	選択	2			
学部専門教育科目	コース専門 教育科目	絵画技法1	必修	3	脚本実習1	必修	3	表現技法3	必修	3	自由制作	必修	3	45	
		絵画技法2	必修	3	脚本実習2	必修	3	表現技法4	必修	3	卒業制作実習	必修	6		
		ネームドリル実習1	必修	3	制作実習1	必修	3		必修	3					
		ネームドリル実習2	必修	3	制作実習2	必修	3		必修	3					
	学部共通 専門科目	基礎デジタル演習1	必修	2	新世代マンガ総合講座	必修	2	シナリオ技法1	選択	2	メディア産業論	選択	2	32	
		基礎デジタル演習2	必修	2	キャラクター造形論1	選択	2	シナリオ技法2	選択	2					
		マンガ表現史1	必修	2	キャラクター造形論2	選択	2	編集実践演習	選択	2					
		マンガ表現史2	必修	2	デジタル演習1	選択	2	コラボレーション演習1	選択	2					
		マンガ業界論	必修	2	デジタル演習2	選択	2	コラボレーション演習2	選択	2					
	卒業研究									卒業制作	必修	3	3		



ケース 5 ポピュラーカルチャー学部ポピュラーカルチャー学科ファッションコース所属 Eさん

「着る人にもつくる人にもやさしいファッションって何かを考えたら、環境についてもっと詳しくなりたいと思った」

科目区分		1年次			2年次			3年次			4年次			取得単位数
		科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	合計
全学共通教育科目	全学 教養科目	大学入門	必修	2	ストリート文化論	選択	2	現代社会の諸問題	選択	2				30
		ことば演習	必修	2	メディア論	選択	2	文化人類学	選択	2				
		英語1	必修	2	ジェンダー論	選択	2	身体論	選択	2				
		英語2	必修	2	西洋思想史	選択	2							
		自由論	選択	2										
		シチズンシップスタディーズ	選択	2										
		デザイン論	選択	2										
	自然科学概論	選択	2											
全学 専門科目	持続可能な社会	選択	2	環境社会学	選択	2	生活環境学	選択	2	環境社会演習	選択	2	14	
	ソーシャルデザイン概論	選択	2	環境経済学	選択	2	ライフスタイル論	選択	2					
学部専門教育科目	専門 講義科目	ポピュラーカルチャー原論	必修	2	文化批評	選択	2	アパレル素材論	選択	2				
		ファッション論	選択	2	日本服飾史	選択	2	造形論	選択	2				
		ファッション史	選択	2										
	専門 演習科目	基礎演習1(グラフィックデザイン)	選択	2	基礎演習2(写真)	選択	2	制作演習6(プリント)	選択	2	応用演習5(パターン1)	選択	2	80
		基礎演習6(パターン1)	選択	2	基礎演習8(縫製1)	選択	2	制作演習8(ニット)	選択	2	応用演習6(パターン2)	選択	2	
		基礎演習7(パターン2)	選択	2	基礎演習9(縫製2)	選択	2	応用演習3(ファッションPR)	選択	2				
				制作演習7(染織)	選択	2								
	専門 実習科目	基礎実習1(リサーチ&デザイン)	必修	3	制作実習1(パターン)	必修	3	応用実習1	選択必修	3	自由制作1	必修	3	
		基礎実習2(ファッションデザイン)	必修	3	制作実習2(ファッションデザイン)	必修	3	応用実習3	選択必修	3	自由制作2	必修	3	
		基礎実習3(リサーチ&デザイン)	必修	3	制作実習3(パターン)	必修	3				卒業制作1	必修	3	
		基礎実習4(ファッションデザイン)	必修	3	制作実習4(ファッションデザイン)	必修	3				卒業制作2	必修	3	



ケース 6 人文学部総合人文学科文学専攻所属 Fさん

「文学専攻では源氏物語を研究。源氏物語の中に出てきた「薫物(たきもの)合わせ」に興味を持ち、自分の手でお香を作ってみることで学びを深めたいと思った」

科目区分		1年次			2年次			3年次			4年次			取得単位数	
		科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	科目名	必修/選択	単位数	合計	
全学共通教育科目	全学 教養科目	大学入門	必修	2	中国語1	必修	2	色彩学	選択	2				30	
		ことば演習	必修	2	中国語2	必修	2	文芸創作演習	選択	1					
		発展ことば演習	必修	2	美学概論	選択	2								
		英語1	必修	2	工芸概論	選択	2								
		英語2	必修	2	日本史	選択	2								
		日本国憲法	選択	2	東洋史	選択	2								
	生物学	選択	2	身体文化演習	選択	1									
	全学 専門科目	和の文化論	選択	2	京都の習俗	選択	2	現代日本文化と世界	選択	2	京都のまちづくり	選択	2	14	
			京都の伝統工芸講座1	選択	2			京都の伝統産業演習(お香)	選択	2					
学部専門教育科目		哲学概論1	必修	2	地域学	必修	2							20	124
		哲学概論2	必修	2	現場学	必修	2								
		人文学概論1	必修	2	社会創造概論	必修	2								
		人文学概論2	必修	2											
		初年次演習1	必修	2											
		初年次演習2	必修	2											
		フィールドワーク概論	必修	2											
	創造実践 科目群				社会創造演習	必修	2	フィールド・スタディーズ1	必修	2				16	
					ICT・メディア演習	必修	2	フィールド・スタディーズ2	必修	2					
								フィールド・スタディーズ3	必修	2					
								フィールド・スタディーズ4	必修	2					
								フィールド・スタディーズ5	選択	2					
								フィールド・スタディーズ6	選択	2					
	専門研究 科目群				文学概論	必修	2	文学専門演習3	必修	2	卒業研究演習1	必修	2	24	
					日本文学研究	必修	2	文学専門演習4	必修	2	卒業研究演習2	必修	2		
					日本語学概論	必修	2	日本中古文講読	選択	2	卒業論文	必修	2		
					文学専門演習1	必修	2	日本中世文学講読	選択	2					
					文学専門演習2	必修	2								
	展開 科目群				日本文学史	選択	2	書道	選択	2	京都の歴史1	選択	2	20	
					口承文学	選択	2	日本文化史	選択	2	京都の歴史2	選択	2		
				漢文学	選択	2	日本芸能史	選択	2	企業論	選択	2			
							詩歌論	選択	2						

全学共通教育科目 科目一覧

1. 全学教養科目

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単 位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
							1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
							1	2	1	2	3	1	2
(1) セイカ学	CSE10011	大学入門	必修	講義	2	1	●		●			●	
	CSE10031	自由論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●			●	●
	CSE10051	人権論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●			●	●
	CSE10071	日本国憲法	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●			●	●
	CSE10091	シチズンシップ・スタディーズ	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●			●	●
	CFL21511	ことば演習	必修	演習	2	1	●				●	●	
	CFL21521	発展ことば演習	選択	演習	2	1・2・3・4	●				●	●	
(2) 語 学	CFL20011	英語1	必修	演習	2	1	●				●	●	
	CFL20021	英語2	必修	演習	2	1	●				●	●	
	CFL20031	英語3	選択	演習	2	2・3・4	●				●	●	
	CFL20041	英語4	選択	演習	2	2・3・4	●				●	●	
	CFL20112	Business English1	選択	演習	2	2・3・4	●				●	●	
	CFL20122	Business English2	選択	演習	2	2・3・4	●				●	●	
	CFL20132	Academic Communication Skills1	選択	演習	2	2・3・4	●				●	●	
	CFL20142	Academic Communication Skills2	選択	演習	2	2・3・4	●				●	●	
	CFL21011	日本語1	必修	演習	2	1	●				●	●	
	CFL21021	日本語2	必修	演習	2	1	●				●	●	
	CFL21032	上級日本語1	選択	演習	2	2・3・4	●				●	●	
	CFL21042	上級日本語2	選択	演習	2	2・3・4	●				●	●	
	CFL25012	中国語1	選択	演習	2	2・3・4	●				●	●	
	CFL25022	中国語2	選択	演習	2	2・3・4	●				●	●	
	CFL26012	韓国語1	選択	演習	2	2・3・4	●				●		
	CFL26022	韓国語2	選択	演習	2	2・3・4	●				●		
	CFL27012	タイ語1	選択	演習	2	2・3・4	●				●		
	CFL27022	タイ語2	選択	演習	2	2・3・4	●				●		
	CFL29012	ベトナム語1	選択	演習	2	2・3・4	●				●		
	CFL29022	ベトナム語2	選択	演習	2	2・3・4	●				●		
	CFL28012	インドネシア語1	選択	演習	2	2・3・4	●				●		
	CFL28022	インドネシア語2	選択	演習	2	2・3・4	●				●		
	CFL22012	フランス語1	選択	演習	2	2・3・4	●				●		
	CFL22022	フランス語2	選択	演習	2	2・3・4	●				●		
	CFL23012	ドイツ語1	選択	演習	2	2・3・4	●				●		
	CFL23022	ドイツ語2	選択	演習	2	2・3・4	●				●		
	CFL24012	イタリア語1	選択	演習	2	2・3・4	●				●		
	CFL24022	イタリア語2	選択	演習	2	2・3・4	●				●		
	CFL24512	スペイン語1	選択	演習	2	2・3・4	●				●		
	CFL24522	スペイン語2	選択	演習	2	2・3・4	●				●		

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
							1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
							1	2	1	2	3	1	2
(3) ITリテラシー	CIT20011	情報リテラシー	選択	演習	1	1・2・3・4	●				●		
	CIT20031	ビジネスソフト演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●				●		
	CIT20051	画像ソフト演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●				●		
	CIT20071	動画ソフト演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●				●		
	CIT20091	編集ソフト演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●				●		
	CIT20111	プログラミング演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●				●		
(4) 表現理論	CET10011	芸術学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10031	美学概論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10051	美術史	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10071	日本美術史	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10091	東洋美術史	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10111	西洋美術史	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10131	工芸概論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10151	デザイン論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10171	色彩学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10191	視覚文化論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10211	音楽史	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10231	身体表現論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10251	マンガ文化論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10271	ストリート文化論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10291	演劇論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10311	サブカルチャー論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10331	メディア論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10351	映画芸術論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10371	写真論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10391	印刷論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10411	広告論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CET10431	素材論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
(5) 表現技法	CAT20011	絵画演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●			●			
	CAT20031	写真技法演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●			●			
	CAT20051	マンガ制作演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●			●			
	CAT20071	サウンド演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●			●		●	
	CAT20091	立体造形演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●			●			
	CAT20111	デザイン演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●			●			
	CAT20131	デジタル作画演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●			●			
	CAT20151	工芸演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●			●			
	CAT20171	編集演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●			●			
	CAT20191	文芸創作演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●			●			

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単 位 数	配 当 年 次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
							1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
							1	2	1	2	3	1	2
(6) 自然科学	CNS10011	自然科学概論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CNS10031	生物学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CNS10051	科学史	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CNS10071	数学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CNS10091	物理学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CNS10111	生命科学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CNS10131	地球と宇宙の科学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
(7) 社会科学	CSS10011	政治学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CSS10031	法学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CSS10051	社会学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CSS10071	経済学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CSS10091	産業論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CSS10111	平和学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CSS10131	ジェンダー論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CSS10151	現代社会の諸問題	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●		●		
	CSS10171	表現と法	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
(8) 人文科学	CHU10011	宗教史	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CHU10031	東洋思想史	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CHU10051	西洋思想史	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CHU10071	哲学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CHU10091	日本文学概論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CHU10111	世界文学概論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CHU10131	日本史	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CHU10151	東洋史	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CHU10171	西洋史	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CHU10191	考古学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CHU10211	民俗学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CHU10231	言語学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CHU10251	地理学概論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CHU10271	文化人類学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CHU10291	倫理学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
(9) 人間科学	CHS10011	心理学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CHS10031	健康学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CHS10051	身体論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CHS10071	教育学	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CHS10091	メンタルヘルス	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CHS20011	身体文化演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●		●				
	CHS21011	スポーツ実習1	選択	実習	1	1・2・3・4	●					●	
	CHS21021	スポーツ実習2	選択	実習	1	1・2・3・4	●					●	

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
							1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
							1	2	1	2	3	1	2
(10) 現 地 演 習	CFW90011	国内ショートプログラム1	選択	演習	2	1・2・3・4	●		●		●	●	
	CFW90021	国内ショートプログラム2	選択	演習	2	1・2・3・4	●		●		●	●	
	CFW90031	国内ショートプログラム3	選択	演習	2	1・2・3・4	●		●		●	●	
	CFW91011	海外ショートプログラム1	選択	演習	2	1・2・3・4	●		●		●	●	
	CFW91021	海外ショートプログラム2	選択	演習	2	1・2・3・4	●		●		●	●	
	CFW91031	海外ショートプログラム3	選択	演習	2	1・2・3・4	●		●		●	●	
(11) キ ャ リ ア	CCA20011	コミュニケーション実践演習	選択	演習	1	1・2・3・4	●				●	●	
	CCA10011	ライフデザイン	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CCA10031	職業研究	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	CCA10212	クリエイティブの現場	選択	講義	2	2・3・4			●		●	●	●
	CCA21012	キャリアのためのデッサン	選択	演習	2	2・3・4	●						●
	CCA21032	ポートフォリオ演習	選択	演習	1	2・3・4	●				●		
	CCA90012	インターンシップ	選択	演習	2	2・3・4			●			●	●

2. 全学専門科目 (1)副専攻

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
							1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
							1	2	1	2	3	1	2
① 国 際	CMI30011	異文化理解とアイデンティティ	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●			●	●
	CMI30032	グローバル・スタディーズ	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI30052	国際社会論	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI30072	現代日本文化と世界	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI30092	国際ボランティア論	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI40113	海外フィールドスタディ演習	選択	演習	2	2・3・4			●		●	●	●
② 環 境	CMI31011	持続可能な社会	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●			●	●
	CMI31032	環境社会学	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI31052	環境政策学	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI31072	環境経済学	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI31092	生活環境学	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI41113	環境社会演習	選択	演習	2	3・4			●		●	●	●
③ 京 都 伝 統 文 化	CMI32011	和の文化論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●			●	●
	CMI32032	京都の伝統工芸講座1	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI32052	京都の伝統工芸講座2	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI32072	京都の習俗	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI32092	京都のまちづくり	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI42113	京都の伝統産業演習	選択	演習	2	3・4	●		●		●	●	●

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
							1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
							1	2	1	2	3	1	2
④ ビジネス	CMI33011	ビジネス概論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●			●	●
	CMI33032	イノベーション論	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI33052	ファイナンス論	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI33072	マーケティング論	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI33092	ビジネス統計学	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI43113	ビジネスモデル演習	選択	演習	2	3・4	●		●		●	●	●
⑤ ソーシャルデザイン	CMI34011	ソーシャルデザイン概論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●			●	●
	CMI34032	NPO・NGO論	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI34052	コミュニティ論	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI34072	地域創生論	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI34092	ライフスタイル論	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI44113	ソーシャルデザイン演習	選択	演習	2	3・4	●		●		●	●	●
⑥ 福祉	CMI35011	社会福祉概論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●			●	●
	CMI35032	障がい者福祉論	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI35052	児童・家庭福祉論	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI35072	司法福祉論	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI35092	高齢化社会論	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI45113	地域福祉演習	選択	演習	2	3・4	●		●		●	●	●
⑦ 観光	CMI36011	ツーリズム形態論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●			●	●
	CMI36032	観光経済	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI36052	観光資源	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI36072	観光心理	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI36092	観光法規	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI46113	ホスピタリティ演習	選択	演習	2	3・4	●		●		●	●	●
⑧ コンテンツマネジメント	CMI37011	コンテンツマネジメント概論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●			●	●
	CMI37032	コンテンツビジネス論	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI37052	文化政策論	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI37072	知的財産権概論	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI37092	鑑賞と批評	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	●
	CMI47113	コンテンツプランニング演習	選択	演習	2	3・4			●		●	●	●

2. 全学専門科目 (2) コラボレーション

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
							1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
							1	2	1	2	3	1	2
コ ラ ボ レ ー シ ョ ン	CC030012	コラボレーション概論	選択	講義	2	2・3・4	●		●			●	
	CC041113	コラボレーション実習1	選択	実習	2	3・4			●		●	●	●
	CC041123	コラボレーション実習2	選択	実習	2	3・4			●		●	●	●
	CC041133	コラボレーション実習3	選択	実習	2	3・4			●		●	●	●
	CC041143	コラボレーション実習4	選択	実習	2	3・4			●		●	●	●

芸術学部 造形学科

ディプロマ・ポリシーとカリキュラム構造

学部の教育目標

- 芸術学部は、自立した思考力によって新たな表現を創造するクリエイターの資質を備えた、よりよき社会人としての人間形成を行います。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

DP1	DP2	DP3
1.多様性を理解する力 文化の多様性、人間と芸術の関係を理解し、自らの社会的役割を認識できる	1.論理的に思考し判断する力 多角的な視点から対象や事象の本質を捉え、論理的かつ客観的に分析・考察し、自らの解釈を持って判断できる	1.他者と協働する力 自らの個性や適性を活かして行動し、目標を持って多様な人々と協働できる
2.専門知を活用する力 芸術分野に関する知識・技能を体系的に理解し、その分野に固有の視座や思考方法を身につけている	2.考えを表現する力 他者の心に訴え、行動を喚起する造形力を備えている	2.社会と他者に貢献する力 芸術に関する知識や技能で社会や他者に働きかけ、精神的価値の向上による新しい社会のあり方を提案できる
	3.多様な人とコミュニケーションする力 文化や芸術の社会的意義を認識し、建設的・創造的な情報を発信できる	

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

芸術学部は、学位授与の方針に掲げる知識・技能などを修得させるために、全学教養科目、全学専門科目、学部専門教育科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目のナンバリングおよびカリキュラム・マップにより、カリキュラムの体系をわかりやすく明示します。

芸術学部専門科目の教育内容、教育方法、評価について以下のように定めます。

1 教育内容

学部専門教育科目では、芸術を学ぶうえで基盤となる知識や教養を身につけるための専門講義科目を開講します。1年次に基礎を学ぶ科目を配当し、2年次以降には専門性を深める手助けとなる科目を配当します。

さらに、芸術に関わる技術や表現手法を学ぶ実技系の科目群として、専門基礎科目、メチエ教育科目、専門実習科目、専門演習科目を開講します。

専門基礎科目は、基礎的な造形表現により芸術を学ぶ上での体幹となる「感覚、感性」や「発見、発想」を起こす力を養います。基礎ゼミは、教員と学生、学生同士のコミュニケーションを軸に芸術を学ぶ意義を共有し、学生個々の芸術活動の方向性を導きます。メチエ教育科目では、創作するための多様な技術や表現手段を体験し、その基礎となる能力を身につけさせます。専門実習科目は、制作・研究に取り組むことで技術力・表現力・思考力を磨きます。専門演習科目は、主に表現と社会との関わりに主眼を置いて科目を編成しています。

2 教育方法

- (1) 学生の主体性を伸ばすため、能動的学修の視点を取り入れた教育方法を実施します。
- (2) 授業内・外の学修時間を考慮した授業内容を設計します。
- (3) 学修成果の可視化を通じて、学生の自律的な学修を支援します。

3 学修成果の評価

芸術学部では、学位授与の方針に掲げる能力・資質およびこれらの総合的な活用力の修得状況を、「進級時」「卒業時」の2つのレベルで把握し、評価します。各レベルの評価の実施方法は、以下のとおりとします。

(1) 進級時

進級時の学修成果は、学部所定の教育課程における進級要件達成状況(単位取得、GPA)により、総合的評価を行います。

(2) 卒業時

4年間の学修成果は、学部所定の教育課程における卒業要件達成状況(単位取得、GPA)により、総合的評価を行います。卒業制作(必修)は、評価ルーブリックを活用し、複数教員によって多面的評価を行います。

カリキュラムマップ



芸術学部 造形学科 卒業要件

〔全学共通教育科目(44単位以上)〕+〔学部専門教育科目(80単位以上)〕=124単位以上

科目区分		必修科目					必修・選択必修科目以外			卒業に要する 単位(計)	
		進級 要件	科目名称		卒業に要する 単位		卒業に要する 単位	備考			
全学共通教育科目	全学教養科目		大学入門	1年	2単位	2単位	22単位 以上	必修の「大学入門」・「ことば演習」・「英語1」・「英語2」に加え、22単位以上を修得する必要がある。	30単位 以上	卒業に要する単位 124単位 以上	
			ことば演習	1年	2単位	6単位					
			英語1（※1）	1年	2単位						
			英語2（※1）	1年	2単位						
	全学専門科目						14単位 以上		14単位 以上		
学部専門教育科目	専門基礎科目		○ 基礎ゼミ	1年	2単位	14単位			80単位 以上		
			○ 絵画基礎	1年	3単位						
			○ 工芸基礎	1年	3単位						
			○ 彫刻基礎	1年	3単位						
			○ デザイン基礎	1年	3単位						
	専門実習科目		○ 造形基礎1	2年	4単位	38単位					
			○ 造形基礎2	2年	4単位						
			○ 造形基礎3	2年	4単位						
			○ 造形基礎4	2年	4単位						
			○ 造形実習1	3年	4単位						
			○ 造形実習2	3年	4単位						
			○ 造形実習3	3年	4単位						
			○ 造形実習4	3年	4単位						
			卒業研究実習1	4年	3単位						
		卒業研究実習2	4年	3単位							
メチエ教育科目						8単位 以上	原則1年次に8単位修得すること。				
専門講義科目 専門演習科目						16単位 以上	専門講義科目、専門演習科目のうちから、16単位以上を修得する必要がある。				
卒業研究		卒業研究	4年	4単位	4単位						

【留意事項】

(※1) 留学生は、「日本語1」(2単位)、「日本語2」(2単位)の2科目4単位を必修とする。ただし、日本語担当教員との相談によっては、母語以外の他の外国語科目を履修することができる。

【進級要件】

- 1年次から2年次: 上表に定める必修の実習・演習科目の単位をすべて修得すること。
- 2年次から3年次: 上表に定める必修の実習・演習科目の単位をすべて修得すること。
- 3年次から4年次: 上表に定める必修の実習・演習科目の単位をすべて修得すること。

芸術学部 造形学科 カリキュラムマップ

	専門講義科目	必修実技科目	メテ工科目・ 専門演習科目
1年次	造形芸術を学ぶ基礎的な能力を鍛える「体幹教育」と多様な技術や表現手段を体験する「メテ工教育」、「基礎ゼミ」での個性にあわせた少人数指導により、「基礎・体験・道標」を軸に表現することの「おもしろさ」と基礎となる能力を養う。 現代美術基礎講座1・2(各2) 美術史特論1・2・3(各2) 美術工芸史1・2(各2)	基礎ゼミ(2) 体幹教育プログラム 絵画基礎(3) 工芸基礎(3) 彫刻基礎(3) デザイン基礎(3)	メテ工教育科目(各2) 洋画基礎1・2・3・4 日本画基礎1・2・3・4 立体基礎1・2・3・4 陶芸基礎1・2・3・4 染織基礎1・2・3・4 版画基礎1・2・3・4 映像基礎1・2・3・4
2年次より専攻に所属(洋画・日本画・立体造形・陶芸・テキスタイル・版画・映像)			
2年次	1年次で身につけた能力を基礎に、7つの領域(専攻)の中から自身が興味・関心あるコースを選択。専門教育への基礎的な導入と実践によってメテ工、表現力、思考力を磨きはじめる。 現代社会システム論(2) 映像論(2) メディアアート論(2) 現代美術論(2) 芸術表象論(2) 芸術と哲学(2) アートマネジメント論(2) 美術解剖学(2) 視覚認知論(2) 芸術と精神分析(2) 芸術評論(2)	造形基礎1(4) 造形基礎2(4) 造形基礎3(4) 造形基礎4(4)	専門演習科目(各2) 表現研究1・2・3 鑑賞演習1・2 現代アートプロジェクト 演習1・2・3・4 基礎デッサン ドローイング 工芸1・2・3・4 造形演習1・2 映像メディア表現1・2・3 写真表現
3年次	2年次に引き続き、所属する専攻の専門教育をさらに実践する。技術力、表現力、思考力を深めるとともに創造力と社会への発信力を養い、自身の専門性、造形芸術における方向性を確認していく。	造形実習1(4) 造形実習2(4) 造形実習3(4) 造形実習4(4)	専門演習科目(各2) 表現研究4・5・6 映像メディア表現4 図法製図
4年次	専攻の枠組みを越えて、各教員が開講する多種多様なゼミを選択、所属し、3年間の学びで培った能力をさらに先鋭化させる。制作、研究、集大成としての卒業制作に開花させていながら、自身を社会へ、進学へと繋げていく。	卒業研究実習1(3) 卒業研究実習2(3) 卒業研究(4) ゼミ例 絵画技法／視覚芸術／ 絵画についての研究と実践／ 日本画／彫刻／陶芸／ 空間造形／型染め／ 繊維造形／シルクスクリーン／ 型染め／写真、CG／ リトグラフ／銅版画／木版画／ アートアニメーション／ ビデオアート／サウンドアート、 インタラクティブアート／ デジタルメディア表現／ キュレーション／美学／etc.	

()内は単位数

芸術学部 造形学科 専門教育科目 科目一覧

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
							1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
							1	2	1	2	3	1	2
専門講義科目	AFA30011	現代美術基礎講座1	選択	講義	2	1・2・3・4		●	●			●	
	AFA30031	現代美術基礎講座2	選択	講義	2	1・2・3・4		●	●			●	
	AFA30051	美術史特論1	選択	講義	2	1・2・3・4	●			●			●
	AFA30071	美術史特論2	選択	講義	2	1・2・3・4	●			●			●
	AFA30091	美術史特論3	選択	講義	2	2・3・4	●			●			●
	AFA30111	美術工芸史1	選択	講義	2	2・3・4	●			●			●
	AFA30131	美術工芸史2	選択	講義	2	2・3・4	●			●			●
	AFA30152	現代社会システム論	選択	講義	2	2・3・4		●	●				●
	AFA30172	映像論	選択	講義	2	2・3・4		●		●			●
	AFA30192	メディアアート論	選択	講義	2	2・3・4		●		●			●
	AFA30212	現代美術論	選択	講義	2	2・3・4		●		●			●
	AFA30232	芸術表象論	選択	講義	2	2・3・4	●	●		●			●
	AFA30252	芸術と哲学	選択	講義	2	2・3・4		●		●			●
	AFA30272	アートマネジメント論	選択	講義	2	3・4		●	●			●	
	AFA30292	美術解剖学	選択	講義	2	3・4		●		●			●
	AFA30312	視覚認知論	選択	講義	2	3・4		●		●			●
	AFA30332	芸術と精神分析	選択	講義	2	3・4		●		●			●
	AFA30352	芸術評論	選択	講義	2	3・4		●		●			●
専門演習科目	AFA41012	表現研究1	選択	演習	2	2・3・4		●		●	●	●	
	AFA41032	表現研究2	選択	演習	2	2・3・4		●		●	●	●	
	AFA41052	表現研究3	選択	演習	2	3・4		●		●		●	
	AFA41073	表現研究4	選択	演習	2	3・4		●		●		●	
	AFA41093	表現研究5	選択	演習	2	3・4		●		●		●	
	AFA41113	表現研究6	選択	演習	2	3・4		●		●		●	
	AFA41132	現代アートプロジェクト演習1	選択	演習	2	2・3・4	●		●			●	●
	AFA41152	現代アートプロジェクト演習2	選択	演習	2	2・3・4	●		●			●	●
	AFA41172	現代アートプロジェクト演習3	選択	演習	2	3・4	●		●			●	●
	AFA41192	現代アートプロジェクト演習4	選択	演習	2	3・4	●			●		●	●
	AFA41212	鑑賞演習1	選択	演習	2	2・3・4	●		●			●	
	AFA41232	鑑賞演習2	選択	演習	2	2・3・4	●		●			●	
	AFA41252	基礎デッサン	選択	演習	2	2・3・4		●		●		●	
	AFA41272	ドローイング	選択	演習	2	2・3・4		●		●		●	
	AFA41292	工芸1	選択	演習	2	2・3・4		●		●		●	
	AFA41312	工芸2	選択	演習	2	2・3・4		●		●		●	
	AFA41332	工芸3	選択	演習	2	2・3・4		●		●		●	
	AFA41352	工芸4	選択	演習	2	2・3・4		●		●		●	
	AFA41373	図法製図	選択	演習	2	3・4		●		●		●	
	AFA41392	造形演習1	選択	演習	2	3・4		●		●		●	
	AFA41412	造形演習2	選択	演習	2	3・4		●		●		●	
	AFA41432	映像メディア表現1	選択	演習	2	2・3・4		●		●		●	
	AFA41452	映像メディア表現2	選択	演習	2	2・3・4		●		●		●	
	AFA41472	映像メディア表現3	選択	演習	2	3・4		●		●		●	
	AFA41493	映像メディア表現4	選択	演習	2	3・4		●		●		●	
	AFA41512	写真表現	選択	演習	2	2・3・4		●		●		●	

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
							1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
							1	2	1	2	3	1	2
専門基礎科目	AFA42011	基礎ゼミ	必修	演習	2	1		●		●		●	
	AFA42031	絵画基礎	必修	実習	3	1	●			●		●	
	AFA42051	彫刻基礎	必修	実習	3	1	●			●		●	
	AFA42071	デザイン基礎	必修	実習	3	1	●			●		●	
	AFA42091	工芸基礎	必修	実習	3	1	●			●		●	
メ チ 工 教 育 科 目	AFA43011	洋画基礎1	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43031	洋画基礎2	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43051	洋画基礎3	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43071	洋画基礎4	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43091	日本画基礎1	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43111	日本画基礎2	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43131	日本画基礎3	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43151	日本画基礎4	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43171	立体基礎1	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43191	立体基礎2	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43211	立体基礎3	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43231	立体基礎4	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43251	陶芸基礎1	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43271	陶芸基礎2	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43291	陶芸基礎3	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43311	陶芸基礎4	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43331	染織基礎1	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43351	染織基礎2	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43371	染織基礎3	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43391	染織基礎4	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43411	版画基礎1	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43431	版画基礎2	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43451	版画基礎3	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43471	版画基礎4	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43491	映像基礎1	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43511	映像基礎2	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43531	映像基礎3	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	AFA43551	映像基礎4	選択	実習	2	1・2・3・4		●		●		●	
専門実習科目	※各コース別コード	造形基礎1	必修	実習	4	2		●	●	●		●	
	※各コース別コード	造形基礎2	必修	実習	4	2		●	●	●		●	
	※各コース別コード	造形基礎3	必修	実習	4	2		●	●	●		●	
	※各コース別コード	造形基礎4	必修	実習	4	2		●	●	●		●	
	※各コース別コード	造形実習1	必修	実習	4	3		●			●	●	
	※各コース別コード	造形実習2	必修	実習	4	3		●		●	●	●	
	※各コース別コード	造形実習3	必修	実習	4	3		●		●	●	●	
	※各コース別コード	造形実習4	必修	実習	4	3		●		●	●	●	
	AFA44174	卒業研究実習1	必修	実習	3	4		●			●	●	●
	AFA44194	卒業研究実習2	必修	実習	3	4		●		●	●	●	●
	AFA94214	卒業研究	必修	実習	4	4		●		●	●	●	●

デザイン学部

イラスト学科／ビジュアルデザイン学科／
プロダクトデザイン学科／建築学科

ディプロマ・ポリシーとカリキュラム構造

学部の教育目標

- デザイン学部は、自立した思考によってグローバル社会および地域社会に現実的に貢献するデザイナー・プランナーの資質を備えた、よりよき社会人としての人間形成を行います。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

DP1	DP2	DP3
1.多様性を理解する力 広い教養と多文化理解の力を身につけ、複雑化した現代社会の問題群を横断的に捉えられる	1.論理的に思考し判断する力 時代を的確に察知し、自ら問題点を見つけてその本質を捉え、独自の解答を導き出せる	1.他者と協働する力 自らの個性や適性を活かして行動し、目標を持って多様な人々と協働できる
2.専門知を活用する力 デザイン分野に関する知識・技能を体系的に理解し、その分野に固有の視座や思考方法を身につけている	2.考えを表現する力 国際的な視野と感覚を持って、新しい発想のデザインを創造できる	2.社会と他者に貢献する力 デザインと人間、デザインと社会との関係性を考え、構想力・創造力を駆使して新しい生活や社会を提案できる
	3.多様な人とコミュニケーションする力 他者に自らのデザインに関するコンセプトや考え方を明確に伝達できる	

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

デザイン学部は、学位授与の方針に掲げる知識・技能などを修得させるために、全学教養科目、全学専門科目、学部専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目のナンバリングおよびカリキュラム・マップにより、カリキュラムの体系をわかりやすく明示します。

デザイン学部専門科目の教育内容、教育方法、評価について以下のように定めます。

1 教育内容

学部専門科目では、作品を制作するための理論的根拠となる、デザイン領域に関する専門的な理論と歴史などを学ぶことのできる専門講義科目を開講します。さらに、各学科の実技実習および実技演習において、基礎技術を獲得させるとともに、新たな表現手法に対する探究心を喚起し、社会から必要とされるデザインを生み出す力を養います。最終年次には、卒業制作を課します。調査・研究・分析および作品制作・卒業論文作業を通じ、社会に向けた発信力を養います。

2 教育方法

- (1) 学生の主体性を伸ばすため、能動的学修の視点を取り入れた教育方法を実施します。
- (2) 授業内・外の学修時間を考慮した授業内容を設計します。
- (3) 学修成果の可視化を通じて、学生の自律的な学修を支援します。

3 学修成果の評価

デザイン学部では、学位授与の方針に掲げる能力・資質およびこれらの総合的な活用力の修得状況を、「進級時」「卒業時」の2つのレベルで把握し、評価します。各レベルの評価の実施方法は、以下のとおりとします。

(1) 進級時

進級時の学修成果は、学部所定の教育課程における進級要件達成状況(単位取得、GPA)により、総合的評価を行います。

(2) 卒業時

4年間の学修成果は、学部所定の教育課程における卒業要件達成状況(単位取得、GPA)により、総合的評価を行います。卒業制作(必修)は、評価ルーブリックを活用し、複数教員によって多面的評価を行います。

カリキュラムマップ



デザイン学部 専門講義科目 科目一覧

科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単 位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
						1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
						1	2	1	2	3	1	2
DGS31012	デザインレクチャーズ	選択	講義	2	2・3・4		●					
DGS31032	デザイン論特講1	選択	講義	2	2・3・4		●					
DGS31052	デザイン論特講2	選択	講義	2	2・3・4		●					
DGS31072	デザイン論特講3	選択	講義	2	2・3・4		●					
DGS31092	デザイン論特講4	選択	講義	2	2・3・4		●					
DGS30332	ユニバーサルデザイン論	選択	講義	2	2・3・4		●					
DGS30613	デザインマネジメント論	選択	講義	2	2・3・4		●					
DGS30493	ランドスケープデザイン論	選択	講義	2	2・3・4		●					
DGS30693	商品開発論	選択	講義	2	2・3・4		●					
DFL21012	デザイン専門英語	選択	講義	1	2・3・4	●						

デザイン学部

イラスト学科 イラストコース

イラスト学科 イラストコース 卒業要件

(全学共通教育科目(44単位以上))+(学部専門教育科目(80単位以上))=124単位以上

科目区分		必修科目					選択必修科目				必修・選択必修科目以外		卒業に要する 単位(計)		
		進級 要件	科目名称		卒業に要する 単位		進級 要件	科目名称		卒業に要する 単位		卒業に 要する 単位			備考
全学 共通 教育 科目	全学 教養科目		大学入門	1年	2単位	2単位						22単位 以上	必修の「大学 入門」・「ことば 演習」・「英語 1」・「英語2」に 加え、22単位 以上を修得する 必要がある。	30 単位 以上	
			ことば演習	1年	2単位										
			英語1 (※1)	1年	2単位	6単位									
			英語2 (※1)	1年	2単位										
	全学 専門科目										14単位 以上		14単位 以上		
学部 専門 教育 科目	学部専門 講義科目						デザイン論特講1	2~4年	2単位	6単位 以上 (※2)	左記必修科目 および選択必修 科目に加え、 34単位以上を 修得する必要 がある。 ただし、選択必修 科目の要件を 超えて単位修得 した場合は、 超過単位数を 選択科目の単位 とみなす。	卒業に要する単位 124単位以上	80 単位 以上		
							デザイン論特講2	2~4年	2単位						
							デザイン論特講3	2~4年	2単位						
							デザイン論特講4	2~4年	2単位						
							デザインレクチャーズ	2~4年	2単位						
							ユニバーサルデザイン論	2~4年	2単位						
							デザインマネジメント論	2~4年	2単位						
							ランドスケープデザイン論	2~4年	2単位						
	コース 専門 教育科目						商品開発論	2~4年	2単位	12単位 以上					
							デザイン専門英語	2~4年	1単位						
		○	イメージ表現1	1年	3単位	24単位	○	イラストレーション1	3年					2単位	
		○	イメージ表現2	1年	3単位		○	イラストレーション2	3年					2単位	
		○	イメージ表現3	2年	3単位		○	イラストレーション3	3年					2単位	
		○	イメージ表現4	2年	3単位		○	イラストレーション4	3年					2単位	
			メディアプレゼンテーション1	4年	2単位		○	絵本1	3年					2単位	
			メディアプレゼンテーション2	4年	2単位		○	絵本2	3年					2単位	
			メディアプレゼンテーション3	4年	2単位		○	ビジュアルアート1	3年					2単位	
			メディアプレゼンテーション4	4年	2単位		○	ビジュアルアート2	3年					2単位	
			卒業制作研究1	4年	2単位		○	ビジュアルデザイン1	3年					2単位	
			卒業制作研究2	4年	2単位		○	ビジュアルデザイン2	3年					2単位	
							○	ビジュアルデザイン3	3年					2単位	
							○	ビジュアルデザイン4	3年					2単位	
			卒業制作	4年	4単位	4単位									

【留意事項】

(※1)留学生は、「日本語1」(2単位)、「日本語2」(2単位)の2科目4単位を必修とする。ただし、日本語担当教員との相談によっては、母語以外の他の外国語科目を履修することができる。
(※2)「デザイン論特講1~4」のうち、1科目2単位を必修とする。

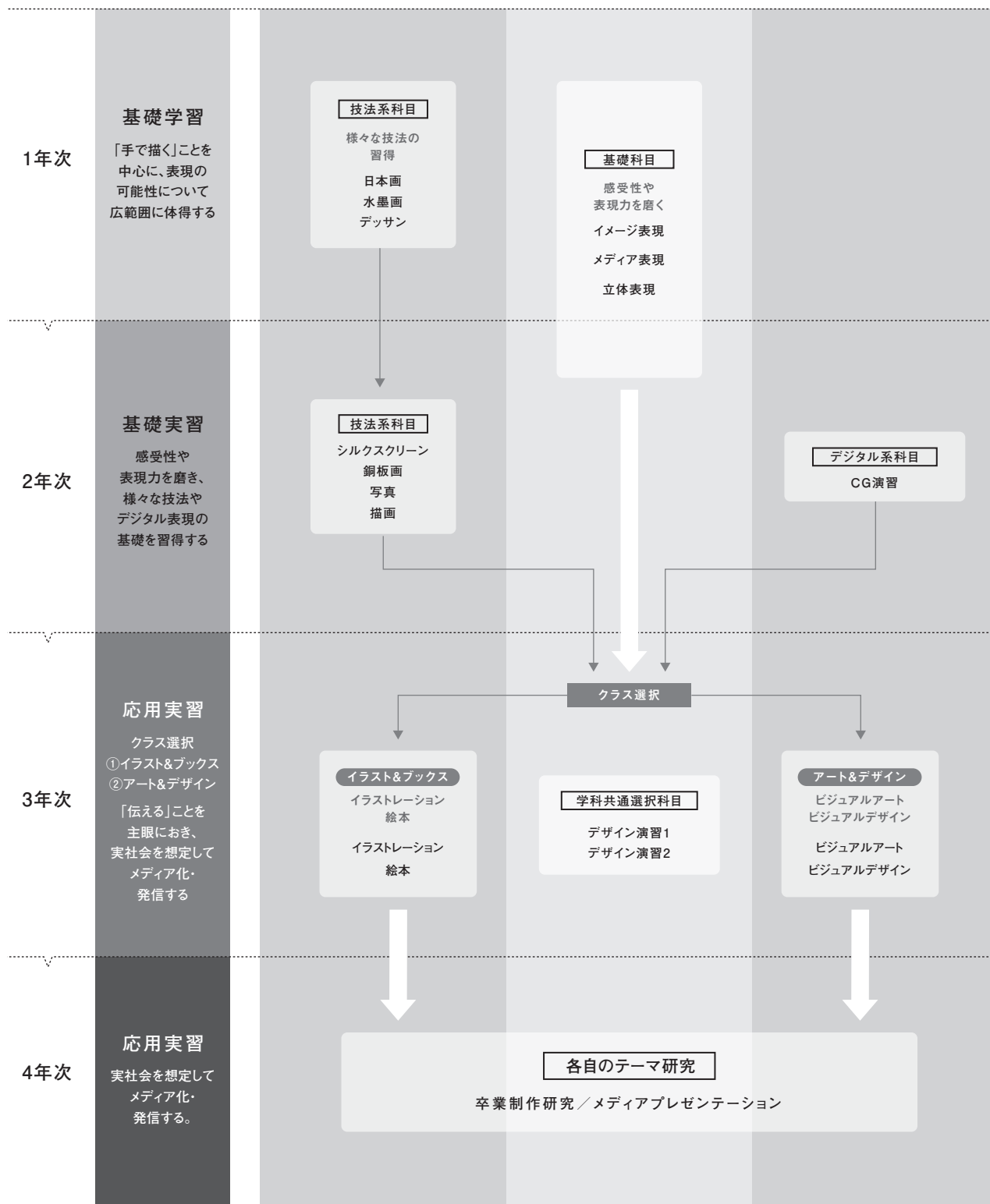
【進級要件】

- 1年次から2年次:上表に定める必修の実習・演習科目のうち○印の単位をすべて修得すること。
- 2年次から3年次:上表に定める必修の実習・演習科目のうち○印の単位をすべて修得すること。
- 3年次から4年次:上表に定める選択必修の実習・演習科目(○印)より12単位以上を修得すること。

イラスト学科 イラストコース カリキュラムマップ

教育目標

- 「描く」と「伝える」ことをイラストの本質とし、様々なメディアにおけるビジュアルコミュニケーションも「描く」行為の延長ととらえ、カリキュラムを配置する。
- 単なる作品制作に留まらず、自らの表現を言葉で説明する機会を持たせることで、言葉に対する知識、感性を養うと共に、メディアの特性を理解し、他者に伝えること(コミュニケーション)の重要性を意識させる課題を設定する。



デザイン学部 イラスト学科 イラストコース

専門教育科目 科目一覧

科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
						1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
						1	2	1	2	3	1	2
DIL40011	日本画	選択	実習	3	1				●			
DIL40111	水墨画	選択	実習	3	1				●			
DIL40211	立体表現1	選択	実習	3	1				●	●		
DIL40221	立体表現2	選択	実習	3	1				●	●		
DIL40311	デッサン1	選択	実習	3	1				●			
DIL40321	デッサン2	選択	実習	3	1				●			
DIL40411	イメージ表現1	必修	実習	3	1			●	●	●		
DIL40421	イメージ表現2	必修	実習	3	1			●	●	●		
DIL40432	イメージ表現3	必修	実習	3	2			●	●	●		
DIL40442	イメージ表現4	必修	実習	3	2			●	●	●		
DIL45052	描画	選択	実習	3	2				●			
DIL40612	シルクスクリーン	選択	実習	3	2				●			
DIL40712	銅版画	選択	実習	3	2				●			
DIL40812	写真	選択	実習	3	2				●			
DIL40912	CG演習1	選択	演習	2	2		●	●	●	●		
DIL40922	CG演習2	選択	演習	2	2		●	●	●	●		
DIL41413	イラストレーション1	選択	演習	2	3			●	●	●		
DIL41423	イラストレーション2	選択	演習	2	3			●	●	●		
DIL41433	イラストレーション3	選択	演習	2	3			●	●	●		
DIL41443	イラストレーション4	選択	演習	2	3			●	●	●		
DIL41313	絵本1	選択	演習	2	3			●	●	●		
DIL41323	絵本2	選択	演習	2	3			●	●	●		
DIL41613	ビジュアルデザイン1	選択	演習	2	3			●	●	●		●
DIL41623	ビジュアルデザイン2	選択	演習	2	3			●	●	●		●
DIL41633	ビジュアルデザイン3	選択	演習	2	3			●	●	●		●
DIL41643	ビジュアルデザイン4	選択	演習	2	3			●	●	●		●
DIL41513	ビジュアルアート1	選択	演習	2	3			●	●	●		
DIL41523	ビジュアルアート2	選択	演習	2	3			●	●	●		
DIL41053	デザイン演習1	選択	演習	2	3		●					
DIL41063	デザイン演習2	選択	演習	2	3		●					
DIL41073	デザイン演習3	選択	演習	2	3			●	●	●		●
DIL41083	デザイン演習4	選択	演習	2	3			●	●	●		●
DIL30013	デザイン概論1	選択	講義	2	3		●	●	●	●		
DIL30023	デザイン概論2	選択	講義	2	3		●	●	●	●		
DIL41714	メディアプレゼンテーション1	必修	演習	2	4			●	●	●		●
DIL41724	メディアプレゼンテーション2	必修	演習	2	4			●	●	●		●
DIL41734	メディアプレゼンテーション3	必修	演習	2	4			●	●	●		●
DIL41744	メディアプレゼンテーション4	必修	演習	2	4			●	●	●		●
DIL41814	卒業制作研究1	必修	演習	2	4			●	●	●	●	●
DIL41824	卒業制作研究2	必修	演習	2	4			●	●	●	●	●
DIL90014	卒業制作	必修	演習	4	4							●
DGS40122	工芸	選択	演習	2	2				●	●		
DGS40112	基礎立体・彫塑	選択	演習	2	2				●	●		
DGS33003	現代美術概論	選択	演習	2	2・3・4				●	●		
DGS33001	アートマネジメント論	選択	演習	2	3・4				●	●		

デザイン学部

ビジュアルデザイン学科

グラフィックデザインコース／
デジタルクリエイションコース

ビジュアルデザイン学科 卒業要件

〔全学共通教育科目(44単位以上)〕+〔学部専門教育科目(80単位以上)〕=124単位以上

科目区分		必修科目					選択必修科目				必修・選択必修科目以外		卒業に要する 単位(計)	
		進級 要件	科目名称		卒業に要する 単位		進級 要件	科目名称		卒業に要する 単位		卒業に 要する 単位		
全学 共通 教育 科目	全学 教養科目		大学入門	1年	2単位	2単位						22単位 以上	必修の「大学 入門」・「ことば 演習」・「英語 1」・「英語2」に 加え、22単位 以上を修得す る必要がある。	30 単位 以上
			ことば演習	1年	2単位									
			英語1（※1）	1年	2単位	6単位								
			英語2（※1）	1年	2単位									
	全学 専門科目										14単位 以上		14単位 以上	
学部専門 教育 科目	学部専門 講義科目							デザイン論特講1	2～4年	2単位	6単位 以上 （※2）	左記必修科目 および選択必 修科目に加え、 14単位以上を 修得する必要 がある。 ただし、選択必 修科目の要件 を超えて単位修 得した場合は、 超過単位数を 選択科目の単 位とみなす。	卒業に要する単位 124 単位 以上	
								デザイン論特講2	2～4年	2単位				
								デザイン論特講3	2～4年	2単位				
								デザイン論特講4	2～4年	2単位				
								デザインレクチャーズ	2～4年	2単位				
								ユニバーサルデザイン論	2～4年	2単位				
								デザインマネジメント論	2～4年	2単位				
								ランドスケープデザイン論	2～4年	2単位				
								商品開発論	2～4年	2単位				
								デザイン専門英語	2～4年	1単位				
	コース 専門 教育 科目		○ ビジュアルデザイン基礎1	1年	2単位	52単位		○ デザインスキル1	1年	2単位	14単位 以上			
			○ ビジュアルデザイン基礎2	1年	2単位			○ デザインスキル2	1年	2単位				
			○ ビジュアルデザイン基礎3	1年	2単位			○ デザインスキル3	1年	2単位				
			○ ビジュアルデザイン基礎4	1年	2単位			○ デザインスキル4	1年	2単位				
			○ ビジュアルデザイン基礎5	1年	2単位									
			○ ビジュアルデザイン基礎6	1年	2単位									
			○ グラフィックデザイン1/クリエイション1	2年	3単位									
			○ グラフィックデザイン2/クリエイション2	2年	3単位									
			○ グラフィックデザイン3/クリエイション3	2年	3単位									
			○ グラフィックデザイン4/クリエイション4	2年	3単位									
			○ グラフィックデザイン5/クリエイション5	2年	3単位									
			○ グラフィックデザイン6/クリエイション6	2年	3単位									
			○ プロジェクト1	3年	3単位									
			○ プロジェクト2	3年	3単位									
			○ プロジェクト3	3年	1単位									
			○ プロジェクト4	3年	3単位									
			○ プロジェクト5	3年	3単位									
			○ プロジェクト6	3年	1単位									
			テーマ研究1	4年	1単位									
			テーマ研究2	4年	1単位									
			テーマ研究3	4年	2単位									
			テーマ研究4	4年	1単位									
			テーマ研究5	4年	1単位									
			テーマ研究6	4年	2単位									
			卒業制作	4年	4単位		4単位							

【留意事項】

(※1) 留学生は、「日本語1」(2単位)、「日本語2」(2単位)の2科目4単位を必修とする。ただし、日本語担当教員との相談によっては、母語以外の他の外国語科目を履修することができる。

(※2) 「デザイン論特講1~4」のうち、1科目2単位を必修とする。

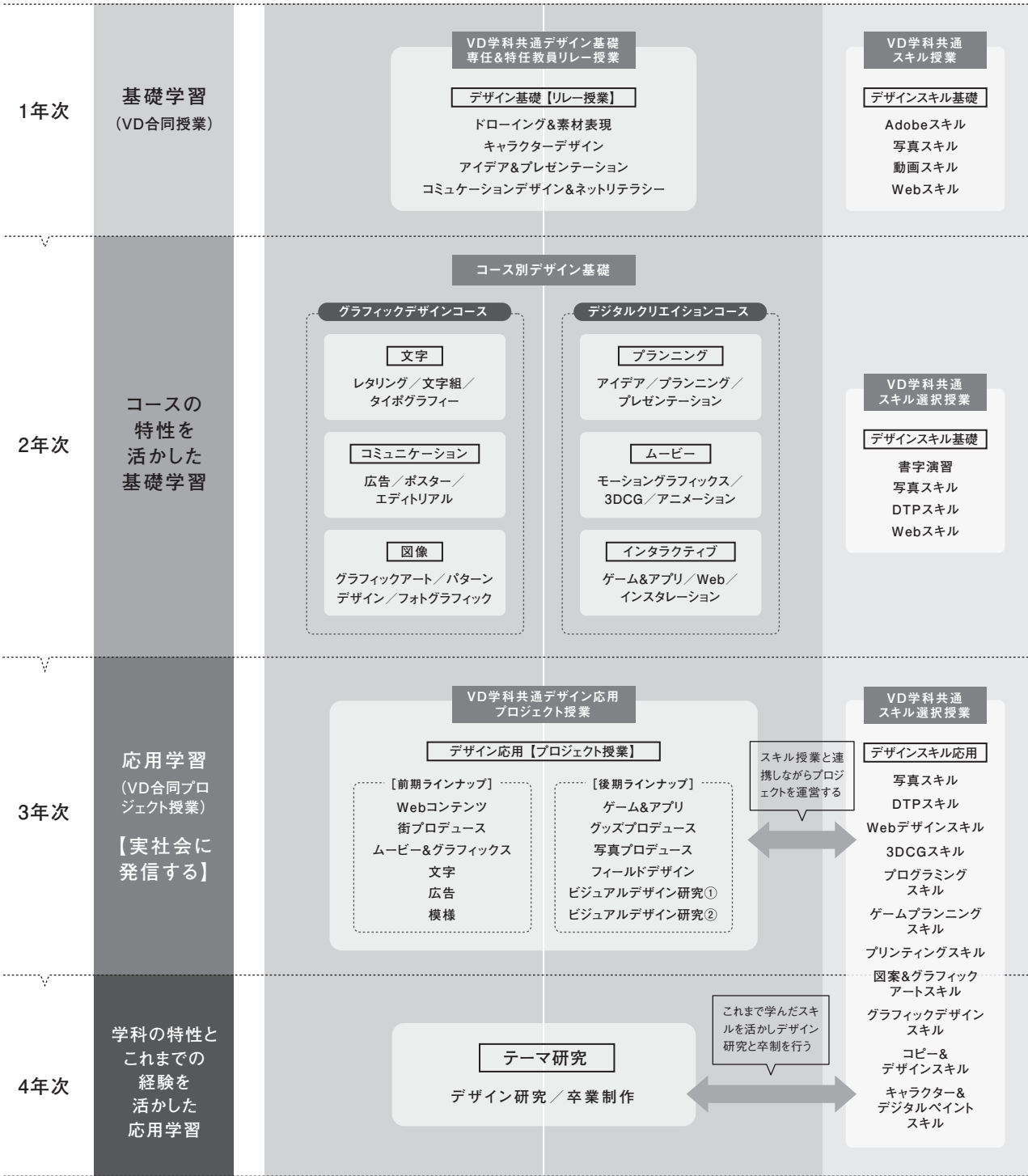
【進級要件】

- 1年次から2年次: 上表に定める必修の実習・演習科目の単位をすべて修得し、かつ選択必修の演習科目(○印)より4単位以上修得すること。
- 2年次から3年次: 上表に定める必修の実習・演習科目の単位をすべて修得すること。● 3年次から4年次: 上表に定める必修の実習・演習科目の単位をすべて修得すること。

ビジュアルデザイン学科 カリキュラムマップ

教育目標

グラフィック デザインコース	□ グラフィックデザインはあらゆる視覚情報を表現・可視化するプロセスととらえ、文字や図像(画・写真・文様など)を可視化する際の「定着力」や深く考察された「表現力」、それらをまとめる「編集力」「伝達力」に重きを置いたカリキュラムを配置する。 □ デザインやアートの歴史観に立脚しつつ、京都という立地をいかし「ジャパン・グラフィック」ともいべき独自の視覚伝達の研究・制作について意識的に取り組む。
デジタル クリエイションコース	□ デジタルクリエイションが取り扱う領域は、メディアの変遷やグローバル化によって拡張の一途をたどっている。 □ とくにウェブや写真やムービーなど個々の表現・制作が習得できる科目群を一方に配置し、他方ではグループ制作や共同作業におけるコミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成の習得できる科目群を配置する。



デザイン学部 ビジュアルデザイン学科

専門教育科目 科目一覧

科目 ナンバリング コード	科 目 名	必修/ 選択	授業 形態	単 位 数	配 当 年 次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
						1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
						1	2	1	2	3	1	2
DVD40011	ビジュアルデザイン基礎1	必修	実習	2	1			●	●	●		
DVD40021	ビジュアルデザイン基礎2	必修	実習	2	1			●	●	●		
DVD40031	ビジュアルデザイン基礎3	必修	実習	2	1			●	●	●		
DVD40041	ビジュアルデザイン基礎4	必修	実習	2	1			●	●	●		
DVD40051	ビジュアルデザイン基礎5	必修	実習	2	1			●	●	●		
DVD40061	ビジュアルデザイン基礎6	必修	実習	2	1			●	●	●		
DVD40111	デザインスキル1	選択	演習	2	1		●	●	●	●		
DVD40121	デザインスキル2	選択	演習	2	1		●	●	●	●		
DVD40131	デザインスキル3	選択	演習	2	1		●	●	●	●		
DVD40141	デザインスキル4	選択	演習	2	1		●	●	●	●		
DGD40012	グラフィックデザイン1	必修	実習	3	2			●	●	●		
DGD40022	グラフィックデザイン2	必修	実習	3	2			●	●	●		
DGD40032	グラフィックデザイン3	必修	実習	3	2			●	●	●		
DGD40042	グラフィックデザイン4	必修	実習	3	2			●	●	●		
DGD40052	グラフィックデザイン5	必修	実習	3	2			●	●	●		
DGD40062	グラフィックデザイン6	必修	実習	3	2			●	●	●		
DDC40012	クリエイション1	必修	実習	3	2			●	●	●		
DDC40022	クリエイション2	必修	実習	3	2			●	●	●		
DDC40032	クリエイション3	必修	実習	3	2			●	●	●		
DDC40042	クリエイション4	必修	実習	3	2			●	●	●		
DDC40052	クリエイション5	必修	実習	3	2			●	●	●		
DDC40062	クリエイション6	必修	実習	3	2			●	●	●		
DVD40212	デザイン1	選択	演習	2	2		●					
DVD40222	デザイン2	選択	演習	2	2		●	●	●	●		
DVD40232	デザイン3	選択	演習	2	2			●	●	●		
DVD40242	デザイン4	選択	演習	2	2			●	●	●		
DVD40252	デザイン5	選択	演習	2	2		●	●	●	●		
DVD40262	デザイン6	選択	演習	2	2			●	●	●		
DVD40272	デザイン7	選択	演習	2	2			●	●	●		
DVD40282	デザイン8	選択	演習	2	2			●	●	●		
DVD40313	プロジェクト1	必修	実習	3	3			●	●	●	●	●
DVD40323	プロジェクト2	必修	実習	3	3			●	●	●	●	●
DVD40333	プロジェクト3	必修	実習	1	3			●	●	●	●	●
DVD40343	プロジェクト4	必修	実習	3	3			●	●	●	●	●
DVD40353	プロジェクト5	必修	実習	3	3			●	●	●	●	●
DVD40363	プロジェクト6	必修	実習	1	3			●	●	●	●	●
DVD40413	デザインスキル5	選択	演習	2	3		●	●	●	●		
DVD40423	デザインスキル6	選択	演習	2	3		●	●	●	●		
DVD40433	デザインスキル7	選択	演習	2	3		●	●	●	●		
DVD40443	デザインスキル8	選択	演習	2	3		●	●	●	●		
DVD40533	デザイン概論1	選択	講義	2	3		●					
DVD40543	デザイン概論2	選択	講義	2	3		●					

科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
						1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
						1	2	1	2	3	1	2
※各コース別コード	テーマ研究1	必修	演習	1	4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	テーマ研究2	必修	演習	1	4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	テーマ研究3	必修	演習	2	4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	テーマ研究4	必修	演習	1	4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	テーマ研究5	必修	演習	1	4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	テーマ研究6	必修	演習	2	4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	卒業制作	必修	成果評定	4	4						●	●
DGS40122	工芸	選択	演習	2	2				●	●		
DGS40112	基礎立体・彫塑	選択	演習	2	2				●	●		

デザイン学部 プロダクトデザイン学科

プロダクトコミュニケーションコース

プロダクトコミュニケーションコース 卒業要件

〔全学共通教育科目(44単位以上)〕+〔学部専門教育科目(80単位以上)〕=124単位以上

科目区分		必修科目					選択必修科目				必修・選択必修科目以外		卒業に要する 単位(計)		
		進級 要件	科目名称		卒業に要する 単位		進級 要件	科目名称		卒業に要する 単位		卒業に 要する 単位			備考
全学共通教育科目	全学 教養科目		大学入門	1年	2単位	2単位						22単位 以上	必修の「大学 入門」・「ことば 演習」・「英語 1」・「英語2」に 加え、22単位 以上を修得す る必要がある。	30 単位 以上	
			ことば演習	1年	2単位										
			英語1（※1）	1年	2単位	6単位									
			英語2（※1）	1年	2単位										
	全学 専門科目										14単位 以上		14単位 以上		
学部専門教育科目	学部専門 講義科目						デザイン論特講1	2～4年	2単位	6単位 以上 （※2）	左記必修科目 および選択必 修科目に加え、 4単位以上を 修得する必要 がある。 ただし、選択必 修科目の要件 を超えて単位修 得した場合は、 超過単位数を 選択科目の単 位とみなす。	卒業に要する単位 124単位以上	80 単位 以上		
							デザイン論特講2	2～4年	2単位						
							デザイン論特講3	2～4年	2単位						
							デザイン論特講4	2～4年	2単位						
							デザインレクチャーズ	2～4年	2単位						
							ユニバーサルデザイン論	2～4年	2単位						
							デザインマネジメント論	2～4年	2単位						
							ランドスケープデザイン論	2～4年	2単位						
	コース 専門 教育科目						商品開発論	2～4年	2単位	4単位 以上				26単位 以上 （※3）	
							デザイン専門英語	2～4年	1単位						
			プロダクトカラー論	1年	2単位	40単位	家具史	1～4年	2単位						26単位 以上 （※3）
			デザイン法規概論	3～4年	2単位		インテリアデザイン論	2～4年	2単位						
			人間生活工学	3～4年	2単位		近代空間論	2～4年	2単位						
			プランニングと企画	3～4年	2単位		○ デザインマテリアル1	2年	3単位						
			○ 工芸1	1年	3単位		○ デザインマテリアル2	2年	3単位						
			○ 工芸2	1年	3単位		○ デザインマテリアル3	2年	3単位						
			○ 基礎デザイン1	1年	3単位		○ デザインマテリアル4	2年	3単位						
			○ 絵画基礎	1年	3単位		○ プロダクトコミュニケーション1	3年	3単位						
			○ 立体構成	1年	3単位		○ プロダクトコミュニケーション2	3年	3単位						
			○ デザインテクノロジー1	1年	2単位		○ プロダクトコミュニケーション3	3年	3単位						
			○ 京都デザイン	1年	3単位		○ プロダクトコミュニケーション4	3年	3単位						
			○ 基礎デザイン2	2年	3単位		○ プロダクトコミュニケーション5	3年	3単位						
			○ 基礎デザイン3	2年	3単位		○ プロダクトコミュニケーション6	3年	3単位						
			○ 立体造形1	2年	3単位		○ プロダクトコミュニケーション7	3年	3単位						
			○ 立体造形2	2年	3単位		○ プロダクトコミュニケーション8	3年	3単位						
							○ プロダクトデザイン1	3年	3単位						
							○ プロダクトデザイン2	3年	3単位						
							卒業制作テーマ研究1	4年	3単位						
							卒業制作テーマ研究2	4年	3単位						
							卒業制作テーマ研究3	4年	3単位						
							卒業制作研究1	4年	3単位						
							卒業制作研究2	4年	3単位						
							卒業制作研究3	4年	3単位						
			卒業制作・卒業論文	4年	4単位		4単位								

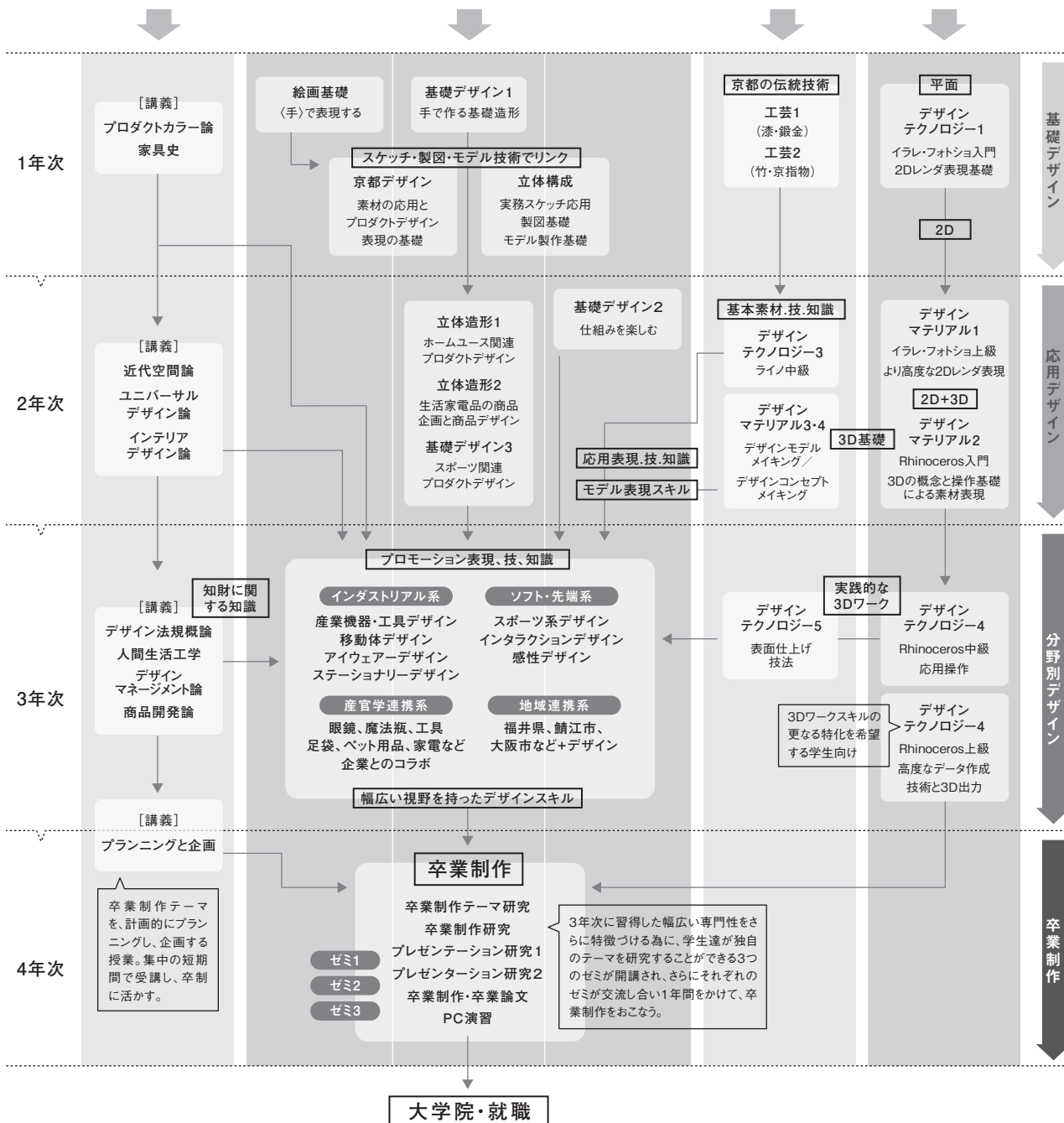
【留意事項】
(※1) 留学生は、「日本語1」(2単位)、「日本語2」(2単位)の2科目4単位を必修とする。ただし、日本語担当教員との相談によっては、母語以外の他の外国語科目を履修することができる。
(※2) 「デザイン論特講1~4」のうち、1科目2単位を必修とする。
(※3) コース専門の選択必修科目について以下の通り単位を修得すること。①講義科目から1科目2単位以上 ②2年:「デザインマテリアル1~4」のうち2科目6単位以上 ③3年:「プロダクトコミュニケーション1~8」「プロダクトデザイン1・2」のうち4科目12単位以上 ④4年:「卒業制作テーマ研究1~3」のうち1科目3単位および「卒業制作研究1~3」のうち1科目3単位
【進級要件】
●1年次から2年次:上表に定める必修の実習・演習科目のうち○印の単位をすべて修得すること。 ●2年次から3年次:上表に定める必修の実習・演習科目のうち○印の単位をすべて修得すること。 ●3年次から4年次:上表に定める選択必修の実習・演習科目(○印)より12単位以上を修得すること。

プロダクトコミュニケーションコース カリキュラムマップ

教育目標

- 日々変化する国際環境や産業構造に追従し、時代に即応したインダストリアルデザインを探究する。
- ビジネスとして時代が必要とする製品を創出し、かつ社会に貢献するインダストリアルデザイナーを育てる。
- 地球環境の変化に敏感に反応し、サステナブルな社会と豊かな人間性を育むものづくりを研究する。
- 京都に立地する大学として、京都が有する「伝承」「先進」「環境」のDNAをデザインという行為の中に息づかせ、世界に発信する。

	理論系科目	デザイン系実習科目			素材系演習科目	IT系演習科目
		平面系	立体系	企画系		
1年次	インダストリアルデザイナーに必要な理論・知識を身につける	"美しいものづくり"をするための基本を身につける			様々な素材や表現方法にふれる	2D表現の基礎
2年次		プロダクトデザインの基本と応用を身につける			各種素材と工作、ワークフロー	実践的な2D表現と3D基礎
3年次		幅広いプロダクトデザインの専門分野を理解する				3D応用と3D上級スキル、GUI
4年次		デザインの総合力を発揮する				



デザイン学部 プロダクトデザイン学科 プロダクトコミュニケーションコース 専門教育科目 科目一覧

科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単 位 数	配 当 年 次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
						1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
						1	2	1	2	3	1	2
※各コース別コード	基礎デザイン1	必修	実習	3	1			●	●	●		
※各コース別コード	基礎デザイン2	必修	実習	3	2			●	●	●		
※各コース別コード	基礎デザイン3	必修	実習	3	2			●	●	●		
※各コース別コード	絵画基礎	必修	実習	3	1			●	●	●		
※各コース別コード	立体構成	必修	実習	3	1			●	●	●		
※各コース別コード	デザインテクノロジー1	必修	実習	2	1		●	●	●	●		
※各コース別コード	デザインテクノロジー2	選択	演習	2	2		●	●	●	●		
※各コース別コード	デザインテクノロジー3	選択	演習	2	2		●	●	●	●		
※各コース別コード	デザインテクノロジー4	選択	演習	2	2・3		●	●	●	●		
※各コース別コード	デザインテクノロジー5	選択	演習	2	2・3		●	●	●	●		
※各コース別コード	デザインテクノロジー6	選択	演習	2	3		●	●	●	●		
※各コース別コード	工芸1	必修	実習	3	1		●	●	●	●		
※各コース別コード	工芸2	必修	実習	3	1		●	●	●	●		
※各コース別コード	京都デザイン	必修	実習	3	1			●	●	●		
※各コース別コード	ワークショップ実習1	選択	実習	2	1・2			●	●	●	●	●
※各コース別コード	ワークショップ実習2	選択	実習	2	3・4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	立体造形1	必修	実習	3	2			●	●	●		
※各コース別コード	立体造形2	必修	実習	3	2			●	●	●		
※各コース別コード	デザインマテリアル1	選択	演習	3	2				●	●		
※各コース別コード	デザインマテリアル2	選択	演習	3	2				●	●		
※各コース別コード	デザインマテリアル3	選択	演習	3	2				●	●		
※各コース別コード	デザインマテリアル4	選択	演習	3	2				●	●		
DPC40813	プロダクトコミュニケーション1	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPC40823	プロダクトコミュニケーション2	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPC40833	プロダクトコミュニケーション3	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPC40843	プロダクトコミュニケーション4	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPC40853	プロダクトコミュニケーション5	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPC40863	プロダクトコミュニケーション6	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPC40873	プロダクトコミュニケーション7	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPC40883	プロダクトコミュニケーション8	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DLC40813	ライフクリエイション1	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DLC40823	ライフクリエイション2	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DLC40833	ライフクリエイション3	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DLC40843	ライフクリエイション4	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DLC40853	ライフクリエイション5	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DLC40863	ライフクリエイション6	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DLC40873	ライフクリエイション7	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DLC40883	ライフクリエイション8	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPD40113	プロダクトデザイン1	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPD40133	プロダクトデザイン2	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPC41414	PC演習	選択	演習	2	4				●			
DLC40914	LC演習	選択	演習	2	4				●			

科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単 位 数	配 当 年 次	ディプロマ・ポリシーとの関連						
						1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
						1	2	1	2	3	1	2
※各コース別コード	卒業制作テーマ研究1	選択	実習	3	4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	卒業制作テーマ研究2	選択	実習	3	4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	卒業制作テーマ研究3	選択	実習	3	4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	卒業制作研究1	選択	実習	3	4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	卒業制作研究2	選択	実習	3	4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	卒業制作研究3	選択	実習	3	4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	卒業制作・卒業論文	必修	成果評定	4	4							●
DPD30011	プロダクトカラー論	必修	講義	2	1		●					
DPD30031	家具史	選択	講義	2	1・2・3・4		●					
DPD30112	インテリアデザイン論	選択	講義	2	2・3・4		●					
DPD30132	近代空間論	選択	講義	2	2・3・4		●					
DPD30213	デザイン法規概論	必修	講義	2	3・4		●					
DPD30233	人間生活工学	必修	講義	2	3・4		●					
DPD30253	プランニングと企画	必修	講義	2	3・4		●					
DLC30011	日本建築史	選択	講義	2	1・2・3・4		●					
DLC30031	西洋建築史	選択	講義	2	1・2・3・4		●					
DLC30071	建築計画	選択	講義	2	1・2・3・4		●					
DLC30111	環境工学	選択	講義	2	1・2・3・4		●					
DLC30131	設備工学	選択	講義	2	1・2・3・4		●					
DLC30191	一般構造	選択	講義	2	1・2・3・4		●					
DLC40111	測量演習	選択	講義	2	1・2・3・4		●	●	●	●		
DLC40091	建築構法演習	選択	演習	2	1・2・3・4		●	●				
DLC30052	近現代建築史	選択	講義	2	2・3・4		●					
DLC30172	建築力学	選択	講義	2	2・3・4		●					
DLC30152	建築構造	選択	講義	2	2・3・4		●					
DLC30212	伝統建築工法	選択	講義	2	2・3・4		●					
DLC30232	住環境論	選択	講義	2	2・3・4		●	●				
DLC30252	まちづくりデザイン	選択	講義	2	2・3・4		●					
DLC40013	材料実験	選択	実習	2	3・4		●	●				
DLC40033	施工演習	選択	演習	2	3・4		●	●	●			
DLC40053	積算演習	選択	演習	2	3・4		●	●				
DLC40073	建築法規演習	選択	演習	2	3・4		●					

デザイン学部 プロダクトデザイン学科

ライフクリエイションコース

ライフクリエイションコース 卒業要件

〔全学共通教育科目(44単位以上)〕+〔学部専門教育科目(80単位以上)〕=124単位以上

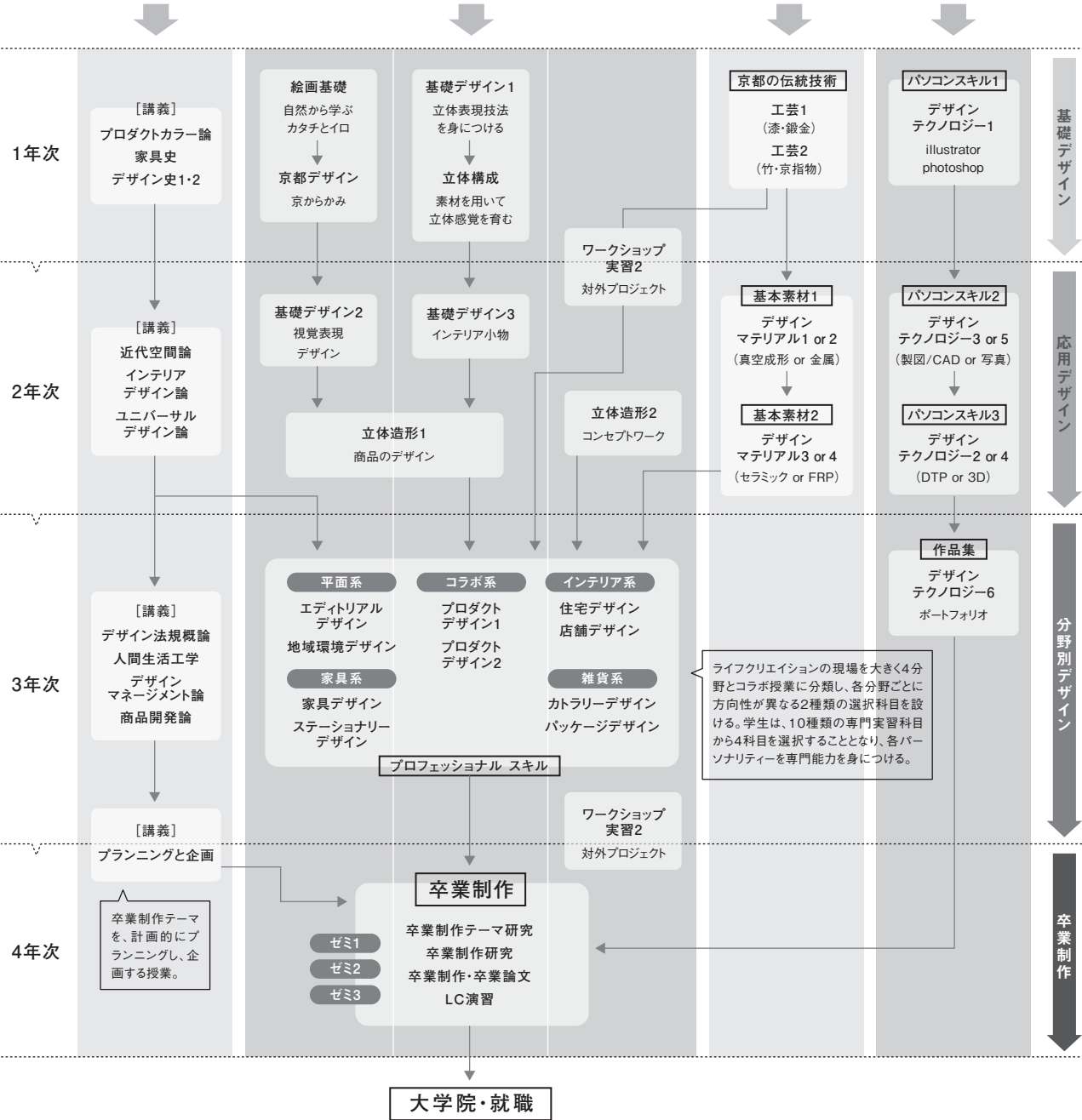
科目区分		必修科目				選択必修科目				必修・選択必修科目以外		卒業に要する 単位(計)					
		進級 要件	科目名称	卒業に要する 単位		進級 要件	科目名称	卒業に要する 単位		卒業に 要する 単位	備考						
全学共通教育科目	全学 教養科目		大学入門	1年	2単位	2単位						必修の「大学 入門」・「ことば 演習」・「英語 1」・「英語2」に 加え、22単位 以上を修得する 必要がある。	30 単位 以上				
			ことば演習	1年	2単位						22単位 以上						
			英語1(※1)	1年	2単位	6単位											
			英語2(※1)	1年	2単位												
	全学 専門科目										14単位 以上		14単位 以上				
学部専門教育科目	学部専門 講義科目						デザイン論特講1	2~4年	2単位	6単位 以上 (※2)	左記必修科目 および選択必 修科目に加え、 4単位以上を 修得する必要 がある。 ただし、選択 必修科目の要件 を超えて単位修 得した場合は、 超過単位数を 選択科目の単位 とみなす。	卒業に要する単位 124 単位 以上	80 単位 以上				
							デザイン論特講2	2~4年	2単位								
							デザイン論特講3	2~4年	2単位								
							デザイン論特講4	2~4年	2単位								
							デザインレクチャーズ	2~4年	2単位								
							ユニバーサルデザイン論	2~4年	2単位								
							デザインマネジメント論	2~4年	2単位								
							ランドスケープデザイン論	2~4年	2単位								
							商品開発論	2~4年	2単位								
							デザイン専門英語	2~4年	1単位								
	コース 専門 教育科目		プロダクトカラー論	1年	2単位	40単位		家具史	1~4年	2単位	26単位 以上 (※3)			4単位 以上			
			デザイン法規概論	3~4年	2単位			インテリアデザイン論	2~4年	2単位							
			人間生活工学	3~4年	2単位			近代空間論	2~4年	2単位							
			プランニングと企画	3~4年	2単位			○ デザインマテリアル1	2年	3単位							
			○ 工芸1	1年	3単位			○ デザインマテリアル2	2年	3単位							
			○ 工芸2	1年	3単位			○ デザインマテリアル3	2年	3単位							
			○ 基礎デザイン1	1年	3単位			○ デザインマテリアル4	2年	3単位							
			○ 絵画基礎	1年	3単位			○ ライフクリエイション1	3年	3単位							
			○ 立体構成	1年	3単位			○ ライフクリエイション2	3年	3単位							
			○ デザインテクノロジー1	1年	2単位			○ ライフクリエイション3	3年	3単位							
			○ 京都デザイン	1年	3単位			○ ライフクリエイション4	3年	3単位							
			○ 基礎デザイン2	2年	3単位			○ ライフクリエイション5	3年	3単位							
			○ 基礎デザイン3	2年	3単位			○ ライフクリエイション6	3年	3単位							
			○ 立体造形1	2年	3単位			○ ライフクリエイション7	3年	3単位							
			○ 立体造形2	2年	3単位			○ ライフクリエイション8	3年	3単位							
								○ プロダクトデザイン1	3年	3単位							
								○ プロダクトデザイン2	3年	3単位							
								卒業制作テーマ研究1	4年	3単位							
								卒業制作テーマ研究2	4年	3単位							
								卒業制作テーマ研究3	4年	3単位							
								卒業制作研究1	4年	3単位							
								卒業制作研究2	4年	3単位							
								卒業制作研究3	4年	3単位							
				卒業制作・卒業論文	4年		4単位	4単位									

ライフクリエーションコース カリキュラムマップ

教育目標

- 「デザインする」ことの楽しみを知る。
- 私たちのより良い生活を創造する「住まいとくらし(インテリアデザインと生活クリエイト)」のデザインを学ぶ。
- 平面と立体(2次元と3次元)を繋ぐデザインを学ぶことが、このコースの特長。
- 京都に立地する大学として、京都が有する「伝統」「先進」「環境」のDNAをデザインという行為の中に息づかせ、世界に発信する。

	講義系科目	デザイン系実習科目			素材系演習科目	IT系演習科目
		平面系実習科目	立体系実習科目	企画系実習科目		
1年次	ライフクリエーションに必要な理論・知識を身につける	「デザインする心」を身につける			京都の伝統工芸	コンピュータの基礎
2年次		ライフクリエーションの基本と応用を身につける			各種素材の造形	パソコンと写真
3年次		幅広いライフクリエーションの専門分野を理解する				ポートフォリオ
4年次		デザインの総合力を発揮する				



デザイン学部 プロダクトデザイン学科 ライフクリエイションコース

専門教育科目 科目一覧

科目 ナンバリング コード	科 目 名	必修/ 選択	授業 形態	単 位 数	配 当 年 次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
						1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
						1	2	1	2	3	1	2
※各コース別コード	基礎デザイン1	必修	実習	3	1			●	●	●		
※各コース別コード	基礎デザイン2	必修	実習	3	2			●	●	●		
※各コース別コード	基礎デザイン3	必修	実習	3	2			●	●	●		
※各コース別コード	絵画基礎	必修	実習	3	1			●	●	●		
※各コース別コード	立体構成	必修	実習	3	1			●	●	●		
※各コース別コード	デザインテクノロジー1	必修	実習	2	1		●	●	●	●		
※各コース別コード	デザインテクノロジー2	選択	演習	2	2		●	●	●	●		
※各コース別コード	デザインテクノロジー3	選択	演習	2	2		●	●	●	●		
※各コース別コード	デザインテクノロジー4	選択	演習	2	2・3		●	●	●	●		
※各コース別コード	デザインテクノロジー5	選択	演習	2	2・3		●	●	●	●		
※各コース別コード	デザインテクノロジー6	選択	演習	2	3		●	●	●	●		
※各コース別コード	工芸1	必修	実習	3	1		●	●	●	●		
※各コース別コード	工芸2	必修	実習	3	1		●	●	●	●		
※各コース別コード	京都デザイン	必修	実習	3	1			●	●	●		
※各コース別コード	ワークショップ実習1	選択	実習	2	1・2			●	●	●	●	●
※各コース別コード	ワークショップ実習2	選択	実習	2	3・4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	立体造形1	必修	実習	3	2			●	●	●		
※各コース別コード	立体造形2	必修	実習	3	2			●	●	●		
※各コース別コード	デザインマテリアル1	選択	演習	3	2				●	●		
※各コース別コード	デザインマテリアル2	選択	演習	3	2				●	●		
※各コース別コード	デザインマテリアル3	選択	演習	3	2				●	●		
※各コース別コード	デザインマテリアル4	選択	演習	3	2				●	●		
DPC40813	プロダクトコミュニケーション1	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPC40823	プロダクトコミュニケーション2	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPC40833	プロダクトコミュニケーション3	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPC40843	プロダクトコミュニケーション4	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPC40853	プロダクトコミュニケーション5	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPC40863	プロダクトコミュニケーション6	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPC40873	プロダクトコミュニケーション7	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPC40883	プロダクトコミュニケーション8	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DLC40813	ライフクリエイション1	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DLC40823	ライフクリエイション2	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DLC40833	ライフクリエイション3	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DLC40843	ライフクリエイション4	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DLC40853	ライフクリエイション5	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DLC40863	ライフクリエイション6	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DLC40873	ライフクリエイション7	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DLC40883	ライフクリエイション8	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPD40113	プロダクトデザイン1	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPD40133	プロダクトデザイン2	選択	実習	3	3			●	●	●	●	●
DPC41414	PC演習	選択	演習	2	4				●			
DLC40914	LC演習	選択	演習	2	4				●			

科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単 位 数	配 当 年 次	ディプロマ・ポリシーとの関連						
						1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
						1	2	1	2	3	1	2
※各コース別コード	卒業制作テーマ研究1	選択	実習	3	4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	卒業制作テーマ研究2	選択	実習	3	4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	卒業制作テーマ研究3	選択	実習	3	4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	卒業制作研究1	選択	実習	3	4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	卒業制作研究2	選択	実習	3	4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	卒業制作研究3	選択	実習	3	4			●	●	●	●	●
※各コース別コード	卒業制作・卒業論文	必修	成果評定	4	4							●
DPD30011	プロダクトカラー論	必修	講義	2	1		●					
DPD30031	家具史	選択	講義	2	1・2・3・4		●					
DPD30112	インテリアデザイン論	選択	講義	2	2・3・4		●					
DPD30132	近代空間論	選択	講義	2	2・3・4		●					
DPD30213	デザイン法規概論	必修	講義	2	3・4		●					
DPD30233	人間生活工学	必修	講義	2	3・4		●					
DPD30253	プランニングと企画	必修	講義	2	3・4		●					
DLC30011	日本建築史	選択	講義	2	1・2・3・4		●					
DLC30031	西洋建築史	選択	講義	2	1・2・3・4		●					
DLC30071	建築計画	選択	講義	2	1・2・3・4		●					
DLC30111	環境工学	選択	講義	2	1・2・3・4		●					
DLC30131	設備工学	選択	講義	2	1・2・3・4		●					
DLC30191	一般構造	選択	講義	2	1・2・3・4		●					
DLC40111	測量演習	選択	講義	2	1・2・3・4		●	●	●	●		
DLC40091	建築構法演習	選択	演習	2	1・2・3・4		●	●				
DLC30052	近現代建築史	選択	講義	2	2・3・4		●					
DLC30172	建築力学	選択	講義	2	2・3・4		●					
DLC30152	建築構造	選択	講義	2	2・3・4		●					
DLC30212	伝統建築工法	選択	講義	2	2・3・4		●					
DLC30232	住環境論	選択	講義	2	2・3・4		●	●				
DLC30252	まちづくりデザイン	選択	講義	2	2・3・4		●					
DLC40013	材料実験	選択	実習	2	3・4		●	●				
DLC40033	施工演習	選択	演習	2	3・4		●	●	●			
DLC40053	積算演習	選択	演習	2	3・4		●	●				
DLC40073	建築法規演習	選択	演習	2	3・4		●					

ライフクリエーションコース 二級建築士・木造建築士資格取得指定科目一覧(2017年度以降入学生)

指定科目の分類	指定科目	単位数	配当年次	科目種別	二級建築士・木造建築士	
建築設計製図	デザインテクノロジー3	2	2	LCコース専門／選択	3単位以上	
	ライフクリエイション2	3	3	LCコース専門／選必		
	ライフクリエイション6	3	3	LCコース専門／選必		
建築計画 建築環境工学 建築設備	日本建築史	2	1～4	PD学科専門／選択	2単位以上	
	西洋建築史	2	1～4	PD学科専門／選択		
	建築計画	2	1～4	PD学科専門／選択		
	環境工学	2	1～4	PD学科専門／選択		
	設備工学	2	1～4	PD学科専門／選択		
	近代空間論	2	2～4	PD学科専門／選必		
	近現代建築史	2	2～4	PD学科専門／選択		
構造力学 建築一般構造 建築材料	一般構造	2	1～4	PD学科専門／選択	3単位以上	
	建築力学	2	2～4	PD学科専門／選択		
	建築構造	2	2～4	PD学科専門／選択		
	材料実験	2	3・4	PD学科専門／選択		
建築生産	伝統建築工法	2	2～4	PD学科専門／選択	1単位以上	
	施工演習	2	3・4	PD学科専門／選択		
	積算演習	2	3・4	PD学科専門／選択		
建築法規	建築法規演習	2	3・4	PD学科専門／選択	1単位以上	
その他	プロダクトカラー論	2	1	PD学科専門／必修	適宜	
	測量演習	2	1～4	PD学科専門／選択		
	建築構法演習	2	1～4	PD学科専門／選択		
	デザインテクノロジー4	2	2	LCコース専門／選択		
	住環境論	2	2～4	PD学科専門／選択		
	インテリアデザイン論	2	2～4	PD学科専門／選必		
	ランドスケープデザイン論	2	2～4	デザイン学部共通／選必		
	まちづくりデザイン	2	2～4	PD学科専門／選択		
	人間生活工学	2	3・4	PD学科専門／選択		
修得単位数 総合計					必要な 実務経験年数	必要単位数
					0年	40単位以上
					1年	30単位以上
					2年	20単位以上

デザイン学部

建築学科 建築コース

建築学科 建築コース 卒業要件

〔全学共通教育科目(44単位以上)〕+〔学部専門教育科目(80単位以上)〕=124単位以上

科目区分		必修科目					選択必修科目				必修・選択必修科目以外		卒業に要する 単位(計)	
		進級 要件	科目名称		卒業に要する 単位		進級 要件	科目名称		卒業に要する 単位		卒業に 要する 単位		
全学 共通教育科目	全学 教養科目		大学入門	1年	2単位	2単位						22単位 以上	必修の「大学 入門」・「ことば 演習」・「英語 1」・「英語2」に 加え、22単位 以上を修得する 必要がある。	30 単位 以上
			ことば演習	1年	2単位									
			英語1（※1）	1年	2単位									
			英語2（※1）	1年	2単位									
	全学 専門科目											14単位 以上		14単位 以上
学部専門 教育科目	学部専門 講義科目						デザイン論特講1	2～4年	2単位	6単位 以上 （※2）	左記必修科目 および選択必 修科目に加え、 2単位以上を 修得する必要 がある。	卒業に要する単位 124 単位以上		
							デザイン論特講2	2～4年	2単位					
							デザイン論特講3	2～4年	2単位					
							デザイン論特講4	2～4年	2単位					
							デザインレクチャーズ	2～4年	2単位					
							ユニバーサルデザイン論	2～4年	2単位					
							デザインマネージメント論	2～4年	2単位					
							ランドスケープデザイン論	2～4年	2単位					
	コース 専門 教育科目						商品開発論	2～4年	2単位	2単位 以上	ただし、選択必 修科目の要件 を超えて単位修 得した場合は、 超過単位数を 選択科目の単 位とみなす。			
			○ 設計基礎1	1年	3単位	68単位							なお、一級建築 士試験、二級 建築士試験・ 木造建築士試 験の受験資格 取得希望者は 別表に基づく 科目の単位を 修得する必要 がある。	
			○ 設計基礎2	1年	3単位									
			コンピューター演習1	1年	2単位									
			身体空間論	1年	2単位									
			製図模型演習	1年	2単位									
			インテリアデザイン論	1年	2単位									
			日本建築史	1年	2単位									
			建築計画	1年	2単位									
			一般構造	1年	2単位									
			西洋建築史	1年	2単位									
			建築構法演習	1年	2単位									
			○ 設計基礎3	2年	3単位									
			○ 設計基礎4	2年	3単位									
			コンピューター演習2	2年	2単位									
			コンピューター演習3	2年	2単位									
			仮想空間論	2年	2単位									
			仮想空間演習	2年	2単位									
			近現代建築史	2年	2単位									
			建築材料演習	2年	2単位									
			伝統建築工法	2年	2単位									
			○ 設計1	3年	6単位									
			○ 設計2	3年	6単位									
			設計3	4年	6単位									
			設計4	4年	6単位									
			卒業制作	4年	4単位		4単位							

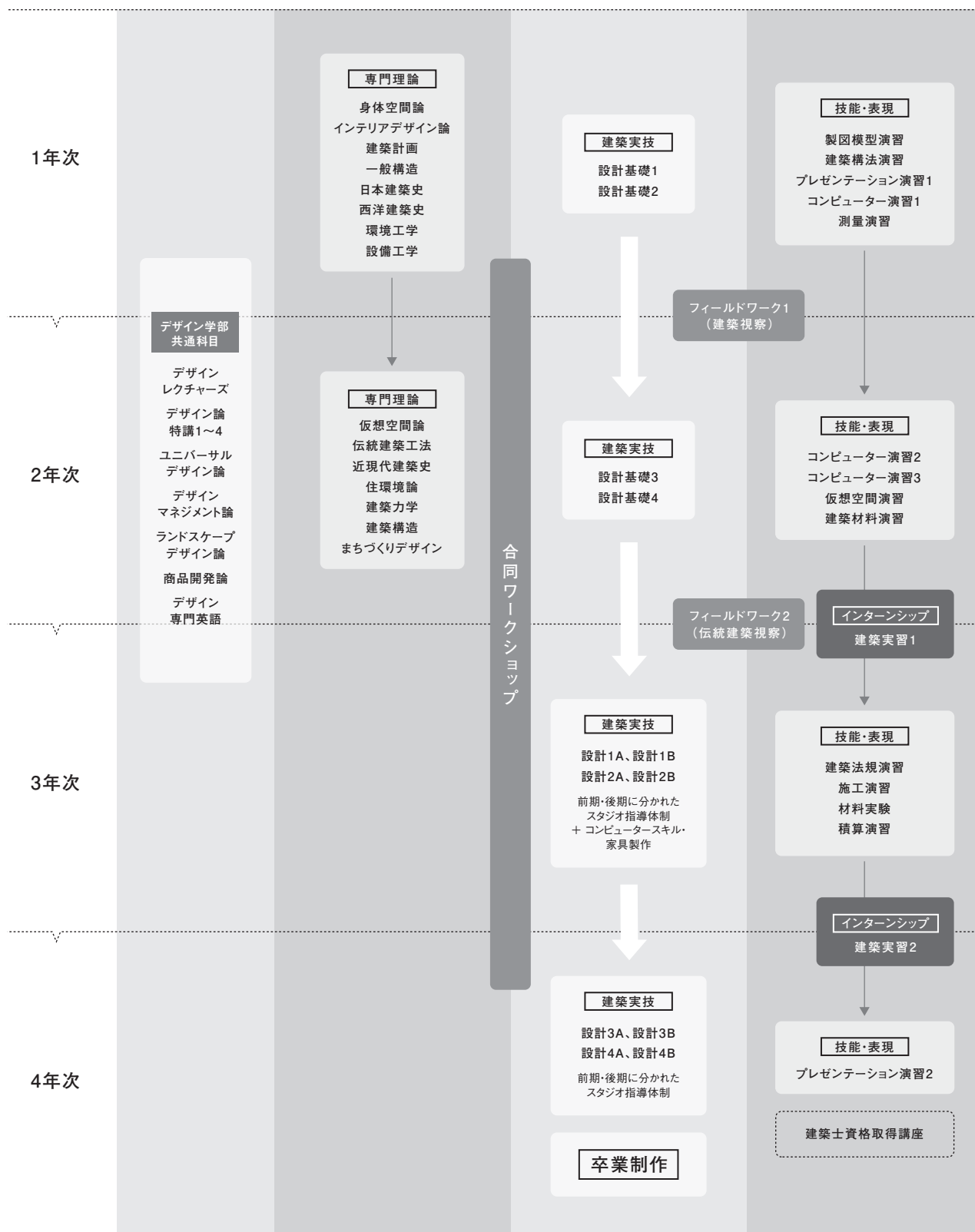
【留意事項】
(※1) 留学生は、「日本語1」(2単位)、「日本語2」(2単位)の2科目4単位を必修とする。ただし、日本語担当教員との相談によっては、母語以外の他の外国語科目を履修することができる。
(※2) 「デザイン論特講1~4」のうち、1科目2単位を必修とする。

【進級要件】
● 1年次から2年次: 上表に定める必修の実習・演習科目のうち○印の単位をすべて修得すること。 ● 2年次から3年次: 上表に定める必修の実習・演習科目のうち○印の単位をすべて修得すること。 ● 3年次から4年次: 上表に定める必修の実習・演習科目のうち○印の単位をすべて修得すること。

建築学科 建築コース カリキュラムマップ

教育目標

- 建築を中心にした様々な関係する領域について考えるための基礎的な知識と、建築を設計する技術、関係する人々と円滑にコミュニケーションを取る能力を身につけ、社会に対する創造的な提案と自立した活動を行うことができること。



デザイン学部 建築学科 建築コース

専門教育科目 科目一覧

科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
						1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
						1	2	1	2	3	1	2
DAR30111	身体空間論	必修	講義	2	1		●	●				
DAR30211	インテリアデザイン論	必修	講義	2	1		●					
DAR30311	日本建築史	必修	講義	2	1		●					
DAR30812	西洋建築史	必修	講義	2	1		●					
DAR30411	建築計画	必修	講義	2	1		●					
DAR30511	一般構造	必修	講義	2	1		●					
DAR40211	コンピューター演習1	必修	講義	2	1			●	●	●		
DAR40611	測量演習	選択	講義	2	1		●	●	●	●		
DAR31213	環境工学	選択	講義	2	1		●					
DAR31313	設備工学	選択	講義	2	1		●					
DAR40311	製図模型演習	必修	演習	2	1			●	●	●		
DAR40411	プレゼンテーション演習1	選択	演習	2	1			●	●	●		
DAR41212	建築構法演習	必修	演習	2	1		●	●				
DAR40111	設計基礎1	必修	実習	3	1			●	●	●		
DAR40511	設計基礎2	必修	実習	3	1			●	●	●		●
DAR90011	フィールドワーク1	選択	実習	2	1・2		●	●	●	●		
DAR90022	フィールドワーク2	選択	実習	2	1・2		●	●	●	●		
DAR30612	まちづくりデザイン	選択	講義	2	2		●					
DAR31512	住環境論	選択	講義	2	2		●	●				
DAR30822	近現代建築史	必修	講義	2	2		●					
DAR40221	コンピューター演習2	必修	講義	2	2			●	●	●		
DAR40232	コンピューター演習3	必修	講義	2	2			●	●	●		
DAR31012	伝統建築工法	必修	講義	2	2		●					
DAR31113	建築構造	選択	講義	2	2		●					
DAR31413	建築力学	選択	講義	2	2		●					
DAR30712	仮想空間論	必修	演習	2	2		●	●				
DAR41112	建築材料演習	必修	演習	2	2		●	●				
DAR40912	仮想空間演習	必修	演習	2	2			●	●	●		
DAR41814	施工演習	選択	演習	2	3		●	●	●			
DAR41913	建築法規演習	選択	演習	2	3		●					
DAR41714	材料実験	選択	実習	2	3		●	●				
DAR40812	設計基礎3	必修	実習	3	2			●	●	●		●
DAR40822	設計基礎4	必修	実習	3	2			●	●	●		●
DAR41613	設計1	必修	実習	6	3			●	●	●	●	●
DAR41623	設計2	必修	実習	6	3			●	●	●	●	●
DAR41414	積算演習	選択	演習	2	3・4		●	●				
DAR90113	建築実習1	選択	実習	2	3・4			●	●	●	●	●
DAR90124	建築実習2	選択	実習	2	3・4			●	●	●	●	●
DAR40423	プレゼンテーション演習2	選択	演習	2	3・4			●	●	●		
DAR41634	設計3	必修	実習	6	4			●	●	●	●	●
DAR41644	設計4	必修	実習	6	4			●	●	●	●	●
DAR90214	卒業制作	必修	成果評定	4	4							●

建築学科 建築士資格取得指定科目一覧

指定科目の分類	指定科目	単位数	配当年次	建築学科必修	一級建築士		二級建築士 木造建築士			
建築設計製図	設計基礎2	3	1	○	7単位以上		3単位以上			
	設計基礎3	3	2	○						
	設計基礎4	3	2	○						
	設計1	6	3	○						
	設計2	6	3	○						
	設計3	6	4	○						
	設計4	6	4	○						
建築計画	日本建築史	2	1	○	7単位以上		2単位以上			
	西洋建築史	2	1	○						
	建築計画	2	1	○						
	近現代建築史	2	2	○						
建築環境工学	環境工学	2	1		2単位以上		3単位以上			
建築設備	設備工学	2	1		2単位以上					
構造力学	建築力学	2	2		4単位以上					
	建築構造	2	2							
建築一般構造	一般構造	2	1	○	3単位以上		3単位以上			
	建築講法演習	2	1	○						
建築材料	材料実験	2	3		2単位以上					
建築生産	伝統建築工法	2	2	○	2単位以上				1単位以上	
	施工演習	2	3							
	積算演習	2	3・4							
建築法規	建築法規演習	2	3		1単位以上		1単位以上			
その他	測量演習	2	1		適宜		適宜			
	コンピューター演習1	2	1	○						
	コンピューター演習2	2	2	○						
	コンピューター演習3	2	2	○						
	まちづくりデザイン	2	2							
修得単位数 総合計					必要な 実務経験年数	必要単位数	必要な 実務経験年数	必要単位数		
					2年	60単位以上	0年	40単位以上		
					3年	50単位以上	1年	30単位以上		
					4年	40単位以上	2年	20単位以上		

マンガ学部

マンガ学科／アニメーション学科

ディプロマ・ポリシーとカリキュラム構造

学部の教育目標

- マンガ学部は、マンガ文化の継承と発展に貢献する資質を備えた、よりよき社会人としての人間形成を行います。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

DP1	DP2	DP3
1.多様性を理解する力 多くの事象にわたる幅広い総合的な教養、そして多文化理解の能力を身につけている	1.論理的に思考し判断する力 社会的事象に幅広い関心を持ち、問題の本質を掴んで解決方法を提案できる	1.他者と協働する力 チームワークの重要性を理解し、現場において幅広い対応力を発揮できる
2.専門知を活用する力 マンガ分野に関する知識・技能を体系的に理解し、その分野に固有の視座や思考方法を身につけている	2.考えを表現する力 テーマや思想を作品に盛り込み、論理的な思考に基づく自己表現ができる	2.社会と他者に貢献する力 新たな発想による制作によって、地域や国際社会に働きかける意識と能力を備えている
	3.多様な人とコミュニケーションする力 マンガ・アニメーション表現の可能性を探究し、自分の価値観を他者に伝達できる	

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

マンガ学部は、学位授与の方針に掲げる知識・技能などを修得させるために、全学教養科目、全学専門科目、学部専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目のナンバリングおよびカリキュラム・マップにより、カリキュラムの体系をわかりやすく明示します。

マンガ学部専門科目の教育内容、教育方法、評価について以下のように定めます。

1 教育内容

学部専門科目では、作品を制作するための理論的根拠となる、マンガ・アニメーションに関する専門的な理論や歴史などを学ぶことのできる専門講義科目を開講します。さらに、各学科の実技系科目において、基礎技術を獲得させるとともに、新たな表現手法に対する探究心を喚起し、新しい価値を創造する力を養います。

最終年次には、卒業制作を課します。マンガ・アニメーションの作品発表を通じ、表現を創出する力と社会に向けた発信力を養います。

2 教育方法

- (1) 学生の主体性を伸ばすため、能動的学修の視点を取り入れた教育方法を実施します。
- (2) 授業内・外の学修時間を考慮した授業内容を設計します。
- (3) 学修成果の可視化を通じて、学生の自律的な学修を支援します。

3 学修成果の評価

マンガ学部では、学位授与の方針に掲げる能力・資質およびこれらの総合的な活用力の修得状況を、「進級時」「卒業時」の2つのレベルで把握し、評価します。各レベルの評価の実施方法は、以下のとおりとします。

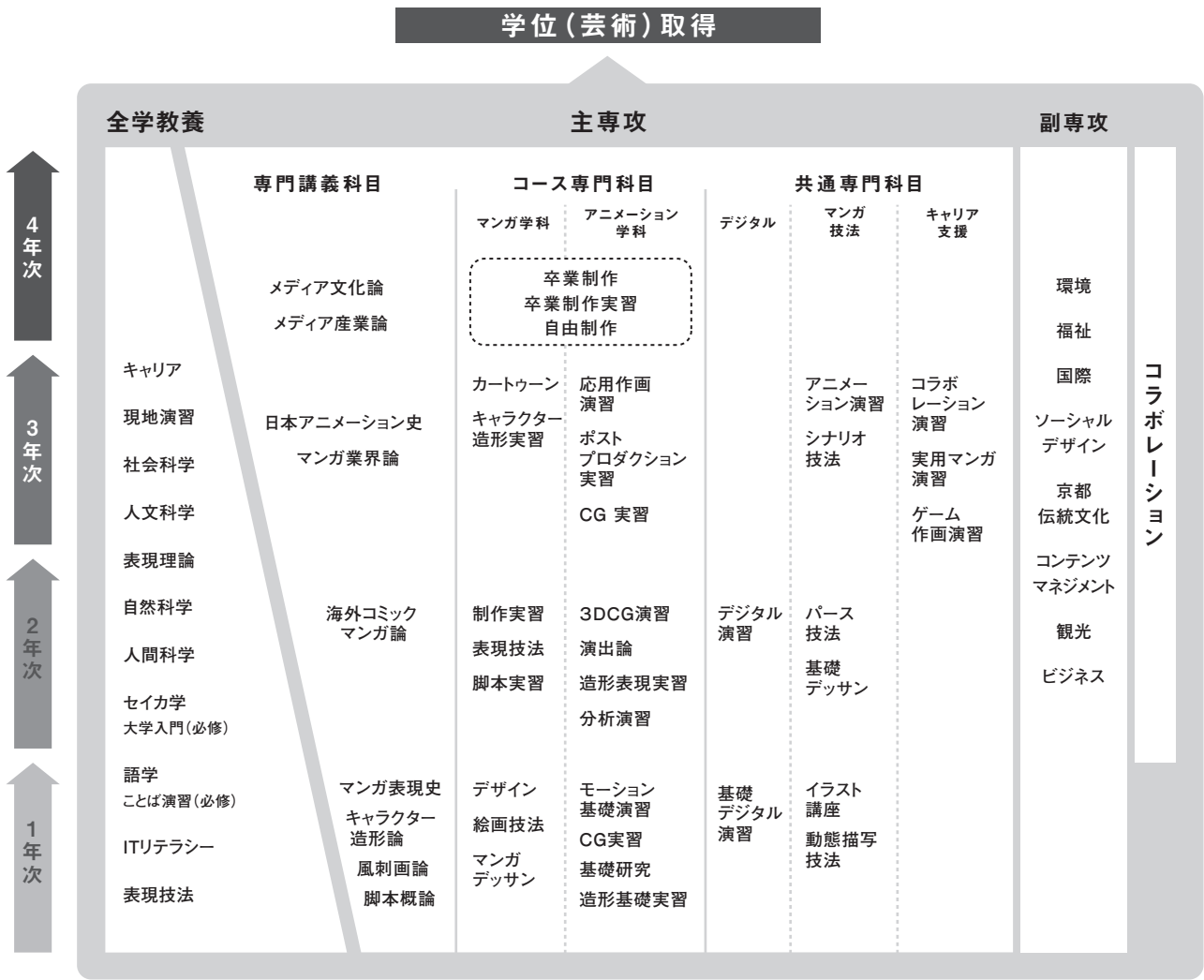
(1) 進級時

進級時の学修成果は、学部所定の教育課程における進級要件達成状況(単位取得、GPA)により、総合的評価を行います。

(2) 卒業時

4年間の学修成果は、学部所定の教育課程における卒業要件達成状況(単位取得、GPA)により、総合的評価を行います。卒業制作(必修)は、評価ルーブリックを活用し、複数教員によって多面的評価を行います。

カリキュラムマップ



マンガ学部 共通専門教育科目 科目一覧

マンガ学部 共通講義科目

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単 位 数	配 当 年 次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
							1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
							1	2	1	2	3	1	2
マンガ学部 共通講義科目	MGS30011	キャラクター造形論1	選択	講義	2	1・2・3・4		●	●			●	
	MGS30031	キャラクター造形論2	選択	講義	2	1・2・3・4		●		●	●		●
	MGS30051	風刺画論	選択	講義	2	1・2・3・4	●		●				
	MGS30071	物語キャラクター論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●					
	MGS30091	脚本概論1	選択	講義	2	1・2・3・4		●		●			
	MGS30111	脚本概論2	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●		●			
	MGS30131	マンガ表現史1	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●					
	MGS30151	マンガ表現史2	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●			●		
	MGS30171	編集概論1	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●					
	MGS30191	編集概論2	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●					
	MGS30251	アニメーション作品作家研究1	選択	講義	2	1・2・3・4		●			●		
	MGS30271	アニメーション作品作家研究2	選択	講義	2	1・2・3・4		●			●		
	MGS30372	海外コミックマンガ論	選択	講義	2	2・3・4	●	●					
	MGS30392	比較マンガ論	選択	講義	2	2・3・4	●	●					
	MGS30452	マンガ業界論	選択	講義	2	1・2・3・4		●	●				
	MGS35113	メディア文化論	選択	講義	2	2・3・4	●	●			●		
	MGS35123	メディア産業論	選択	講義	2	2・3・4	●	●					
	MGS30592	新世代マンガ総合講座	選択	講義	2	2・3・4		●				●	●
	MAN30311	日本アニメーション史	選択	講義	2	2・3・4	●	●					
	MAN30411	世界アニメーション史	選択	講義	2	2・3・4	●	●					

※各コースにおいて、必修科目に指定している講義科目があります。所属コースの卒業要件表で確認してください。

マンガ学部 共通実技科目

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単 位数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの関連						
							1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
							1	2	1	2	3	1	2
マンガ学部 共通実技科目	MGS41011	動態描写技法1	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●			
	MGS41021	動態描写技法2	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●			
	MGS41111	イラスト講座	選択	演習	2	2・3・4		●		●			
	MGS40112	デジタル演習1	選択	演習	2	2・3・4		●		●			
	MGS40122	デジタル演習2	選択	演習	2	2・3・4				●			
	MGS41312	パース技法	選択	演習	2	2・3・4		●		●			
	MGS43172	工芸	選択	実習	2	2・3・4	●			●			
	MGS43152	基礎立体・彫塑	選択	実習	2	2・3・4	●			●	●		
	MGS41813	絵本技法1	選択	演習	2	3・4		●		●		●	
	MGS41823	絵本技法2	選択	演習	2	3・4		●		●			
	MGS41913	シナリオ技法1	選択	演習	2	3・4		●		●	●		
	MGS41923	シナリオ技法2	選択	演習	2	3・4		●		●	●		
	MGS43513	実用マンガ演習	選択	演習	2	3・4		●		●			●
	MGS43613	編集実践演習	選択	演習	2	3・4		●					
	MGS43213	コラボレーション演習1	選択	演習	2	3・4		●	●		●	●	
	MGS43223	コラボレーション演習2	選択	演習	2	3・4		●	●		●	●	
	MGS43313	ゲーム作画演習1	選択	演習	2	3・4		●		●		●	●
	MGS43323	ゲーム作画演習2	選択	演習	2	3・4		●		●		●	●
	MGS43713	アニメーション3DCG演習1 ※	選択	演習	2	3・4		●		●			
	MGS43723	アニメーション3DCG演習2 ※	選択	演習	2	3・4		●		●			
	MAN41813	アニメーション創作実習1	選択	実習	3	3・4				●		●	●
	MAN41823	アニメーション創作実習2	選択	実習	3	3・4				●		●	●
	MGS40011	基礎デジタル演習1 ※	必修	演習	2	1・2・3・4		●					
	MGS40021	基礎デジタル演習2 ※	必修	演習	2	1・2・3・4		●					
	MCD40011	キャラクター造形基礎1 ※	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●			
	MCD40021	キャラクター造形基礎2 ※	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●			
	MGS42111	マンガデザイン1 ※	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●			
	MGS42121	マンガデザイン2 ※	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●			
	MGS41212	基礎デッサン1 ※	選択	演習	2	2・3・4	●			●			
	MGS41222	基礎デッサン2 ※	選択	演習	2	2・3・4	●			●			
	MGS41713	アニメーション演習1 ※	選択	演習	2	3・4		●				●	
	MGS41723	アニメーション演習2 ※	選択	演習	2	3・4		●				●	

※ アニメーション学科を除く

カートゥーンコース

カートゥーンコース 卒業要件

〔全学共通教育科目(44単位以上)〕+〔学部専門教育科目(80単位以上)〕=124単位以上

科目区分		必修科目					必修科目以外		卒業に要する 単位(計)	
		進級 要件	科目名称			卒業に要する 単位	卒業に要する 単位	備考		
全学共通教育科目	全学教養科目		大学入門	1年	2単位	2単位	22単位 以上	必修の「大学入門」・「ことば 演習」・「英語1」・「英語2」 に加え、22単位以上を修得 する必要がある。	30 単位 以上	卒業に要する単位 124単位以上
			ことば演習	1年	2単位	6単位				
			英語1 (※1)	1年	2単位					
			英語2 (※1)	1年	2単位					
	全学専門科目					14単位 以上		14単位 以上		
学部専門教育科目	学部共通 専門教育科目		基礎デジタル演習1 (※2)	1～4年	2単位	12単位	26単位 以上	学部共通専門教育科目(講 義系・実技系)のうちから、左 記必修科目に加え、26単位 以上を修得する必要がある。	80 単位 以上	
			基礎デジタル演習2(※2)	1～4年	2単位					
			風刺画論(※3)	1～4年	2単位					
			物語キャラクター論(※2)	1～4年	2単位					
			メディア産業論(※3)	2～4年	2単位					
			メディア文化論(※3)	2～4年	2単位					
	コース 専門教育科目		○ デッサン1	1年	3単位	39単位				
			○ デッサン2	1年	3単位					
			○ 絵画技法1	1年	3単位					
			○ 絵画技法2	1年	3単位					
			○ クロッキー1	2年	3単位					
			○ クロッキー2	2年	3単位					
			○ 風刺画1	2年	3単位					
			○ 風刺画2	2年	3単位					
			○ カートゥーン1	3年	3単位					
			○ カートゥーン2	3年	3単位					
			自由制作	4年	3単位					
			卒業制作実習	4年	6単位					
			卒業制作	4年	3単位	3単位				

【留意事項】

(※1) 留学生は、「日本語1」(2単位)、「日本語2」(2単位)の2科目4単位を必修とする。ただし、日本語担当教員との相談によっては、母語以外の他の外国語科目を履修することができる。

(※2) 「基礎デジタル演習1・2」「物語キャラクター論」は1年次での履修が望ましい。

(※3) 「風刺画論」「メディア産業論」「メディア文化論」は2年次での履修が望ましい。

【進級要件】

- 1年次から2年次: 上表に定める必修の実習・演習科目の単位をすべて修得すること。
- 2年次から3年次: 上表に定める必修の実習・演習科目の単位をすべて修得すること。
- 3年次から4年次: 上表に定める必修の実習・演習科目の単位をすべて修得すること。

カートゥーンコース カリキュラムマップ

		科目区分		
教育課程の目標		共通専門教育科目(講義系) (選択)	共通専門教育科目(実技系) (選択)	コース専門教育科目 (必修)
1年次	デッサン、クロッキーを中心に観察力と画力のトレーニングを行う。また、マンガを学ぶうえで基礎となる、知識や教養を学ぶ講義系科目、デジタルの基礎技術を学ぶ科目を履修する。	風刺画論(※) 物語キャラクター論(※) マンガ表現史1 マンガ表現史2 脚本概論1 脚本概論2 キャラクター造形論1 キャラクター造形論2 編集概論1 編集概論2 マンガ業界論 アニメーション作品作家研究1 アニメーション作品作家研究2	基礎デジタル演習1(※) 基礎デジタル演習2(※) 動態描写技法1 動態描写技法2 マンガデザイン1 マンガデザイン2 キャラクター造形基礎1 キャラクター造形基礎2	デッサン1 デッサン2 絵画技法1 絵画技法2
2年次	さらなる画力の向上とともに、個性的な画風づくりをみにつける。また、共通専門科目では、マンガを学ぶうえで基礎となる、知識や教養を学ぶ講義系科目や画力の向上を促す実技系科目を履修する。	メディア産業論(※) メディア文化論(※) 海外コミック論 比較マンガ論 日本アニメーション史 世界アニメーション史 新世代マンガ総合講座	デジタル演習1 デジタル演習2 パース技法 基礎デッサン1 基礎デッサン2 イラスト講座	クロッキー1 クロッキー2 風刺画1 風刺画2
3年次	希望する領域毎にわかれてゼミ形式で様々な表現技法を学びながら、専門的な課題作品の制作に取り組む。また多様な共通専門科目の履修を通じてコース・学科を超えた教員および学生間の交流を促し、多様な価値観に触れ、表現の幅を広げていく。		アニメーション3DCG演習1 アニメーション3DCG演習2 アニメーション演習1 アニメーション演習2 アニメーション創作実習1 アニメーション創作実習2 絵本技法1／絵本技法2 シナリオ技法1／シナリオ技法2 コラボレーション演習1 コラボレーション演習2 実用マンガ演習 編集実践演習 ゲーム作画演習1 ゲーム作画演習2	カートゥーン1 カートゥーン2
4年次	4年間の学びの集大成である卒業制作に取り組む。			自由制作 卒業制作実習 卒業制作

(※) 必修科目

マンガ学部 マンガ学科 カートゥーンコース
専門教育科目 科目一覧

科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
						1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
						1	2	1	2	3	1	2
MCT40011	デッサン1	必修	実習	3	1		●		●			
MCT40021	デッサン2	必修	実習	3	1		●		●			
MCT40111	絵画技法1	必修	実習	3	1		●		●			
MCT40121	絵画技法2	必修	実習	3	1		●		●			
MCT40412	クロッキー1	必修	実習	3	2	●	●					
MCT40422	クロッキー2	必修	実習	3	2	●	●					
MCT40512	風刺画1	必修	実習	3	2	●	●		●			
MCT40522	風刺画2	必修	実習	3	2	●	●		●			
MCT40613	カートゥーン1	必修	実習	3	3		●		●			
MCT40623	カートゥーン2	必修	実習	3	3		●		●	●		
MCT40714	自由制作	必修	実習	3	4			●	●	●	●	●
MCT49014	卒業制作実習	必修	実習	6	4			●	●	●	●	●
MCT90014	卒業制作	必修	成果評定	3	4			●	●	●		

マンガ学部 マンガ学科

ストーリーマンガコース

ストーリーマンガコース 卒業要件

〔全学共通教育科目(44単位以上)〕+〔学部専門教育科目(80単位以上)〕=124単位以上

科目区分		必修科目					必修科目以外		卒業に要する単位(計)	
		進級要件	科目名称			卒業に要する単位	卒業に要する単位	備考		
全学共通教育科目	全学教養科目	大学入門	1年	2単位	2単位	22単位以上	必修の「大学入門」・「ことば演習」・「英語1」・「英語2」に加え、22単位以上を修得する必要がある。	30単位以上		
		ことば演習	1年	2単位	6単位					
		英語1(※1)	1年	2単位						
		英語2(※1)	1年	2単位						
	全学専門科目					14単位以上		14単位以上		
学部専門教育科目	学部共通専門教育科目	基礎デジタル演習1(※2)	1～4年	2単位	12単位	20単位以上	学部共通専門教育科目(講義系・実技系)のうちから、左記必修科目に加え、20単位以上を修得する必要がある。	80単位以上	卒業に要する単位 124単位以上	
		基礎デジタル演習2(※2)	1～4年	2単位						
		マンガ表現史1(※3)	1～4年	2単位						
		マンガ表現史2(※3)	1～4年	2単位						
		脚本概論1(※2)	1～4年	2単位						
		脚本概論2(※2)	1～4年	2単位						
	コース専門教育科目	○マンガデッサン1	1年	3単位	45単位					
		○マンガデッサン2	1年	3単位						
		○絵画技法1	1年	3単位						
		○絵画技法2	1年	3単位						
		○表現技法1	2年	3単位						
		○表現技法2	2年	3単位						
		○脚本実習1	2年	3単位						
		○脚本実習2	2年	3単位						
		○表現技法3	3年	3単位						
		○表現技法4	3年	3単位						
		○脚本実習3	3年	3単位						
		○脚本実習4	3年	3単位						
		自由制作	4年	3単位						
		卒業制作実習	4年	6単位						
		卒業制作	4年	3単位						3単位

【留意事項】

(※1)留学生は、「日本語1」(2単位)、「日本語2」(2単位)の2科目4単位を必修とする。ただし、日本語担当教員との相談によっては、母語以外の他の外国語科目を履修することができる。

(※2)「基礎デジタル演習1・2」「脚本概論1・2」は1年次での履修が望ましい。

(※3)「マンガ表現史1・2」は1年次もしくは2年次での履修が望ましい。

【進級要件】

- 1年次から2年次:上表に定める必修の実習・演習科目の単位をすべて修得すること。
- 2年次から3年次:上表に定める必修の実習・演習科目の単位をすべて修得すること。
- 3年次から4年次:上表に定める必修の実習・演習科目の単位をすべて修得すること。

ストーリーマンガコース カリキュラムマップ

		科目区分		
教育課程の目標		共通専門教育科目(講義系) (選択)	共通専門教育科目(実技系) (選択)	コース専門教育科目 (必修/選択)
1年次	マンガ制作の基礎となる効果線や動線描写の訓練、骨格や筋肉を把握したうえでの人物の描き方などを学ぶ。また、共通科目では、マンガを学ぶうえで基礎となる、知識や教養を学ぶ講義系科目、デジタルの基礎技術を学ぶ科目を履修する。	マンガ表現史1(※) マンガ表現史2(※) 脚本概論1(※) 脚本概論2(※) 風刺画論 物語キャラクター論 キャラクター造形論1 キャラクター造形論2 編集概論1 編集概論2 マンガ業界論 アニメーション作品作家研究1 アニメーション作品作家研究2	基礎デジタル演習1(※) 基礎デジタル演習2(※) 動態描写技法1 動態描写技法2 マンガデザイン1 マンガデザイン2 キャラクター造形基礎1 キャラクター造形基礎2	マンガデッサン1 マンガデッサン2 絵画技法1 絵画技法2
2年次	さらなる画力の向上とともに、ストーリーをネームに変えていく能力を身につける。また、共通専門科目では、マンガを学ぶうえで基礎となる、知識や教養を学ぶ講義系科目や画力の向上を促す実技系科目を履修する。	メディア産業論 メディア文化論 海外コミック論 比較マンガ論 日本アニメーション史 世界アニメーション史 新世代マンガ総合講座	デジタル演習1 デジタル演習2 パース技法 基礎デッサン1 基礎デッサン2 イラスト講座	表現技法1 表現技法2 脚本実習1 脚本実習2 カラー実習1(選択) カラー実習2(選択)
3年次	希望する領域毎にわかれてゼミ形式で様々な表現技法を学びながら、専門的な課題作品の制作に取り組む。また多様な共通専門科目の履修を通じてコース・学科を超えた教員および学生間の交流を促し、多様な価値観に触れ、表現の幅を広げていく。		アニメーション3DCG演習1 アニメーション3DCG演習2 アニメーション演習1 アニメーション演習2 アニメーション創作実習1 アニメーション創作実習2 絵本技法1/絵本技法2 シナリオ技法1/シナリオ技法2 コラボレーション演習1 コラボレーション演習2 実用マンガ演習 編集実践演習 ゲーム作画演習1 ゲーム作画演習2	表現技法3 表現技法4 脚本実習3 脚本実習4 マンガ制作実務演習(選択) マンガ制作実務研修(選択)
4年次	4年間の学びの集大成である卒業制作に取り組む。			自由制作 卒業制作実習 卒業制作

(※) 必修科目

マンガ学部 マンガ学科 ストーリーマンガコース
専門教育科目 科目一覧

科目 ナンバリング コード	科 目 名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
						1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
						1	2	1	2	3	1	2
MSM40011	マンガデッサン1	必修	実習	3	1		●		●			
MSM40021	マンガデッサン2	必修	実習	3	1		●		●			
MSM40111	絵画技法1	必修	実習	3	1		●		●			
MSM40121	絵画技法2	必修	実習	3	1		●		●			
MSM40512	表現技法1	必修	実習	3	2		●	●	●			
MSM40522	表現技法2	必修	実習	3	2		●	●	●			
MSM40412	脚本実習1	必修	実習	3	2		●	●	●			
MSM40422	脚本実習2	必修	実習	3	2		●	●	●			
MSM45112	カラー実習1	選択	実習	3	2・3・4	●	●					
MSM45122	カラー実習2	選択	実習	3	2・3・4	●	●					
MSM40533	表現技法3	必修	実習	3	3			●	●	●		
MSM40543	表現技法4	必修	実習	3	3			●	●	●		
MSM40433	脚本実習3	必修	実習	3	3			●		●	●	
MSM40443	脚本実習4	必修	実習	3	3			●		●	●	
MSM45013	マンガ制作実務演習	選択	演習	2	3		●					
MSM45023	マンガ制作実務研修	選択	演習	2	3		●					
MSM40714	自由制作	必修	実習	3	4			●	●	●	●	●
MSM49014	卒業制作実習	必修	実習	6	4			●	●	●	●	●
MSM90014	卒業制作	必修	成果評価	3	4			●	●	●		

マンガ学部 マンガ学科

キャラクターデザインコース

キャラクターデザインコース 卒業要件

〔全学共通教育科目(44単位以上)〕+〔学部専門教育科目(80単位以上)〕=124単位以上

科目区分		必修科目					必修科目以外		卒業に要する 単位(計)	
		進級 要件	科目名称			卒業に要する 単位	卒業に要する 単位	備考		
全学 共通 教育 科目	全学教養科目	大学入門	1年	2単位	2単位	22単位 以上	必修の「大学入門」・「ことば演習」・「英語1」・「英語2」に加え、22単位以上を修得する必要がある。	30 単位 以上		
		ことば演習	1年	2単位	6単位					
		英語1（※1）	1年	2単位						
		英語2（※1）	1年	2単位						
	全学専門科目					14単位 以上	14単位 以上			
学部 専門 教育 科目	学部共通 専門教育科目	基礎デジタル演習1（※2）	1～4年	2単位	12単位	26単位 以上	学部共通専門教育科目（講義系・実技系）のうちから、左記必修科目に加え、26単位以上を修得する必要がある。	80 単位 以上		
		基礎デジタル演習2（※2）	1～4年	2単位						
		マンガ表現史1（※3）	1～4年	2単位						
		マンガ表現史2（※3）	1～4年	2単位						
		キャラクター造形論1（※2）	1～4年	2単位						
		キャラクター造形論2（※2）	1～4年	2単位						
	コース 専門教育科目	○ デザイン1	1年	3単位	39単位					
		○ デザイン2	1年	3単位						
		○ 絵画技法1	1年	3単位						
		○ 絵画技法2	1年	3単位						
		○ 表現技法1	2年	3単位						
		○ 表現技法2	2年	3単位						
		○ キャラクター造形実習1	2年	3単位						
		○ キャラクター造形実習2	2年	3単位						
		○ キャラクター造形実習3	3年	3単位						
		○ キャラクター造形実習4	3年	3単位						
		自由制作	4年	3単位						
		卒業制作実習	4年	6単位					3単位	
		卒業制作	4年	3単位						

卒業に要する単位
124単位以上

【留意事項】

(※1)留学生は、「日本語1」(2単位)、「日本語2」(2単位)の2科目4単位を必修とする。ただし、日本語担当教員との相談によっては、母語以外の他の外国語科目を履修することができる。

(※2)「基礎デジタル演習1・2」「キャラクター造形論1・2」は1年次での履修が望ましい。

(※3)「マンガ表現史1・2」は1年次もしくは2年次での履修が望ましい。

【進級要件】

- 1年次から2年次:上表に定める必修の実習・演習科目の単位をすべて修得すること。
- 2年次から3年次:上表に定める必修の実習・演習科目の単位をすべて修得すること。
- 3年次から4年次:上表に定める必修の実習・演習科目の単位をすべて修得すること。

キャラクターデザインコース カリキュラムマップ

		科目区分		
教育課程の目標		共通専門教育科目(講義系) (選択)	共通専門教育科目(実技系) (選択)	コース専門教育科目 (必修)
1年次	デジタル作画技術の基礎を学ぶとともに、討論や対話を通じて、アイデアの見つけ方や発想力を向上させる方法を学ぶ。また、共通科目では、マンガを学ぶうえで基礎となる、知識や教養を学ぶ講義系科目、デジタルの基礎技術を学ぶ科目を履修する。	マンガ表現史1(※) マンガ表現史2(※) キャラクター造形論1(※) キャラクター造形論2(※) 脚本概論1 脚本概論2 風刺画論 物語キャラクター論 編集概論1 編集概論2 マンガ業界論 アニメーション作品作家研究1 アニメーション作品作家研究2	基礎デジタル演習1(※) 基礎デジタル演習2(※) 動態描写技法1 動態描写技法2 マンガデザイン1 マンガデザイン2 キャラクター造形基礎1 キャラクター造形基礎2	デザイン1 デザイン2 絵画技法1 絵画技法2
2年次	さらなる画力の向上とともに、多彩な絵柄を描く力、アイデアを生み出す技術を向上し、応用力を身につける。また、共通専門科目では、マンガを学ぶうえで基礎となる、知識や教養を学ぶ講義系科目や画力の向上を促す実技系科目を履修する。	メディア産業論 メディア文化論 海外コミック論 比較マンガ論 日本アニメーション史 世界アニメーション史 新世代マンガ総合講座	デジタル演習1 デジタル演習2 パース技法 基礎デッサン1 基礎デッサン2 イラスト講座	表現技法1 表現技法2 キャラクター造形実習1 キャラクター造形実習2
3年次	希望する領域毎にわかれてゼミ形式で様々な表現技法を学びながら、専門的な課題作品の制作に取り組む。また多様な共通専門科目の履修を通じてコース・学科を超えた教員および学生間の交流を促し、多様な価値観に触れ、表現の幅を広げていく。		アニメーション3DCG演習1 アニメーション3DCG演習2 アニメーション演習1 アニメーション演習2 アニメーション創作実習1 アニメーション創作実習2 絵本技法1／絵本技法2 シナリオ技法1／シナリオ技法2 コラボレーション演習1 コラボレーション演習2 実用マンガ演習 編集実践演習 ゲーム作画演習1 ゲーム作画演習2	キャラクター造形実習3 キャラクター造形実習4
4年次	4年間の学びの集大成である卒業制作に取り組む。			自由制作 卒業制作実習 卒業制作

(※) 必修科目

マンガ学部 マンガ学科 キャラクターデザインコース
専門教育科目 科目一覧

科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
						1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
						1	2	1	2	3	1	2
MCD40111	絵画技法1	必修	実習	3	1		●		●			
MCD40121	絵画技法2	必修	実習	3	1		●		●			
MCD40211	デザイン1	必修	実習	3	1		●		●			
MCD40221	デザイン2	必修	実習	3	1		●		●			
MCD40312	表現技法1	必修	実習	3	2		●	●	●			
MCD40322	表現技法2	必修	実習	3	2		●	●	●			
MCD40412	キャラクター造形実習1	必修	実習	3	2				●		●	
MCD40422	キャラクター造形実習2	必修	実習	3	2		●		●	●		
MCD40433	キャラクター造形実習3	必修	実習	3	3				●	●		
MCD40443	キャラクター造形実習4	必修	実習	3	3				●	●		
MCD40714	自由制作	必修	実習	3	4			●	●	●	●	●
MCD49014	卒業制作実習	必修	実習	6	4			●	●	●	●	●
MCD90014	卒業制作	必修	成果評定	3	4			●	●	●		

新世代マンガコース

新世代マンガコース 卒業要件

〔全学共通教育科目(44単位以上)〕+〔学部専門教育科目(80単位以上)〕=124単位以上

科目区分		必修科目					必修科目以外			卒業に要する 単位(計)	
		進級 要件	科目名称			卒業に要する 単位		卒業に要する 単位	備考		
全学 共通 教育 科目	全学教養科目		大学入門	1年	2単位	2単位		22単位 以上	必修の「大学入門」・「ことば 演習」・「英語1」・「英語2」 に加え、22単位以上を修得 する必要がある。	30 単位 以上	
			ことば演習	1年	2単位	6単位					
			英語1 (※1)	1年	2単位						
			英語2 (※1)	1年	2単位						
	全学専門科目						14単位 以上		14単位 以上		
学部 専門 教育 科目	学部共通 専門教育科目		基礎デジタル演習1 (※2)	1～4年	2単位	12単位	26単位 以上	学部共通専門教育科目(講 義系・実技系)のうちから、左 記必修科目に加え、26単位 以上を修得する必要がある。	80 単位 以上	卒業に要する単位 124 単位以上	
			基礎デジタル演習2 (※2)	1～4年	2単位						
			マンガ表現史1 (※2)	1～4年	2単位						
			マンガ表現史2 (※2)	1～4年	2単位						
			マンガ業界論 (※2)	1～4年	2単位						
			新世代マンガ総合講座 (※3)	2～4年	2単位						
	コース 専門教育科目		○ ネームドリル実習1	1年	3単位	39単位					
			○ ネームドリル実習2	1年	3単位						
			○ 絵画技法1	1年	3単位						
			○ 絵画技法2	1年	3単位						
			○ 脚本実習1	2年	3単位						
			○ 脚本実習2	2年	3単位						
			○ 制作実習1	2年	3単位						
			○ 制作実習2	2年	3単位						
			○ 表現技法1	3年	3単位						
			○ 表現技法2	3年	3単位						
			自由制作	4年	3単位						
			卒業制作実習	4年	6単位						
			卒業制作	4年	3単位	3単位					

【注意事項】
(※1) 留学生は、「日本語1」(2単位)、「日本語2」(2単位)の2科目4単位を必修とする。ただし、日本語担当教員との相談によっては、母語以外の他の外国語科目を履修することができる。
(※2) 「基礎デジタル演習1・2」「マンガ表現史1・2」「マンガ業界論」は1年次での履修が望ましい。
(※3) 「新世代マンガ総合講座」は2年次での履修が望ましい。

【進級要件】
● 1年次から2年次: 上表に定める必修の実習・演習科目の単位をすべて修得すること。
● 2年次から3年次: 上表に定める必修の実習・演習科目の単位をすべて修得すること。
● 3年次から4年次: 上表に定める必修の実習・演習科目の単位をすべて修得すること。

新世代マンガコース カリキュラムマップ

		科目区分		
教育課程の目標		共通専門教育科目〈講義系〉 (選択)	共通専門教育科目〈実技系〉 (選択)	コース専門教育科目 (必修)
1年次	マンガを描くうえで基本となる、ペン技法など作画技術やストーリー作りの基本を学ぶ。デジタル作画技術の基本もあわせて習得する。また、共通科目では、マンガを学ぶうえで基礎となる、知識や教養を学ぶ講義系科目、デジタルの基礎技術を学ぶ科目を履修する。	マンガ表現史1(※) マンガ表現史2(※) 脚本概論1 脚本概論2 風刺画論 物語キャラクター論 キャラクター造形論1 キャラクター造形論2 編集概論1 編集概論2 マンガ業界論(※) アニメーション作品作家研究1 アニメーション作品作家研究2	基礎デジタル演習1(※) 基礎デジタル演習2(※) 動態描写技法1 動態描写技法2 マンガデザイン1 マンガデザイン2 キャラクター造形基礎1 キャラクター造形基礎2	絵画技法1 絵画技法2 ネームドリル実習1 ネームドリル実習2
2年次	デジタルコミックを包括するマンガの企画制作ができるようになる。デジタル作画技術のスキルアップをはかる。また、共通専門科目では、マンガを学ぶうえで基礎となる、知識や教養を学ぶ講義系科目や画力の向上を促す実技系科目を履修する。	メディア産業論 メディア文化論 海外コミック論 比較マンガ論 日本アニメーション史 世界アニメーション史 新世代マンガ総合講座(※)	デジタル演習1 デジタル演習2 パース技法 基礎デッサン1 基礎デッサン2 イラスト講座	脚本実習1 脚本実習2 制作実習1 制作実習2
3年次	クラス別の授業を履修し、取材力、発想力、企画力、技術力、表現力、プレゼンテーション力を鍛える。ネット・デジタル向けのコミックを作成しセルフパブリッシュからマネタイズまでの全行程を独力でできるようになる。また多様な共通専門科目の履修を通じてコース・学科を超えた教員および学生間の交流を促し、多様な価値観に触れ、表現の幅を広げていく。		アニメーション3DCG演習1 アニメーション3DCG演習2 アニメーション演習1 アニメーション演習2 アニメーション創作実習1 アニメーション創作実習2 絵本技法1／絵本技法2 シナリオ技法1／シナリオ技法2 コラボレーション演習1 コラボレーション演習2 実用マンガ演習 編集実践演習 ゲーム作画演習1 ゲーム作画演習2	表現技法1 表現技法2
4年次	4年間の学びの集大成である卒業制作に取り組む。			自由制作 卒業制作実習 卒業制作

(※) 必修科目

マンガ学部 マンガ学科 新世代マンガコース
専門教育科目 科目一覧

科目 ナンバリング コード	科 目 名	必修/ 選択	授業 形態	単 位 数	配 当 年 次	ディプロマ・ポリシーとの相 関						
						1 知 識・理 解・技 能		2 思 考・判 断・表 現			3 関 心・意 欲・態 度	
						1	2	1	2	3	1	2
MNG40011	絵画技法1	必修	実習	3	1		●		●			
MNG40021	絵画技法2	必修	実習	3	1		●		●			
MNG40111	ネームドリル実習1	必修	実習	3	1		●		●			
MNG40121	ネームドリル実習2	必修	実習	3	1		●		●			
MNG40212	脚本実習1	必修	実習	3	2		●	●	●			
MNG40222	脚本実習2	必修	実習	3	2		●	●	●			
MNG40312	制作実習1	必修	実習	3	2		●		●			
MNG40322	制作実習2	必修	実習	3	2		●		●			
MNG40413	表現技法1	必修	実習	3	2		●	●	●			
MNG40423	表現技法2	必修	実習	3	2		●	●	●			
MNG40714	自由制作	必修	実習	3	4			●	●	●	●	●
MNG49014	卒業制作実習	必修	実習	6	4			●	●	●	●	●
MNG90014	卒業制作	必修	成果評定	3	4			●	●	●		

マンガ学部 アニメーション学科

アニメーションコース

アニメーションコース 卒業要件

〔全学共通教育科目(44単位以上)〕+〔学部専門教育科目(80単位以上)〕=124単位以上

科目区分		必修科目					選択必修科目					必修・選択必修科目以外		卒業に要する 単位(計)		
		進級 要件	科目名称		卒業に要する 単位		進級 要件	科目名称		卒業に要する 単位		卒業に 要する 単位	備考			
全学 共通 教育 科目	全学 教養科目		大学入門	1年	2単位	2単位						22単位 以上	必修の「大学 入門」・「ことば 演習」・「英語 1」・「英語2」に 加え、22単位 以上を修得する 必要がある。	30 単位 以上		
			ことば演習	1年	2単位											
			英語1 (※1)	1年	2単位	6単位										
			英語2 (※1)	1年	2単位											
	全学 専門科目											14単位 以上		14単位 以上		
学部 専門 教育 科目	コース専門 選択科目 ／ 学部共通 専門 教育科目											26単位 以上	コース専門選 択科目、学部 共通専門教育 科目(講義系・ 実技系)のうち から、26単位 以上を修得する 必要がある。	卒業に要する単位 124 単位 以上	80 単位 以上	
	コース 専門 教育 科目		○ アニメーションモーション基礎演習1	1年	2単位	38単位		○ アニメーション創作実習1	3年	3単位	12単位 以上					
			○ アニメーションモーション基礎演習2	1年	2単位			○ アニメーション創作実習2	3年	3単位						
			○ アニメーション基礎研究1	1年	2単位			○ ポストプロダクション実習1	3年	3単位						
			○ アニメーション基礎研究2	1年	2単位			○ ポストプロダクション実習2	3年	3単位						
			○ アニメーション造形基礎実習1	1年	3単位			○ アニメーション造形実践実習1	3年	3単位						
			○ アニメーション造形基礎実習2	1年	3単位			○ アニメーション造形実践実習2	3年	3単位						
			○ アニメーションCG演習1	1年	2単位			○ アニメーションCG実習1	3年	3単位						
			○ アニメーションCG演習2	1年	2単位			○ アニメーションCG実習2	3年	3単位						
			○ アニメーション演出論1	2年	2単位											
			○ アニメーション演出論2	2年	2単位											
			○ アニメーション分析演習1	2年	2単位											
			○ アニメーション分析演習2	2年	2単位											
			自由制作	4年	6単位											
			卒業制作実習	4年	6単位											
	卒業制作	4年	4単位	4単位												

【留意事項】

(※1) 留学生は、「日本語1」(2単位)、「日本語2」(2単位)の2科目4単位を必修とする。ただし、日本語担当教員との相談によっては、母語以外の他の外国語科目を履修することができる。

【進級要件(2017～2019年度入学生)】

- 1年次から2年次:上表に定める必修の実習・演習科目において、通年で6科目以上の単位を修得すること。
- 2年次から3年次:上表に定める1年次から2年次の必修の実習・演習科目において、2年間で10科目以上の単位を修得すること。
- 3年次から4年次:上表に定める選択必修の実習・演習科目において、4科目以上の単位を修得すること。

【進級要件(2020年度入学生)】

- 1年次から2年次:上表に定める必修の実習・演習科目において、通年で6科目以上の単位を修得すること。
- 2年次から3年次:上表に定める1年次から2年次の必修の実習・演習科目において、2年間で10科目以上の単位を修得すること。
- 3年次から4年次:上表に定める1年次から2年次の必修の実習・演習科目のすべての単位および3年次の選択必修の実習・演習科目において2科目以上の単位を修得すること。

アニメーションコース カリキュラムマップ

		科目区分			
教育課程の目標		共通専門教育科目 〈講義系〉 (選択)	共通専門教育科目 〈実技系〉 (選択)	アニメーション学科 専門教育科目 (選択)	アニメーション学科 専門教育科目 (必修)
1年次	アニメーションの基本構造を理解し、作画の反復訓練を通じて画力と構想力を身につける。また、講義系科目において、アニメーションを学ぶうえで基礎となる、知識や教養を学ぶ。	マンガ表現史1 マンガ表現史12 脚本概論1／脚本概論2 風刺画論 物語キャラクター論 キャラクター造形論1 キャラクター造形論2 編集概論1／編集概論2 マンガ業界論 アニメーション 作品作家研究1 アニメーション 作品作家研究2	動態描写技法1 動態描写技法2	アクションドローイング 基礎1 アクションドローイング 基礎2	アニメーションモーション 基礎演習1 アニメーションモーション 基礎演習2 アニメーション基礎研究1 アニメーション基礎研究2 アニメーション造形 基礎実習1 アニメーション造形 基礎実習2 アニメーション CG演習1 アニメーション CG演習2
2年次	アニメーションの「動き」が持つ表現力の深さを理解する。そのうえで、アニメーションの技法を支える絵画表現では基本造形からデフォルメへ、CGでは基本テクニックの習得から自己の表現を探究する。	メディア産業論 メディア文化論 海外コミック論 比較マンガ論 日本アニメーション史 世界アニメーション史 新世代マンガ総合講座	パース技法 イラスト講座	アニメーション 造形表現実習1 アニメーション 造形表現実習2 アニメーション 3DCG演習1 アニメーション 3DCG演習2 ストップモーション アニメーション実習1 ストップモーション アニメーション実習2 アニメーション音響基礎1 アニメーション音響基礎2 アクションドローイング1 アクションドローイング2 シナリオ論1／シナリオ論2	アニメーション演出論1 アニメーション演出論2 アニメーション 分析演習1 アニメーション 分析演習2
3年次	これまでの学習成果をもとに自身の適性を見極め、卒業制作の準備に取り組む。前期で作品制作のモチーフやアイデアを検討し、後期は前期の成果を企画書に練り上げる。		絵本技法1 絵本技法2 シナリオ技法1 シナリオ技法2 コラボレーション演習1 コラボレーション演習2 実用マンガ演習 編集実践演習 ゲーム作画演習1 ゲーム作画演習2	応用作画演習1 応用作画演習2 エフェクト技法1 エフェクト技法2 アニメーション演出論3 アニメーション演出論4	アニメーション創作実習1(※) アニメーション創作実習2(※) ポストプロダクション 実習1(※) ポストプロダクション 実習2(※) アニメーション 造形実践実習1(※) アニメーション 造形実践実習2(※) アニメーションCG実習1(※) アニメーションCG実習2(※) *上記科目から4科目 (12単位)以上取得すること。
4年次	4年間の学びの集大成である卒業制作に取り組む。				自由制作 卒業制作実習 卒業制作

(※) 選択必修科目

マンガ学部 アニメーション学科 アニメーションコース

専門教育科目 科目一覧

科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
						1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
						1	2	1	2	3	1	2
MAN30011	アニメーション基礎研究1	必修	演習	2	1	●	●	●			●	
MAN30021	アニメーション基礎研究2	必修	演習	2	1	●	●	●			●	
MAN40011	アニメーションモーション基礎演習1	必修	演習	2	1		●					
MAN40021	アニメーションモーション基礎演習2	必修	演習	2	1		●					
MAN40111	アニメーション造形基礎実習1	必修	実習	3	1		●					
MAN40121	アニメーション造形基礎実習2	必修	実習	3	1		●					
MAN40211	アニメーションCG演習1	必修	演習	2	1		●					
MAN40221	アニメーションCG演習2	必修	演習	2	1		●					
MAN41011	アクションドローイング基礎1	選択	演習	2	1・2・3・4	●	●					
MAN41021	アクションドローイング基礎2	選択	演習	2	1・2・3・4	●	●					
MAN30112	アニメーション演出論1	必修	講義	2	2	●	●	●	●	●		
MAN30122	アニメーション演出論2	必修	講義	2	2	●	●	●	●	●		
MAN40312	アニメーション分析演習1	必修	演習	2	2	●		●	●	●	●	
MAN40322	アニメーション分析演習2	必修	演習	2	2	●		●	●	●	●	
MAN40232	アニメーション3DCG演習1	選択	演習	2	2		●		●			
MAN40242	アニメーション3DCG演習2	選択	演習	2	2		●		●			
MAN41112	アニメーション造形表現実習1	選択	実習	3	2		●	●	●			
MAN41122	アニメーション造形表現実習2	選択	実習	3	2		●	●	●			
MAN41212	ストップモーションアニメーション実習1	選択	実習	3	2		●					
MAN41222	ストップモーションアニメーション実習2	選択	実習	3	2		●					
MAN41312	アニメーション音響基礎1	選択	演習	2	2		●		●			
MAN41323	アニメーション音響基礎2	選択	演習	2	2		●		●			
MAN30513	シナリオ論1	選択	演習	2	2・3・4		●		●			
MAN30523	シナリオ論2	選択	演習	2	2・3・4		●		●			
MAN41512	アクションドローイング1	選択	演習	2	2・3・4	●	●					
MAN41522	アクションドローイング2	選択	演習	2	2・3・4	●	●					
MAN40514	ポストプロダクション実習1	選択必修	実習	3	3		●	●	●	●	●	
MAN40524	ポストプロダクション実習2	選択必修	実習	3	3		●	●	●	●	●	
MAN41613	アニメーション造形実践実習1	選択必修	実習	3	3		●		●		●	
MAN41623	アニメーション造形実践実習2	選択必修	実習	3	3		●		●		●	
MAN41713	アニメーションCG実習1	選択必修	実習	3	3		●		●			
MAN41723	アニメーションCG実習2	選択必修	実習	3	3		●		●			
MAN41813	アニメーション創作実習1	選択必修	実習	3	3		●		●		●	
MAN41823	アニメーション創作実習2	選択必修	実習	3	3		●		●		●	
MAN30133	アニメーション演出論3	選択必修	演習	2	3		●		●	●		●
MAN30143	アニメーション演出論4	選択必修	演習	2	3		●		●	●		●

科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単 位 数	配 当 年 次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
						1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
						1	2	1	2	3	1	2
MAN30613	エフェクト技法1	選択	演習	2	3		●					
MAN30623	エフェクト技法2	選択	演習	2	3		●					
MAN41533	応用作画演習1	選択	演習	2	3・4	●	●		●	●		
MAN41543	応用作画演習2	選択	演習	2	3・4	●	●		●	●		
MAN40714	自由制作	必修	実習	6	4			●	●	●	●	●
MAN49014	卒業制作実習	必修	実習	6	4			●	●	●	●	●
MAN90014	卒業制作	必修	成果評定	4	4			●	●	●		

ポピュラーカルチャー学部

ポピュラーカルチャー学科 音楽コース／ファッションコース

ディプロマ・ポリシーとカリキュラム構造

学部の教育目標

- ポピュラーカルチャー学部は、国際的に注目されるポピュラーカルチャー領域において、豊かな人間性を育む文化表現を通して、次世代の産業界の発展に貢献する資質を備えた、よりよき社会人としての人間形成を行います。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

DP1	DP2	DP3
1.多様性を理解する力 文化の多様性および文化と自然、人間、社会、個人の関係性を理解し、新しい価値を生み出すための知識や技能を身につけている	1.論理的に思考し判断する力 現状を批判的に捉える思考力と、社会の中で公正にふるまう判断力を身につけ、適切な課題設定と課題解決の方向を示すことができる	1.他者と協働する力 多様な他者とその差異を理解し受け止めながら、様々な場面とともに協働できる
2.専門知を活用する力 ポピュラーカルチャー分野全般および音楽とファッションに関する知識・技能を体系的に理解し、その分野に固有の視座や思考方法を身につけている	2.考えを表現する力 ポピュラーカルチャーおよび音楽とファッションの歴史性と掘り解しを理解し、ポピュラーカルチャーに関わる社会的意味と主体的感性・思想を表現できる	2.社会と他者に貢献する力 ポピュラーカルチャーおよび音楽とファッションに関して獲得した知識・技能を用いて、社会や他者との課題を設定し、解決する姿勢を身につけている
3.多様な人とコミュニケーションする力 音楽とファッションを巡って、社会的・文化的背景と文脈を理解しながら、多様な人々と公正にコミュニケーションできる		

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

ポピュラーカルチャー学部は、学位授与の方針に掲げる知識・技能などを修得させるために、全学教養科目、全学専門科目、学部専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目のナンバリングおよびカリキュラム・マップにより、カリキュラムの体系をわかりやすく明示します。

ポピュラーカルチャー学部専門科目の教育内容、教育方法、評価について以下のように定めます。

1 教育内容

学部専門科目では、1年次には音楽とファッションに向き合うために必要な基礎能力を身につける基礎実習・基礎演習を開講します。2年次は自分の目指す方向とそのための知識と技能を見極めることができるよう、制作実習・制作演習を開講します。3年次からは選択した専攻別にプロジェクトを用意し、専門的知識を深め、専門的スキルを磨くことのできる応用実習・応用演習を開講します。最終年次には、卒業制作を課します。学生自身が実現したいプロジェクトを計画段階から作り上げるよう指導することで、表現を創出する力を養います。

2 教育方法

- (1) 学生の主体性を伸ばすため、能動的学修の視点を取り入れた教育方法を実施します。
- (2) 授業内・外の学修時間を考慮した授業内容を設計します。
- (3) 学修成果の可視化を通じて、学生の自律的な学修を支援します。

3 学修成果の評価

ポピュラーカルチャー学部では、学位授与の方針に掲げる能力・資質およびこれらの総合的な活用の修得状況を、「進級時」「卒業時」の2つのレベルで把握し、評価します。各レベルの評価の実施方法は、以下のとおりとします。

(1) 進級時

進級時の学修成果は、学部所定の教育課程における進級要件達成状況(単位取得、GPA)により、総合評価を行います。

(2) 卒業時

4年間の学修成果は、学部所定の教育課程における卒業要件達成状況(単位取得、GPA)により、総合評価を行います。卒業制作・卒業論文(必修)は、評価ルーブリックを活用し、複数教員によって多面的評価を行います。

カリキュラムマップ



ポピュラーカルチャー学部 卒業要件

〔全学共通教育科目(44単位以上)〕+〔学部専門教育科目(80単位以上)〕=124単位以上

科目区分		必修科目				選択必修科目				必修・選択必修科目以外		卒業に要する単位(計)		
		進級要件	科目名称	卒業に要する単位		進級要件	科目名称	卒業に要する単位		卒業に要する単位	備考			
全学共通教育科目	全学教養科目		大学入門	1年	2単位	2単位					22単位以上	必修の「大学入門」・「ことば演習」・「英語1」・「英語2」に加え、22単位以上を修得する必要がある。	30単位以上	
			ことば演習	1年	2単位									
			英語1（※1）	1年	2単位	6単位								
			英語2（※1）	1年	2単位									
	全学専門科目									14単位以上		14単位以上		
学部専門教育科目	専門講義科目		ポピュラーカルチャー原論	1年	2単位	38単位					36単位以上	左記必修科目および選択必修科目に加え、36単位以上を修得する必要がある。（※2） ただし、選択必修科目の要件を超えて単位修得した場合は、超過単位数を選択科目の単位とみなす。	80単位以上	
	専門演習科目													
	専門実習科目	○	基礎実習1	1年	3単位		○	応用実習1	3年	3単位				6単位以上
		○	基礎実習2	1年	3単位		○	応用実習2	3年	3単位				
		○	基礎実習3	1年	3単位		○	応用実習3	3年	3単位				
		○	基礎実習4	1年	3単位		○	応用実習4	3年	3単位				
		○	制作実習1	2年	3単位									
		○	制作実習2	2年	3単位									
		○	制作実習3	2年	3単位									
		○	制作実習4	2年	3単位									
			自由制作1	4年	3単位									
			自由制作2	4年	3単位									
			卒業制作1	4年	3単位									
			卒業制作2	4年	3単位									

【留意事項】

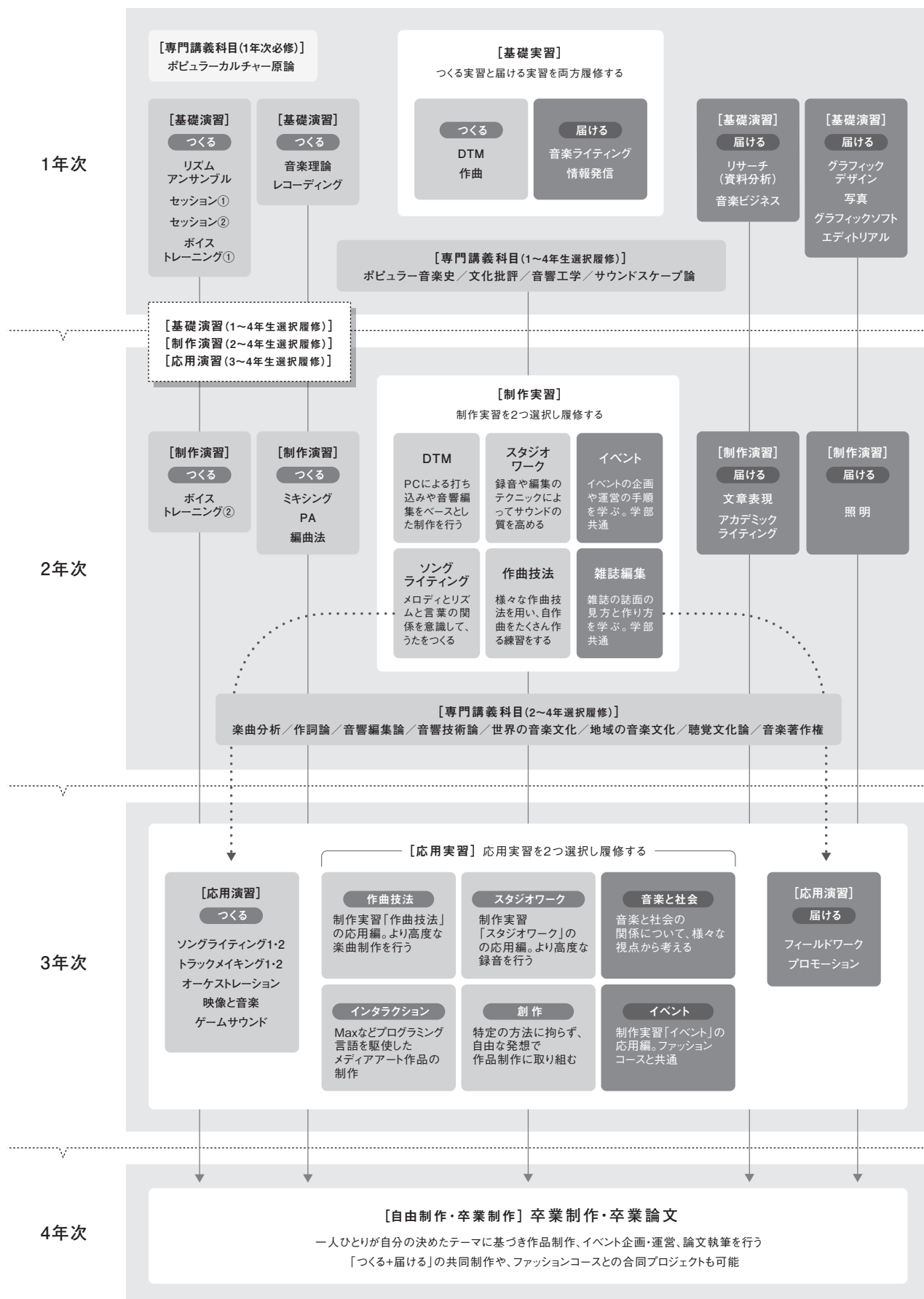
(※1) 留学生は、「日本語1」(2単位)、「日本語2」(2単位)の2科目4単位を必修とする。ただし、日本語担当教員との相談によっては、母語以外の他の外国語科目を履修することができる。
(※2) 学部専門教育科目／必修・選択必修科目以外の科目のうち、専門講義科目から8単位以上、専門演習科目から12単位以上を4年間で修得すること。

【進級要件】①1年次から2年次:上表に定める必修の専門実習科目の単位(基礎実習1～4:計12単位)をすべて修得すること。

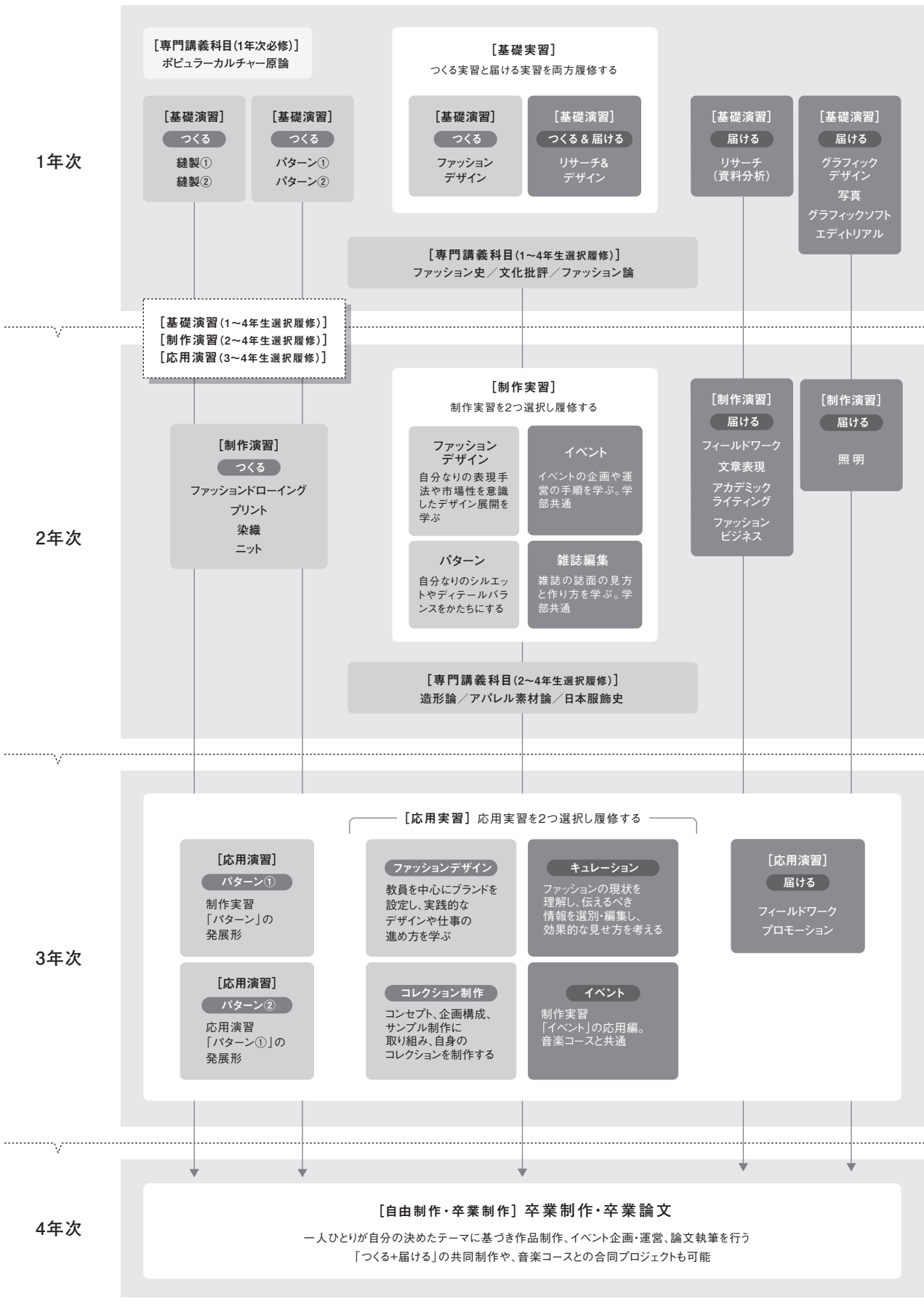
②2年次から3年次:上表に定める必修の専門実習科目の単位(制作実習1～4:計12単位)をすべて修得すること。

③3年次から4年次:上表に定める選択必修の専門実習科目(応用実習1～4:各3単位)より半期3単位以上、通年で6単位以上を修得すること。

ポピュラーカルチャー学部 音楽コース カリキュラムマップ



ポピュラーカルチャー学部 ファッションコース カリキュラムマップ



ポピュラーカルチャー学部 ポピュラーカルチャー学科
専門教育科目 科目一覧

専門講義科目

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
							1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現		3 関心・意欲・態度		
							1	2	1	2	3	1	2
専門講義科目	PGS30011	ポピュラーカルチャー原論	必修	講義	2	1	●	●	●				
	PGS31012	文化批評	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●				
	PGS30131	ポピュラー音楽史	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●				
	PGS32111	音響工学	選択	講義	2	1・2・3・4		●	●				
	PGS30151	ファッション史	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●				
	PGS30051	サウンドスケープ論	選択	講義	2	1・2・3・4	●	●	●				
	PGS30071	ファッション論	選択	講義	2	1・2・3・4		●	●				
	PGS32132	楽曲分析	選択	講義	2	2・3・4		●	●				
	PGS32152	世界の音楽文化	選択	講義	2	2・3・4		●	●				
	PGS32172	地域の音楽文化	選択	講義	2	2・3・4		●	●				
	PGS32252	造形論	選択	講義	2	2・3・4		●	●				
	PGS32272	アパレル素材論	選択	講義	2	2・3・4		●	●				
	PGS32192	音響編集論	選択	講義	2	2・3・4		●	●				
	PGS32032	音楽著作権	選択	講義	2	2・3・4		●	●				
	PGS32212	音響技術論	選択	講義	2	2・3・4		●	●				
	PGS30292	聴覚文化論	選択	講義	2	2・3・4		●	●				
	PGS32232	作詞論	選択	講義	2	2・3・4		●	●				
	PGS32292	日本服飾史	選択	講義	2	2・3・4		●	●				

専門演習科目

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
							1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
							1	2	1	2	3	1	2
専門 演習 科目	PGS42111	基礎演習 1	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	PGS42121	基礎演習 2	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	PGS42131	基礎演習 3	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	PGS42141	基礎演習 4	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	PGS42151	基礎演習 5	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	PGS42161	基礎演習 6	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	PGS42171	基礎演習 7	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	PGS42181	基礎演習 8	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	PGS42191	基礎演習 9	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	PGS42201	基礎演習 10	選択	演習	1	1・2・3・4		●		●		●	
	PGS42211	基礎演習 11	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	PGS42221	基礎演習 12	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	PGS42231	基礎演習 13	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	PGS42241	基礎演習 14	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	PGS42251	基礎演習 15	選択	演習	1	1・2・3・4		●		●		●	
	PGS42261	基礎演習 16	選択	演習	2	1・2・3・4		●		●		●	
	PGS42312	制作演習 1	選択	演習	2	2・3・4		●		●		●	
	PGS42322	制作演習 2	選択	演習	2	2・3・4		●		●		●	
	PGS42332	制作演習 3	選択	演習	2	2・3・4		●		●		●	
	PGS42342	制作演習 4	選択	演習	2	2・3・4		●		●		●	
	PGS42352	制作演習 5	選択	演習	2	2・3・4		●		●	●	●	●
	PGS42362	制作演習 6	選択	演習	2	2・3・4		●		●		●	
	PGS42372	制作演習 7	選択	演習	2	2・3・4		●		●		●	
	PGS42382	制作演習 8	選択	演習	2	2・3・4		●		●		●	
	PGS42392	制作演習 9	選択	演習	2	2・3・4		●		●		●	
	PGS42402	制作演習 10	選択	演習	2	2・3・4		●		●		●	
	PGS42412	制作演習 11	選択	演習	2	2・3・4		●		●		●	
	PGS42422	制作演習 12	選択	演習	1	2・3・4		●		●		●	
	PGS42513	応用演習 1	選択	演習	2	3・4				●	●	●	●
	PGS42523	応用演習 2	選択	演習	2	3・4				●		●	
	PGS42533	応用演習 3	選択	演習	2	3・4				●		●	
	PGS42543	応用演習 4	選択	演習	2	3・4				●		●	
	PGS42553	応用演習 5	選択	演習	2	3・4				●		●	
	PGS42563	応用演習 6	選択	演習	2	3・4				●		●	
	PGS42573	応用演習 7	選択	演習	2	3・4				●		●	
	PGS42583	応用演習 8	選択	演習	2	3・4				●		●	
PGS42593	応用演習 9	選択	演習	2	3・4				●	●	●	●	
PGS42603	応用演習 10	選択	演習	2	3・4				●	●	●	●	
PGS42613	応用演習 11	選択	演習	2	3・4				●		●		
PGS42623	応用演習 12	選択	演習	2	3・4				●		●		

専門実習科目

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
							1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
							1	2	1	2	3	1	2
専門実習科目	※各コース別コード	基礎実習 1	必修	実習	3	1	●	●			●	●	
	※各コース別コード	基礎実習 2	必修	実習	3	1	●	●				●	
	※各コース別コード	基礎実習 3	必修	実習	3	1	●	●			●	●	
	※各コース別コード	基礎実習 4	必修	実習	3	1	●	●				●	
	※各コース別コード	制作実習 1	必修	実習	3	2	●	●	●	●	●	●	
	※各コース別コード	制作実習 2	必修	実習	3	2	●	●	●	●	●	●	
	※各コース別コード	制作実習 3	必修	実習	3	2	●	●	●	●	●	●	
	※各コース別コード	制作実習 4	必修	実習	3	2	●	●	●	●	●	●	
	※各コース別コード	応用実習 1	選択必修	実習	3	3	●	●	●	●	●	●	●
	※各コース別コード	応用実習 2	選択必修	実習	3	3	●	●	●	●	●	●	●
	※各コース別コード	応用実習 3	選択必修	実習	3	3	●	●	●	●	●	●	●
	※各コース別コード	応用実習 4	選択必修	実習	3	3	●	●	●	●	●	●	●
	PGS40214	自由制作 1	必修	実習	3	4	●	●	●	●	●	●	●
	PGS40224	自由制作 2	必修	実習	3	4	●	●	●	●	●	●	●
	PGS40244	卒業制作 1	必修	実習	3	4	●	●	●	●	●	●	●
	PGS40254	卒業制作 2	必修	実習	3	4	●	●	●	●	●	●	●

人文学部 総合人文学科

文学専攻／歴史専攻／社会専攻

ディプロマ・ポリシーとカリキュラム構造

学部の教育目標

- ☐ 人文学部は、国際的な視野と体験を重視し、自立した思考力によって現実の社会と文化に貢献する資質を備えた、よりよき社会人としての人間形成を行います。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

DP1	DP2	DP3
1.多様性を理解する力 自文化の成り立ちや他文化との関係を多角的に捉え、世界が抱える諸課題を多角的に理解できる	1.論理的に思考し判断する力 学術調査・研究において、独創的な着眼点や新たな知見をもって、社会的課題に対する創造的な問いを立て、分析・考察し、解決できる	1.他者と協働する力 豊かな人間性を活かし、市民として他者と協働する姿勢を身につけている
2.専門知を活用する力 人文学分野に関する知識・技能を体系的に理解し、その分野に固有の視座や思考方法を身につけている	2.考えを表現する力 学術調査・研究の成果や自分の知見をまとめる論述能力を身につけている	2.社会と他者に貢献する力 実社会との結びつきを重視した実践力を活かして、現場が抱える様々な課題の解決に尽力できる
	3.多様な人とコミュニケーションする力 社会と文化の変遷を理解し、日本語や外国語を用いて、研究成果や自分の知見を分かりやすく伝達できる	

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

人文学部は、学位授与の方針に掲げる知識・技能などを修得させるために、全学教養科目、全学専門科目、学部専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目のナンバリングおよびカリキュラム・マップにより、カリキュラムの体系をわかりやすく明示します。

人文学部専門科目の教育内容、教育方法、評価について以下のように定めます。

1 教育内容

学部専門科目では、1年次には人文学の基本（学びを支える基盤的な知識、思考力）を習得するための、人文学基盤科目群を開講します。2年次以降は、専攻に分かれた専門研究科目群を開講し、当該分野の専門的知識を系統的に習得させます。さらに、1年次からコミュニケーション・プログラム、ソーシャルデザイン・プログラム、フィールド・プログラムからなる創造実践科目群を開講し、社会の課題を解決するための実践的な力を身につけさせます。最終年次には卒業論文の作成を課します。学生が自主的に課題を設定し、その研究計画を構想・実行するよう指導することで、人文学的教養と専門的学識を統合する豊かな論述能力を養います。

2 教育方法

- (1) 学生の主体性を伸ばすため、能動的学修の視点を取り入れた教育方法を実施します。
- (2) 授業内・外の学修時間を考慮した授業内容を設計します。
- (3) 学修成果の可視化を通じて、学生の自律的な学修を支援します。

3 学修成果の評価

人文学部では、学位授与の方針に掲げる能力・資質およびこれらの総合的な活用力の修得状況を、「進級時」「卒業時」の2つのレベルで把握し、評価します。各レベルの評価の実施方法は、以下のとおりとします。

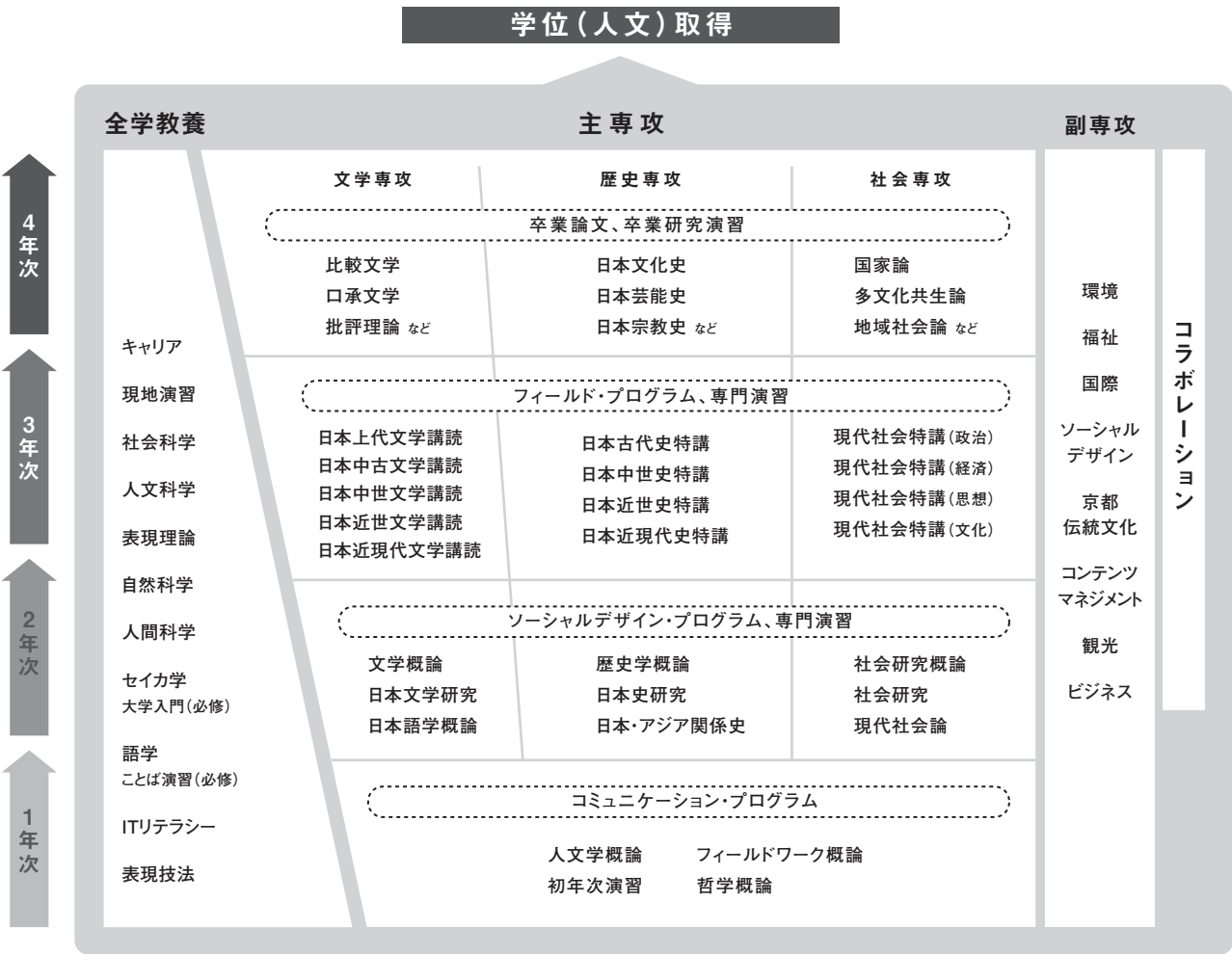
(1) 進級時

進級時の学修成果は、学部所定の教育課程における進級要件達成状況(単位取得、GPA)により、総合的評価を行います。

(2) 卒業時

4年間の学修成果は、学部所定の教育課程における卒業要件達成状況(単位取得、GPA)により、総合的評価を行います。卒業制作・卒業論文(必修)は、評価ルーブリックを活用し、複数教員によって多面的評価を行います。

カリキュラムマップ



人文学部の学びについて

人文学とは、ひとつの学問領域にとらわれず、多角的な視点から人間と世界の成り立ちを探究する学問です。複雑な問題を多く抱える現代において、人文学が可能にする人間の本質と多様性への理解は、さまざまな問題を解決するカギになります。人文学部のカリキュ

ムは、時代の要請に応え、人文学的な知見と、その知識を実社会で活かす方法を学ぶことができます。さらに複雑化する社会において、人間はいかに自由な存在として生きられるか、自分自身で考え、自らがのぞむ未来をつくりだせる人材を育てます。

人文学部の3つの特色

1.「文学」「歴史」「社会」の専攻に分かれて人間と社会の本質を考察

2年次より「文学」「歴史」「社会」の3つの専攻に分かれて、それぞれのアプローチから人間の本質と世界の成り立ちを探究します。専攻では少人数制のゼミに所属し、文献・史料の読解、アンケートや観察調査などに取り組み、専門性を深めます。

2.卒業後に役立つ実践力をはぐくむ「社会とつながるプログラム」

すべての学生が取り組む「社会とつながるプログラム」は、自分と社会とのつながりを自覚し、どう関わっていくかを体験的に学ぶものです。自分や他者、異文化を理解する力、課題を解決する力、そのための語学力、デジタルスキルなどを身につけます。

3.よりよい社会をつくりだすための語学力と教養・課題解決力を習得

人文学部がめざすのは、自分の所属するコミュニティはもちろん、海外においても、問題が何かを追求し、よりよい未来へと導く人材を育てることです。国籍を問わず、さまざまな人間がともに暮らす時代にこそ、人文学で身につけた力が役立ちます。

人文学部の4年間の学び方

人文学部では、2年次から「文学」「歴史」「社会」の専攻に分かれ、人間と社会への考察を深めます。文献の読み解き方や調査法を習得する中で、人間の価値観の多様性や社会の成り立ちを理解します。さらに、3専攻を横断して「社会とつながるプログラム」のステップを積み重ねることで、社会と自分との関わりを発見し、働きかけ、自分ののぞむ未来をつくり出すスキルを習得することができます。

人文学部のカリキュラムは、全学共通教育科目と専門教育科目の2つに大きく分かれます。

全学共通教育科目群は人文学部で専門的な知識を学ぶうえで、基礎となる知識を得るための科目です。人文学を極めるためには、それを支えるための広大な裾野が必要です。この裾野が広く大きいほど、頂は

高くなります。自分が4年間で成し遂げたいことから逆算し、そのために何を学んでおく必要があるか、しっかりと考えて履修してください。

専門教育科目は、人文学基盤科目群・創造実践科目群・専門研究科目群・展開科目群の4つから成り立っています。人文学基盤科目群は、1・2年次の必修科目を中心に構成され、人文学の基礎・教養を学ぶ科目です。創造実践科目群は、2年次から分かれる専攻の所属を越えて履修できる科目で、人文学の様々な方法論を獲得することができます。専門研究科目群は、学部専門教育の柱となる科目群で、各専攻で基礎となる理論や方法を学びます。展開科目群は、各専攻における個別・具体的なテーマを深めるための科目で、専攻を越えて履修することができ、自らの問題意識を深めていきます。

専攻について

人文学部では、1年次では学部全体で「人文学部とは何か」「人文学とは何か」を学びます。2年次から、文学、歴史、社会の3つの専攻に所属し、引き続き「社会とつながる実践知」としての共通科目と、各専攻の「専門知」を両立した学びを通じて、新しい総合的な視野から社会を変革していく力を身につけていきます。各専攻では少人数制の演習ゼミに所属し、文献・史料の読解、アンケートや観察調査などに取り組み、専門性を深め、4年次の「卒業

論文」をめざします。

1年次後期に履修する「人文学概論2」を通じ、各専攻ではどのような学修に取り組むのかを学び、どの専攻に属することが自分自身のよりよい学びにつながるのかを考え、1年次後期終了までに自分が所属する専攻を決定します。一度選択をした専攻は、原則的に変更することができませんので、専攻を選択する際はよく考えてください。

人文学部 総合人文学科 卒業要件

〔全学共通教育科目(44単位以上)〕+〔学部専門教育科目(80単位以上)〕=124単位以上

科目区分		科目群名称	必修科目							必修科目以外		卒業に要する単位(計)	
			進級要件	文学専攻	歴史専攻	社会専攻	卒業に要する単位		卒業に要する単位	備考			
全学共通教育科目	全学教養科目	「セイカ学」		大学入門			1年	2単位	2単位	16単位以上	必修の「大学入門」・「ことば演習」・「発展ことば演習」・「英語1」・「英語2」・「語学科目」に加え、16単位以上を修得する必要がある。	30単位以上	
		「語学」	○	ことば演習			1年	2単位	12単位				
			○	発展ことば演習			1年	2単位					
			○	英語1(※1)			1年	2単位					
○			英語2(※1)			1年	2単位						
○			語学科目(前期)(※2)			2年	2単位						
		語学科目(※2)			2年	2単位							
	全学専門科目								14単位以上		14単位以上		
学部専門教育科目	専門教育科目	人文学基盤科目群	○	哲学概論1			1年	2単位	20単位		左記必修科目に加え、4単位以上を修得すること。		
			○	哲学概論2			1年	2単位					
			○	人文学概論1			1年	2単位					
			○	人文学概論2			1年	2単位					
			○	初年次演習1			1年	2単位					
			○	初年次演習2			1年	2単位					
			○	フィールドワーク概論			1年	2単位					
			○	地域学			2年	2単位					
			○	現場学			2年	2単位					
			社会創造概論			2年	2単位						
		創造実践科目群	○	社会創造演習			2年	2単位	12単位	4単位以上			
				ICT・メディア演習			2年	2単位					
				フィールドスタディーズ1			3年	2単位					
				フィールドスタディーズ2			3年	2単位					
				フィールドスタディーズ3			3年	2単位					
			フィールドスタディーズ4			3年	2単位						
		専門研究科目群(※3)	○	文学概論	歴史学概論	社会研究概論	2年	2単位	20単位	4単位以上			
			○	日本文学研究	日本史研究	社会研究	2年	2単位					
				日本語学概論	日本・アジア関係史	現代社会論	2年	2単位					
			○	文学専門演習1	歴史専門演習1	社会専門演習1	2年	2単位					
			○	文学専門演習2	歴史専門演習2	社会専門演習2	2年	2単位					
				文学専門演習3	歴史専門演習3	社会専門演習3	3年	2単位					
				文学専門演習4	歴史専門演習4	社会専門演習4	3年	2単位					
				卒業研究演習1	卒業研究演習1	卒業研究演習1	4年	2単位					
				卒業研究演習2	卒業研究演習2	卒業研究演習2	4年	2単位					
	卒業論文	卒業論文	卒業論文	4年	2単位								
展開科目群								20単位以上	所属する専攻配置科目から10単位以上を含む20単位以上を修得すること。				

【留意事項】
(※1) 留学生は、「日本語1」(2単位)、「日本語2」(2単位)の2科目4単位を必修とする。ただし、日本語担当教員との相談によっては、母語以外の他の外国語科目を履修することができる。
(※2) 「語学科目」から上記以外の科目を4単位以上修得すること。
(※3) 各専攻により科目が異なります。

【進級要件】
●2年次から3年次:2年次終了までに上表に定める「ことば演習」「発展ことば演習」、ならびに「英語1」「英語2」(留学生は「日本語1」「日本語2」)「その他2年次前期開講語学科目(1科目)」「哲学概論1」「哲学概論2」「人文学概論1」「人文学概論2」「初年次演習1」「初年次演習2」「フィールドワーク概論」「地域学」「現場学」「社会創造演習」の30単位、および文学専攻においては「文学概論」「日本文学研究」「文学専門演習1」「文学専門演習2」、歴史専攻においては「歴史学概論」「日本史研究」「歴史専門演習1」「歴史専門演習2」、社会専攻においては「社会研究概論」「社会研究」「社会専門演習1」「社会専門演習2」のそれぞれ8単位を修得していなければならない。

人文学部部 総合人文学科 カリキュラムマップ

人文学基盤科目群 1・2年次必修科目を中心に構成され、人文学の基礎教養を学ぶ科目群			
哲学概論1[★1年] 哲学概論2[★1年]	人文学概論1[★1年] 人文学概論2[★1年] 初年次演習1[★1年] 初年次演習2[★1年]	地域学[★2年] 現場学[★2年] 社会創造概論[★2年]	フィールドワーク概論[★1年] フィールドワーク技法[1・2年]
創造実践科目群 学部共通科目として 様々な方法論を獲得する	専門研究科目群 学部専門教育の柱となる科目群		
	文学専攻	歴史専攻	社会専攻
社会創造演習[★2年] ICT・メディア演習[★2年] 社会起業演習[3・4年] 文章表現演習[3・4年] フィールドスタディーズ1[★3年] フィールドスタディーズ2[★3年] フィールドスタディーズ3[★3年] フィールドスタディーズ4[★3年] フィールドスタディーズ5[3年] フィールドスタディーズ6[3年]	文学概論[★2年] 日本文学研究[★2年] 日本語学概論[★2年] 日本上代文学講読[2・3年] 日本中古文講読[2・3年] 日本中世文学講読[2・3年] 日本近世文学講読[2・3年] 日本近現代文学講読[2・3年] 文学専門演習1[★2年] 文学専門演習2[★2年] 文学専門演習3[★3年] 文学専門演習4[★3年] 卒業研究演習1[★4年] 卒業研究演習2[★4年] 卒業論文[★4年]	歴史学概論[★2年] 日本史研究[★2年] 日本・アジア関係史[★2年] 日本古代史特講[2・3年] 日本中世史特講[2・3年] 日本近世史特講[2・3年] 日本近現代史特講[2・3年] 歴史専門演習1[★2年] 歴史専門演習2[★2年] 歴史専門演習3[★3年] 歴史専門演習4[★3年] 卒業研究演習1[★4年] 卒業研究演習2[★4年] 卒業論文[★4年]	社会研究概論[★2年] 社会研究[★2年] 現代社会論[★2年] 現代社会特講1(政治)[2・3年] 現代社会特講2(経済)[2・3年] 現代社会特講3(思想)[2・3年] 現代社会特講4(文化)[2・3年] 社会専門演習1[★2年] 社会専門演習2[★2年] 社会専門演習3[★3年] 社会専門演習4[★3年] 卒業研究演習1[★4年] 卒業研究演習2[★4年] 卒業論文[★4年]
展開科目群[2～4年] 所属専攻を横断して履修でき、自らの関心領域を広げるための科目群			
文学専攻	歴史専攻	社会専攻	
日本文学史 説話・伝承史 南島文学論 日本語学特講 比較文学 世界文学 口承文学 言語文化論 漢文学 書誌学 神話学 美学 詩歌論 歌謡論 批評理論 アイヌ文学論 書道 古典文法 哲学特講	考古学特講 地理学 民俗学概論 民俗学特講 古文書解読 日本の美術 アジアの美術 日本文化史 日本芸能史 日本服飾史 日本建築史 日本宗教史 日本景観史 日本思想史 京都の歴史1 京都の歴史2 歴史地理学	メディアと社会 国際関係論 環境社会論 国家論 社会階層論 南北問題 社会調査法 経済学概論 経済学特講 企業論 宗教社会学 多文化共生論 科学技術と社会 社会学概論 社会学特講 スポーツ社会学 コミュニティと社会 ジェンダーと社会 地域社会論 芸術と社会 社会支援論 子ども支援論	

★＝必修

人文学部 総合人文学科 専門教育科目 科目一覧

人文学基盤科目群・創造実践科目群

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
							1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
							1	2	1	2	3	1	2
人文学 基盤科目群	HCH30011	人文学概論1	必修	講義	2	1	●		●				●
	HCH30021	人文学概論2	必修	講義	2	1	●		●				●
	HCH30111	哲学概論1	必修	講義	2	1	●	●	●		●		●
	HCH30121	哲学概論2	必修	講義	2	1	●	●	●		●		●
	HCH30211	初年次演習1	必修	演習	2	1	●		●	●	●	●	●
	HCH30221	初年次演習2	必修	演習	2	1	●		●	●	●	●	●
	HCH30311	フィールドワーク概論	必修	講義	2	1	●		●				●
	HCH30331	フィールドワーク技法	選択	講義	2	1・2		●	●				●
	HCH30352	地域学	必修	講義	2	2	●		●		●		●
	HCH30372	現場学	必修	講義	2	2		●	●		●		●
HCH30392	社会創造概論	必修	講義	2	2	●		●				●	
創造実 践科目群	HCH41112	社会創造演習	必修	演習	2	2		●	●	●	●	●	●
	HCH41132	ICT・メディア演習	必修	演習	2	2		●	●	●	●	●	●
	HCH41152	社会起業演習	選択	演習	2	2・3・4		●	●	●	●	●	●
	HCH41332	文章表現演習	選択	演習	2	3・4		●	●	●	●	●	●
	HCH41213	フィールドスタディーズ1	必修	学外実習	2	3		●	●	●	●	●	●
	HCH41223	フィールドスタディーズ2	必修	学外実習	2	3		●	●	●	●	●	●
	HCH41233	フィールドスタディーズ3	必修	学外実習	2	3		●	●	●	●	●	●
	HCH41243	フィールドスタディーズ4	必修	学外実習	2	3		●	●	●	●	●	●
	HCH41253	フィールドスタディーズ5	選択	学外実習	2	3		●	●	●	●	●	●
	HCH41263	フィールドスタディーズ6	選択	学外実習	2	3		●	●	●	●	●	●

専門研究科目群

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
							1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
							1	2	1	2	3	1	2
文学専攻	HCH32012	文学概論	必修	講義	2	2	●	●	●				●
	HCH32032	日本文学研究	必修	講義	2	2	●	●	●				●
	HCH32052	日本語学概論	必修	講義	2	2	●	●	●				●
	HCH32072	日本上代文学講読	選択	講義	2	2・3・4		●	●				●
	HCH32092	日本中古文学講読	選択	講義	2	2・3・4		●	●				●
	HCH32112	日本中世文学講読	選択	講義	2	2・3・4		●	●				●
	HCH32132	日本近世文学講読	選択	講義	2	2・3・4		●	●				●
	HCH32152	日本近現代文学講読	選択	講義	2	2・3・4		●	●				●
	HCH42012	文学専門演習1	必修	演習	2	2		●	●	●	●	●	●
	HCH42022	文学専門演習2	必修	演習	2	2		●	●	●	●	●	●
	HCH42033	文学専門演習3	必修	演習	2	3		●	●	●	●	●	●
	HCH42043	文学専門演習4	必修	演習	2	3		●	●	●	●	●	●
	HCH42114	卒業研究演習1	必修	演習	2	4		●	●	●	●	●	●
	HCH42124	卒業研究演習2	必修	演習	2	4		●	●	●	●	●	●
	HCH92014	卒業論文	必修	成果評定	2	4		●	●	●	●	●	●
歴史専攻	HCH33012	歴史学概論	必修	講義	2	2	●	●	●				●
	HCH33032	日本史研究	必修	講義	2	2	●	●	●				●
	HCH33052	日本・アジア関係史	必修	講義	2	2	●	●	●				●
	HCH33072	日本古代史特講	選択	講義	2	2・3・4		●	●				●
	HCH33092	日本中世史特講	選択	講義	2	2・3・4		●	●				●
	HCH33112	日本近世史特講	選択	講義	2	2・3・4		●	●				●
	HCH33132	日本近現代史特講	選択	講義	2	2・3・4		●	●				●
	HCH43012	歴史専門演習1	必修	演習	2	2		●	●	●	●	●	●
	HCH43022	歴史専門演習2	必修	演習	2	2		●	●	●	●	●	●
	HCH43033	歴史専門演習3	必修	演習	2	3		●	●	●	●	●	●
	HCH43043	歴史専門演習4	必修	演習	2	3		●	●	●	●	●	●
	HCH43114	卒業研究演習1	必修	演習	2	4		●	●	●	●	●	●
	HCH43124	卒業研究演習2	必修	演習	2	4		●	●	●	●	●	●
	HCH93014	卒業論文	必修	成果評定	2	4		●	●	●	●	●	●

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単 位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの関連						
							1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
							1	2	1	2	3	1	2
社会 専攻	HCH34012	社会研究概論	必修	講義	2	2	●	●	●				●
	HCH34032	社会研究	必修	講義	2	2	●	●	●				●
	HCH34052	現代社会論	必修	講義	2	2	●	●	●				●
	HCH34112	現代社会特講1	選択	講義	2	2・3・4		●	●				●
	HCH34122	現代社会特講2	選択	講義	2	2・3・4		●	●				●
	HCH34132	現代社会特講3	選択	講義	2	2・3・4		●	●				●
	HCH34142	現代社会特講4	選択	講義	2	2・3・4		●	●				●
	HCH44012	社会専門演習1	必修	演習	2	2		●	●	●	●	●	●
	HCH44022	社会専門演習2	必修	演習	2	2		●	●	●	●	●	●
	HCH44033	社会専門演習3	必修	演習	2	3		●	●	●	●	●	●
	HCH44043	社会専門演習4	必修	演習	2	3		●	●	●	●	●	●
	HCH44114	卒業研究演習1	必修	演習	2	4		●	●	●	●	●	●
	HCH44124	卒業研究演習2	必修	演習	2	4		●	●	●	●	●	●
	HCH94014	卒業論文	必修	成果評定	2	4		●	●	●	●	●	●

展開科目群

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単 位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの関連						
							1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
							1	2	1	2	3	1	2
文学 専攻	HCH35012	日本文学史	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH35032	日本語学特講	選択	講義	2	2・3・4		●	●				●
	HCH35052	説話・伝承史	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH35072	言語文化論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH35092	比較文学	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH35132	世界文学	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH35172	口承文学	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH35192	漢文学	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH35212	書誌学	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH35232	神話学	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH35252	詩歌論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH35272	歌謡論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH35292	批評理論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH35312	南島文学論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH35332	アイヌ文学論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH35352	古典文法	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH35392	哲学特講	選択	講義	2	2・3・4		●	●				●
	HCH35412	美学	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH35432	書道	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●	●			●

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	必修/ 選択	授業 形態	単位 数	配当 年次	ディプロマ・ポリシーとの相関						
							1 知識・理解・技能		2 思考・判断・表現			3 関心・意欲・態度	
							1	2	1	2	3	1	2
歴史専攻	HCH36012	考古学特講	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH36032	地理学	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH36052	歴史地理学	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH36092	民俗学概論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH36112	民俗学特講	選択	講義	2	2・3・4		●	●				●
	HCH36132	古文書解読	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH36172	日本文化史	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH36192	日本芸能史	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH36212	日本の美術	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH36232	アジアの美術	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH36252	日本思想史	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH36272	日本服飾史	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH36292	日本建築史	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH36312	日本宗教史	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH36332	日本景観史	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH36372	京都の歴史1	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH36392	京都の歴史2	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
社会専攻	HCH37032	社会学概論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH37052	社会学特講	選択	講義	2	2・3・4		●	●				●
	HCH37072	国家論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH37112	社会階層論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH37132	社会調査法	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH37152	南北問題	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH37172	国際関係論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH37212	経済学概論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH37232	経済学特講	選択	講義	2	2・3・4		●	●				●
	HCH37252	企業論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH37312	メディアと社会	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH37332	宗教社会学	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH37352	多文化共生論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH37372	科学技術と社会	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH37392	環境社会論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH37412	スポーツ社会学	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH37432	コミュニティと社会	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH37452	ジェンダーと社会	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH37472	地域社会論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH37492	芸術と社会	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH37512	社会支援論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●
	HCH37532	子ども支援論	選択	講義	2	2・3・4	●	●	●				●

7 大学院

◀ GRADUATE SCHOOL

※大学院ページは、2024年度版『学習のてびき(2021年度以降入学生向け)』にてご覧ください。

※大学院ページは、2024年度版『学習のてびき(2021年度以降入学生向け)』にてご覧ください。

QUALIFICATION COURSE

8

資格課程

資格課程の概要

1. 京都精華大学で取得できる資格

ここでは、定められた授業科目を履修することで取得できる資格について説明します。取得できる資格は入学年度、所属学部・学科・コースによって異なります。建築士（一級、二級、木造）の受験資格については、P.96以降のライフクリエイションコース、建築コースのページで確認してください。教職、博物館学芸員、図書館司書の課程については「資格課程ハンドブック（「セイカ・ポータル掲載」）」も読んでください。

芸術・デザイン・マンガ・ポピュラーカルチャー学部生が取得できる資格

学部	学科	コース	教 職			博物館 学芸員	図書館 司書	一級 建築士 (受験資格)	二級・木造 建築士 (受験資格)
			中一種免許		高一種免許				
			美術	美術	工芸				
芸術		造形学科(2017年度以降入学生)	○	○	○	○	○	-	-
デザイン	イラスト	イラスト	○	○	-	○	○	-	-
	ビジュアル デザイン	グラフィックデザイン	○	○	-	○	○	-	-
		デジタルクリエイション	-	-	-	○	○	-	-
	プロダクト デザイン	プロダクトコミュニケーション	○	○	○	○	○	-	-
		ライフクリエイション	○	○	○	○	○	-	○
	建築	建築	-	-	-	-	-	○	○
マンガ	マンガ	カートゥーン	○	○	-	○	○	-	-
		ストーリーマンガ	○	○	-	○	○	-	-
		キャラクターデザイン	○	○	-	○	○	-	-
		新世代マンガ	○	○	-	○	○	-	-
	アニメーション	アニメーション	○	○	-	○	○	-	-
ポピュラー カルチャー	ポピュラー カルチャー	音楽	-	-	-	○	○	-	-
		ファッション	-	-	-	○	○	-	-

人文学部生が取得できる資格

学部	学科	専攻	教 職							博物館 学芸員	図書館 司書
			中一種免許			高一種免許					
			国語	英語	社会	国語	英語	公民	地理歴史		
人 文	総合人文学科	文学	○	-	-	○	-	-	-	○	○
		歴史	-	-	○	-	-	-	○	○	○
		社会	-	-	○	-	-	○	-	○	○

2. 課程登録について

資格を取得するためには2年次に必ず課程登録をしてください。

課程登録手続きは次の通りです。

- (1) 教務チーム窓口で登録カードをもらい必要事項を記入する。
- (2) 証明書自動発行機で所定の課程登録料を納付する。
- (3) 登録カードに顔写真を貼付のうえ登録料納付書を添えて教務チーム窓口へ提出する。

課程名	登録料	登録時期
教職課程	30,000円	2年次の 4月頃
博物館学芸員課程	20,000円	
図書館司書課程	10,000円	

必ず課程登録をしてもらう理由について

資格課程受講に際して授業以外に実習や諸団体への届出等さまざまな手続きが必要です。卒業時に無事資格を取得できるように資格課程担当は希望者を把握しておかなければなりません。登録料は課程を運営する中で必要となる授業や授業以外の諸活動の費用の一部としています。

教職課程

1. 履修の心得

教職課程は中学校、高等学校教員として働くのに必要な免許状を取得するために設置された課程です。

人間の発達段階において、中学生、高校生の時期は感性や豊かな人間性を養う重要な時期であると言えます。

本学の教職課程では、そのような重要な時期を担う中学校、高等学校で教職に就く人財として、京都精華大学の教育目標とも共通する「人間を尊重し多様な価値観・文化を受容し」「広い視野と論理的思考に基づき」「多様な人々と共生・協働」できる教師を育成することをめざします。これら方針を理解したうえで、下に記すような熱意ある学生の履修を望みます。

- 教育に関心があり、教員になりたいと思っている人
- 人と関わる仕事がしたいと思っている人
- 粘り強く、継続して学び続ける姿勢を持っている人
- 芸術、文化を通して、地域や社会に役立ちたいと思っている人

2. 教職課程の4年間の流れ

年次	時期	事項
1 年	4月 初旬	教職に関する科目(前期)履修開始／教科に関する科目(前期)履修開始
	10月 初旬	教職に関する科目(後期)履修開始／教科に関する科目(後期)履修開始
2 年	3月 下旬	資格課程ガイダンス
	4月 中旬	課程登録手続き(～5月初旬) ※登録料が必要
	9月 下旬	介護等体験事前指導実施(中学校一種希望者のみ)
	10月 初旬	介護等体験先府県決定
3 年	4月 初旬	資格課程ガイダンス／教育実習予定校へ訪問、内諾依頼(～9月)
	5月	介護等体験(前期)開始(～8月)
	10月	介護等体験(後期)開始(～3月)
4 年	4月 初旬	資格課程ガイダンス／教育実習受入依頼書の発送(教務チームから発送)
	5月	教育実習(前期)開始
	10月 下旬	教育実習(後期)開始 教員免許状申請説明会(第1回)開催
	11月 下旬	教員免許状申請説明会(第2回)開催
	3月 下旬	教育職員免許状取得

教職課程を履修しようかどうか悩んでいる場合、1年次の間は検討期間になります。教職に関する科目の中で1年次から履修できる科目を履修してみて、自分に向いているか、4年次まで続けられそうか、考えてみましょう。

2年次の4月に「課程登録」手続きを行います。この手続きによって、「教職課程を履修する」という正式な意思表示をすることになります。

教育実習は、中学校一種免許希望者は3週間以上、高校一種免許のみ希望者は2週間以上行います。

3. [2020・2019年度入学生] 教員免許状を取得するために必要な要件

教職課程は、みなさんが所属する学部・学科・コースのカリキュラム（教育課程）とはまったく別のカリキュラムとなります。
教員免許状を取得するためには、卒業に必要な単位以外に、教職課程の専門科目の単位を修得する必要があります。

(1) [2020・2019年度入学生] 教職に関する科目一覧（全学部共通）

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業形態	単位数	配当年次				備考
				中	高			1年	2年	3年	4年	
教育の基礎的理解に関する科目	CQT500130	教職論		★	★	講義	2		○	○		
	CQT501110	教育原論		★	★	講義	2	○	○			
	CQT502110	教育心理学		★	★	講義	2	○	○			
	CQT503110	教育制度論		★	★	講義	2	○	○			
	CQT504120	教育課程論		★	★	講義	2		○	○		
	CQT503520	特別支援教育論		★	★	講義	1		○	○		
道徳、総合的な学習の時間、教育相談に関する科目	CQT510120	道徳教育論		★		講義	2		○	○		
	CQT511120	特別活動論		★	★	講義	2		○	○		
	CQT512120	教育方法論		★	★	講義	2		○	○		
	CQT513120	生徒・進路指導論		★	★	講義	1		○	○		
	CQT514120	教育相談		★	★	講義	2		○	○		
	CQT510520	総合的な学習の時間の指導論		★	★	講義	1		○	○		
教科及び教科の指導法に関する科目	CQT5031301	美術科教育法I	(1)/(2)	★	★	講義	2			◎	※	指定されたクラスを受講すること ※中学校（美術）免許を取得するには、3年次に4単位、4年次に4単位、合計8単位が必要
	CQT5052301	美術科教育法II	(1)/(2)	★	★	講義	2			◎	※	
	CQT5061301	美術科・工芸科教育法I		★	★	講義	2			◎	※	
	CQT5062301	美術科・工芸科教育法II		★	★	講義	2			◎	※	
	CQT5041301	社会科公民科教育法I		★	★	講義	1			◎		社会科、公民科、地理歴史科希望者
	CQT5092301	社会科公民科教育法II		★	★	講義	2			◎		社会科、公民科、地理歴史科希望者
	CQT5091301	社会科地歴科教育法I		★	★	講義	2		◎			社会科、公民科、地理歴史科希望者
	CQT5092301	社会科地歴科教育法II		★	★	講義	2		◎			社会科、公民科、地理歴史科希望者
	CQT5071201	国語科教育法I		★	★	講義	2		◎			国語科希望者
	CQT5072201	国語科教育法II		★	★	講義	2		◎			国語科希望者
	CQT5073301	国語科教育法III		★	★	講義	2			◎		国語科希望者
	CQT5074301	国語科教育法IV		★	★	講義	2			◎		国語科希望者
教育実践に関する科目	CQT600140	事前・事後指導		★	★	演習	1				◎	指定されたクラスを受講すること
	CQT900140	教育実習I		★	★	学外実習	2				◎	
	CQT900240	教育実習II		★	●	学外実習	2				◎	
	CQT521140	教職実践演習		★	★	演習	2				◎	

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

〔介護等体験〕 中学校教諭一種免許状希望者のみ対象

科目 区分	科目 ナンバリング コード	事項名	クラス	★印 参加必須		授業 形態	単 位 数	実施年次				担当者名	専任/ 兼任	実施 時期	曜 日	講 時	受 先 着 順 目	備 考
				中	高			1年	2年	3年	4年							
	—	介護等体験事前指導		★	—	講義	なし	○				特別講師	—	9月 下旬	—	—		
	—	介護等体験 (学校2日間・施設5日間)		★	—	講義	なし			○		各体験先	—	前期/ 後期	—	—		

「教科に関する科目」、「教科又は教職に関する科目」、「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」については、所属学科・コース、取得を希望する免許教科ごとに異なるため、P.165以降の各学科・コースの科目一覧を参照してください。

【履修上の注意】

3年次終了までに以下の科目を修得済みでないと、4年次に「教育実習」「教職実践演習」を履修することはできません。

対象科目

「教職論」、「教育原論」、「教育心理学」、「教育制度論」、「教育課程論」、「教科教育法」、
「道徳教育論」(中学校のみ)、「特別活動論」、「教育方法論」、「生徒・進路指導論」、「教育相談」

※1 取得を希望する免許教科、所属コースに応じた「教科教育法」を履修してください。

詳細は「(1) [2020・2019年度入学生] 教職に関する科目一覧(全学部共通)」を参照してください。

※2 上記「教科教育法」とは、科目区分「教科及び教科の指導法に関する科目」に記載の○○科教育法が該当します。

4. [2018・2017年度入学生] 教員免許状を取得するために必要な要件

教職課程は、みなさんが所属する学部・学科・コースのカリキュラム（教育課程）とはまったく別のカリキュラムとなります。
教員免許状を取得するためには、卒業に必要な単位以外に、教職課程の専門科目の単位を修得する必要があります。

(1) [2018・2017年度入学生] 教職に関する科目一覧（全学部共通）

科目 ナンバリング コード	科目名	クラス	必修/ 選択必修		授業 形態	単位数	配当年次				備考
			中	高			1年	2年	3年	4年	
CQT500130	教職論		★	★	講義	2		○	○		
CQT501110	教育原論		★	★	講義	2	○	○			
CQT502110	教育心理学		★	★	講義	2	○	○			
CQT503110	教育制度論		★	★	講義	2	○	○			
CQT504120	教育課程論		★	★	講義	2		○	○		
CQT5051301	美術科教育法I	1 / 2	★	★	講義	2			◎		指定されたクラスを 受講すること
CQT5052301	美術科教育法II	1 / 2	★	★	講義	2			◎		
CQT5061301	美術科・工芸科教育法I		★	★	講義	2			◎		
CQT5062301	美術科・工芸科教育法II		★	★	講義	2			◎		
CQT5091301	社会科公民科教育法I		★	★	講義	2			◎		社会科、公民科、 地理歴史科希望者
CQT5092301	社会科公民科教育法II		★	★	講義	2			◎		社会科、公民科、 地理歴史科希望者
CQT5095301	社会科地歴科教育法I		★	★	講義	2		◎			社会科、公民科、 地理歴史科希望者
CQT5096301	社会科地歴科教育法II		★	★	講義	2		◎			社会科、公民科、 地理歴史科希望者
CQT5071201	国語科教育法I		★	★	講義	2		◎			国語科希望者
CQT5072201	国語科教育法II		★	★	講義	2		◎			国語科希望者
CQT5073301	国語科教育法III		★	★	講義	2			◎		国語科希望者
CQT5074301	国語科教育法IV		★	★	講義	2			◎		国語科希望者
CQT510120	道德教育論		★		講義	2		○	○		
CQT5111201	特別活動論		★	★	講義	2		○	○		
CQT5121201	教育方法論		★	★	講義	2		○	○		
CQT513120	生徒指導論(生徒・進路指導論)		★	★	講義	2		○	○		
CQT514120	教育相談		★	★	講義	2		○	○		
CQT600140	事前・事後指導		★	★	演習	1				◎	指定されたクラスを 受講すること
CQT900140	教育実習I		★	★	学外 実習	2				◎	
CQT900240	教育実習II		★	●	学外 実習	2				◎	
CQT521140	教職実践演習		★	★	演習	2				◎	

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

[介護等体験] 中学校教諭一種免許状希望者のみ対象

科目 ナンバリング コード	事項名	クラス	★印 参加必須		授業 形態	単 位 数	実施年次				担当者名	専任/ 兼任	実施 時期	曜 日	講 時	抽 選 科目	備考
			中	高			1年	2年	3年	4年							
	介護等体験事前指導		★	—	講義	なし	○				特別講師	—	9月 下旬	—	—		
	介護等体験 (学校2日間・施設5日間)		★	—	—	なし			○		各体験先	—	前期/ 後期	—	—		

「教科に関する科目」、「教科又は教職に関する科目」、「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」については、所属学科・コース、取得を希望する免許教科ごとに異なるため、P.165以降の各学科・コースの科目一覧を参照してください。

【履修上の注意】

3年次終了までに以下の科目を修得済みでないと、4年次に「教育実習」「教職実践演習」を履修することはできません。

対象科目

「教職論」、「教育原論」、「教育心理学」、「教育制度論」、「教育課程論」、「教科教育法」、
「道徳教育論」(中学校のみ)、「特別活動論」、「教育方法論」、「生徒・進路指導論」、「教育相談」

※1 取得を希望する免許教科、所属コースに応じた「教科教育法」を履修してください。
詳細は「(1) [2018・2017年度入学生] 教職に関する科目一覧(全学部共通)」を参照してください。

※2 上記「教科教育法」とは、科目区分「教科及び教科の指導法に関する科目」に記載の○○科教育法が該当します。

5. [2020～2017年度入学生] 学部・学科・コース別 教科に関する科目一覧

芸術学部 造形学科

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	クラス	必修/選択必修			授業 形態	単 位 数	配当年次				備 考
				中 美術	高 美術	工 芸			1年	2年	3年	4年	
教科に 関する 科目	(※1)	絵画基礎		★	★		実習	3	◎				指定されたクラスを履修すること
	AFA4147201	映像メディア表現3		●	●		講義	2		○	○	○	2単位以上 選択必修
	AFA4149301	映像メディア表現4		●	●		講義	2			○	○	
	(※1)	彫刻基礎		★	★		実習	3	◎				指定されたクラスを履修すること
	(※1)	デザイン基礎		★	★	★	実習	3	◎				指定されたクラスを履修すること
	AFA4143201	映像メディア表現1		●	●		講義	2		○	○	○	2単位以上 選択必修
	AFA4145201	映像メディア表現2		●	●		講義	2		○	○	○	
	(※1)	工芸基礎		★		★	実習	3	◎				指定されたクラスを履修すること
	AFA4129201	工芸1		●		●	講義	2		○	○	○	2単位以上 選択必修
	AFA4131201	工芸2		●		●	講義	2		○	○	○	
	AFA4133201	工芸3		●		●	講義	2		○	○	○	
	AFA4135201	工芸4		●		●	講義	2		○	○	○	
	AFA4137301	図法製図				★	講義	3			○	○	
	(※1)	美術史	A/B	★	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	CET1003101	美学概論		★	★		講義	2	○	○	○	○	
	AFA3027201	アートマネジメント論		★	★	★	講義	2		○	○	○	
	(※1)	デザイン論		★	★	★	講義	2	○	○	○	○	
	(※1)	日本美術史	A/B	★	★		講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	東洋美術史	A/B	★	★		講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	西洋美術史	A/B	★	★		講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	芸術学	A/B	★	★		講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	CET1013101	工芸概論				★	講義	2	○	○	○	○	
	CMI3203201	京都の伝統工芸講座1				★	講義	2		○	○	○	
	CMI3205201	京都の伝統工芸講座2				★	講義	2		○	○	○	
	AFA3011101	美術工芸史1				★	講義	2	○	○	○	○	
	AFA3013101	美術工芸史2				★	講義	2	○	○	○	○	
	CET1043101	素材論				★	講義	2	○	○	○	○	
教科又は 教職に関する 科目 (大学が独自に 設定する科目)	CQT5307101	学校安全論		●	●	●	講義	2	○	○	○	○	6単位以上選択必修
	CQT5301201	人権教育論		●	●	●	講義	2		○	○	○	
	CQT5303101	現代学校論		●	●	●	講義	2	○	○	○	○	
	CQT5305101	障がい者理解		●	●	●	講義	2	○	○	○	○	
	CQT6001201	学校ボランティア		●	●	●	講義	2	○	○	○	○	
第66条の6に 定める科目	(※1)	日本国憲法	A/B	★	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習1	教職A/教職B	★	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習2	教職A/教職B	★	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	英語1		★	★	★	演習	2	◎				指定されたクラスを履修すること
	(※1)	英語2		★	★	★	演習	2	◎				
	(※1)	情報リテラシー		★	★	★	演習	1	○	○	○	○	
	(※1)	ビジネスソフト演習		★	★	★	演習	1	○	○	○	○	

(※1) 科目ナンバリングコードについては、P59～のカリキュラムページで確認してください。

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

デザイン学部 イラストコース

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業 形態	単 位数	配当年次				備 考
				中 美術	高 美術			1年	2年	3年	4年	
教科に 関する 科目	(※1)	イメージ表現3	A/B	★	★	実習	3		○			
	(※1)	イメージ表現4	A/B	★	★	実習	3		○			
	DIL4131301	絵本1		●	●	演習	2			○		4単位以上選択必修
	DIL4132301	絵本2		●	●	演習	2			○		
	DIL4151301	ビジュアルアート1		●	●	演習	2			○		
	DIL4152301	ビジュアルアート2		●	●	演習	2			○		
	(※1)	デッサン1	A/B	★	★	実習	3	○				
	(※1)	デッサン2	A/B	★	★	実習	3	○				
	(※1)	水墨画	A/B	★	★	実習	3	○				
	(※1)	日本画	A/B	★	★	実習	3	○				
	(※1)	立体表現1	A/B	●	●	実習	3	○				3単位以上選択必修
	(※1)	立体表現2	A/B	●	●	実習	3	○				
	DGS4011201	基礎立体・彫塑		★	★	演習	2		○			
	DIL4141301	イラストレーション1		●	●	演習	2			○		8単位以上選択必修
	DIL4142301	イラストレーション2		●	●	演習	2			○		
	DIL4143301	イラストレーション3		●	●	演習	2			○		
	DIL4144301	イラストレーション4		●	●	演習	2			○		
	DIL4161301	ビジュアルデザイン1		●	●	演習	2			○		
	DIL4162301	ビジュアルデザイン2		●	●	演習	2			○		
	DIL4163301	ビジュアルデザイン3		●	●	演習	2			○		
	DIL4164301	ビジュアルデザイン4		●	●	演習	2			○		
	DIL4101301	デザイン演習1		★	★	演習	2			○		
	DIL4102301	デザイン演習2		★	★	演習	2			○		
	DGS4012201	工芸		★		実習	2		○			
	CET1003101	美学概論		★	★	講義	2		○	○	○	
	(※1)	美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	日本美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	
	(※1)	東洋美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	
	(※1)	西洋美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	
	(※1)	芸術学	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	
	DGS3300101	アートマネジメント論		★	★	講義	2			○	○	
	DGS3300301	現代美術概論		★	★	講義	2		○	○	○	
設 定 す る 目 的 に 関 する 科 目 （ 大 学 が 採 取 す る 科 目 ）	CQT5303101	現代学校論		●	●	講義	2	○	○	○	○	2単位以上選択必修
	CQT5301201	人権教育論		●	●	講義	2		○	○	○	
第66条の6に定める科目	(※1)	日本国憲法	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習1	教職A/教職B	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習2	教職A/教職B	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	英語1		★	★	演習	2	○				指定されたクラスを履修すること
	(※1)	英語2		★	★	演習	2	○				
	(※1)	CG演習1	F(A)/F(B)	●	●	実習	2		○			2単位以上選択必修 ※ただし各科目ABクラスは 同じ授業内容
	(※1)	CG演習2	F(A)/F(B)	●	●	実習	2		○			

(※1) 科目ナンバリングコードについては、P59～のカリキュラムページで確認してください。

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

デザイン学部 グラフィックデザインコース

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業 形態	単 位 数	配当年次				備 考
				中 美術	高 美術			1年	2年	3年	4年	
教科に 関する 科目	DVD4001101	ビジュアルデザイン基礎1		★	★	実習	2	◎				
	DVD4002101	ビジュアルデザイン基礎2		★	★	実習	2	◎				
	DVD4003101	ビジュアルデザイン基礎3		★	★	実習	2	◎				
	DGS4011201	基礎立体・彫塑		★	★	演習	2		○			
	DGD4001201	グラフィックデザイン1		★	★	実習	3		○			
	DGD4002201	グラフィックデザイン2		★	★	実習	3		○			
	DGD4003201	グラフィックデザイン3		★	★	実習	3		○			
	DGD4004201	グラフィックデザイン4		★	★	実習	3		○			
	DGS4012201	工芸		★		実習	2		○			
	CET1003101	美学概論		★	★	講義	2		○	○	○	
	(※1)	美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	日本美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	
	(※1)	東洋美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	
	(※1)	西洋美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	
	(※1)	芸術学	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	
教科又は教職 に関する科目 (大学が独自に 設定する科目)	CQT5303101	現代学校論		●	●	講義	2	○	○	○	○	2単位以上選択必修
	CQT5301201	人権教育論		●	●	講義	2		○	○	○	
第66条の6に定める科目	(※1)	日本国憲法	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習1	教職	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習2	教職	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	英語1		★	★	演習	2	◎				指定されたクラスを履修すること
	(※1)	英語2		★	★	演習	2	◎				
	(※1)	デザインスキル1		●	●	実習	2		○			2単位以上選択必修
	(※1)	デザインスキル2		●	●	実習	2		○			

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

(※1) 科目ナンバリングコードについては、P59～のカリキュラムページで確認してください。

デザイン学部 プロダクトコミュニケーションコース

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	クラス	必修/選択必修			授業 形態	単 位 数	配当年次				備 考	
				中	高				1年	2年	3年	4年		
				美術	美術	工芸								
教科に関する科目	DPC4021101	絵画基礎		★	★		実習	3	○					
	DPC4031101	立体構成		★	★	★	実習	3	○					
	DPC4061201	立体造形1		★	★	★	実習	3		○				
	DPC4062201	立体造形2		★	★	★	実習	3		○				
	DPC4071201	デザインマテリアル1		●	●	●	実習	3		○			6単位以上選択必修	
	DPC4072201	デザインマテリアル2		●	●	●	実習	3		○				
	DPC4073201	デザインマテリアル3		●	●	●	実習	3		○				
	DPC4074201	デザインマテリアル4		●	●	●	実習	3		○				
	DPC4001101	基礎デザイン1		★	★	★	実習	3	○					
	DPC4002201	基礎デザイン2		★	★	★	実習	3		○				
	DPC4003201	基礎デザイン3		★	★	★	実習	3		○				
	DPD4001101	工芸1	DR(1) /(2)	●		●	実習	3	○				3単位以上選択必修	
	DPD4002101	工芸2	DR(1) /(2)	●		●	実習	3	○					
	(※1)	美術史	A/B	★	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること	
	CET1003101	美学概論		★	★		講義	2	○	○	○	○		
	CET1013101	工芸概論		★	★	★	講義	2		○	○	○		
	CET1015101	デザイン論				★	講義	2	○	○	○	○		
	(※1)	日本美術史	A/B	●	●		講義	2	○	○	○	○	2単位以上選択必修 ABクラスのいずれかを履修すること	
	(※1)	東洋美術史	A/B	●	●		講義	2	○	○	○	○		
	(※1)	西洋美術史	A/B	●	●		講義	2	○	○	○	○		
	(※1)	芸術学	A/B	●	●		講義	2	○	○	○	○		
	CMI3203201	京都の伝統工芸講座1				●	講義	2		○	○	○	2単位以上選択必修	
	CMI3205201	京都の伝統工芸講座2				●	講義	2		○	○	○		
教科又は教職 に関する科目 (大学が独自 設定する科目)	CQT5303101	現代学校論		●	●	●	講義	2	○	○	○	○	2単位以上選択必修	
	CQT5301201	人権教育論		●	●	●	講義	2		○	○	○		
第66条の6に定める科目 教育職員免許法施行規則	(※1)	日本国憲法	A/B	★	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること	
	(※1)	スポーツ実習1	教職	★	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること	
	(※1)	スポーツ実習2	教職	★	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること	
	(※1)	英語1		★	★	★	演習	2	○				指定されたクラスを履修すること	
	(※1)	英語2		★	★	★	演習	2	○					
	(※1)	デザインテクノロジー1		★	★	★	実習	2		○				

[必修/選択必修の見方: ★ 必修、● 選択必修]

(※1) 科目ナンバリングコードについては、P59～のカリキュラムページで確認してください。

デザイン学部 ライフクリエイションコース

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	クラス	必修/選択必修			授業 形態	単 位 数	配当年次				備 考	
				中	高				1年	2年	3年	4年		
				美術	美術	工芸								
教科に 関する 科目	DLC4021101	絵画基礎		★	★		実習	3	◎					
	DLC4031101	立体構成		★	★	★	実習	3	◎					
	DLC4051101	京都デザイン		★	★	★	実習	3	◎					
	DLC4071201	デザインマテリアル1		●	●	●	実習	3		○			6単位以上選択必修	
	DLC4072201	デザインマテリアル2		●	●	●	実習	3		○				
	DLC4073201	デザインマテリアル3		●	●	●	実習	3		○				
	DLC4074201	デザインマテリアル4		●	●	●	実習	3		○				
	DLC4001101	基礎デザイン1		★	★	★	実習	3	◎					
	DLC4002201	基礎デザイン2		★	★	★	実習	3		◎				
	DLC4003201	基礎デザイン3		★	★	★	実習	3		◎				
	DPD4001101	工芸1	DR(1) /(2)	●	●	●	実習	3	◎				3単位以上選択必修	
	DPD4002101	工芸2	DR(1) /(2)	●	●	●	実習	3	◎					
	(※1)	美術史	A/B	★	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること	
	CET1003101	美学概論		★	★		講義	2	○	○	○	○		
	CET1013101	工芸概論				★	講義	2		○	○	○		
	CET1015101	デザイン論				★	講義	2	○	○	○	○		
	(※1)	日本美術史	A/B	●	●		講義	2	○	○	○	○	2単位以上選択必修 ABクラスのいずれかを履修すること	
	(※1)	東洋美術史	A/B	●	●		講義	2	○	○	○	○		
	(※1)	西洋美術史	A/B	●	●		講義	2	○	○	○	○		
	(※1)	芸術学	A/B	●	●		講義	2	○	○	○	○		
	CMI3203201	京都の伝統工芸講座1				●	講義	2		○	○	○	2単位以上選択必修	
	CMI3205201	京都の伝統工芸講座2				●	講義	2		○	○	○		
教科又は教職 に関する科目 (大学が独自 に設定する科目)	CQT5303101	現代学校論		●	●	●	講義	2	○	○	○	○	2単位以上選択必修	
	CQT5301201	人権教育論		●	●	●	講義	2		○	○	○		
第66条の6に定める科目 教育職員免許法施行規則	(※1)	日本国憲法	A/B	★	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること	
	(※1)	スポーツ実習1	教職A/教職B	★	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること	
	(※1)	スポーツ実習2	教職A/教職B	★	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること	
	(※1)	英語1		★	★	★	演習	2	◎				指定されたクラスを履修すること	
	(※1)	英語2		★	★	★	演習	2	◎					
	(※1)	デザインテクノロジー1		★	★	★	実習	2		◎				

[必修/選択必修の見方: ★ 必修、● 選択必修]

(※1) 科目ナンバリングコードについては、P59～のカリキュラムページで確認してください。

マンガ学部 カートゥーンコース

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業 形態	単 位 数	配当年次				備 考
				中 美術	高 美術			1年	2年	3年	4年	
教科に 関する 科目	MCT4001101	デッサン1		★	★	実習	3	◎				
	MCT4002101	デッサン2		★	★	実習	3	◎				
	MCT4011101	絵画技法1		★	★	実習	3	◎				
	MCT4012101	絵画技法2		★	★	実習	3	◎				
	MGS4315201	基礎立体・彫塑		★	★	実習	2		◎			
	MGS4211101	マンガデザイン1		★	★	演習	2	◎				
	MGS4212101	マンガデザイン2		★	★	演習	2	◎				
	MGS4317201	工芸		★		実習	2		◎			
	CET1003101	美学概論		★	★	講義	2		○	○	○	
	(※1)	美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	日本美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	東洋美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	西洋美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	芸術学	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
第66条の6に定める科目 （大学が指定した科目）	CQT5303101	現代学校論		●	●	講義	2	○	○	○	○	2単位以上選択必修
	CQT5301201	人権教育論		●	●	講義	2		○	○	○	
	(※1)	日本国憲法	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習1	教職A/教職B	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習2	教職A/教職B	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	英語1		★	★	演習	2	◎				指定されたクラスを履修すること
	(※1)	英語2		★	★	演習	2	◎				
	(※1)	基礎デジタル演習1	A/B	●	●	演習	2	◎				2単位以上選択必修 ※ただし各科目ABクラスは 同じ授業内容
	(※1)	基礎デジタル演習2	A/B	●	●	演習	2	◎				

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

(※1) 科目ナンバリングコードについては、P59～のカリキュラムページで確認してください。

マンガ学部 ストーリーマンガコース

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	クラス	必修/選択必修		授 業 形 態	単 位 数	配当年次				備 考
				中 美術	高 美術			1年	2年	3年	4年	
教科に 関する 科目	MSM4001101	マンガデッサン1		★	★	実習	3	◎				
	MSM4002101	マンガデッサン2		★	★	実習	3	◎				
	MSM4011101	絵画技法1		★	★	実習	3	◎				
	MSM4012101	絵画技法2		★	★	実習	3	◎				
	MSM4031201	カラー実習1		★	★	実習	3		◎			
	MSM4032201	カラー実習2		★	★	実習	3		◎			
	MGS4315201	基礎立体・彫塑		★	★	実習	2		◎			
	MGS4211101	マンガデザイン1		★	★	演習	2	◎				
	MGS4212101	マンガデザイン2		★	★	演習	2	◎				
	MGS4317201	工芸		★		実習	2		◎			
	CET1003101	美学概論		★	★	講義	2		○	○	○	
	(※1)	美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	日本美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	東洋美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	西洋美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	芸術学	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
第66条の6に 定める科目	CQT5303101	現代学校論		●	●	講義	2	○	○	○	○	2単位以上選択必修
	CQT5301201	人権教育論		●	●	講義	2		○	○	○	
	(※1)	日本国憲法	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習1	教職A/教職B	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習2	教職A/教職B	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	英語1		★	★	演習	2	◎				指定されたクラスを履修すること
	(※1)	英語2		★	★	演習	2	◎				
	(※1)	基礎デジタル演習1	A/B	●	●	演習	2	◎				2単位以上選択必修
	(※1)	基礎デジタル演習2	A/B	●	●	演習	2	◎				

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

(※1) 科目ナンバリングコードについては、P59～のカリキュラムページで確認してください。

マンガ学部 キャラクターデザインコース

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業 形態	単 位 数	配当年次				備 考
				中 美術	高 美術			1年	2年	3年	4年	
教科に 関する 科目	(※1)	基礎デッサン1	A/B	★	★	実習	2		○	○	○	
	(※1)	基礎デッサン2	A/B	★	★	実習	2		○	○	○	
	MCD4011101	絵画技法1		★	★	実習	3	◎				
	MCD4012101	絵画技法2		★	★	実習	3	◎				
	MGS4315201	基礎立体・彫塑		★	★	実習	2		○	○	○	
	MCD4021101	デザイン1		★	★	実習	3	◎				
	MCD4022101	デザイン2		★	★	実習	3	◎				
	MCD4023201	マンガデザイン1		★	★	演習	2		◎			
	MCD4024201	マンガデザイン2		★	★	演習	2		◎			
	MGS4317201	工芸		★		実習	2		○	○	○	
	CET1003101	美学概論		★	★	講義	2		○	○	○	
	(※1)	美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	日本美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	東洋美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	西洋美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	芸術学	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
教科又は教職 に関する科目 (本学が独自に 設定する科目)	CQT5303101	現代学校論		●	●	講義	2	○	○	○	○	2単位以上選択必修
	CQT5301201	人権教育論		●	●	講義	2		○	○	○	
第66条の6に定める科目 教育職員免許法施行規則	(※1)	日本国憲法	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習1	教職A/教職B	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習2	教職A/教職B	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	英語1		★	★	演習	2	◎				指定されたクラスを履修すること
	(※1)	英語2		★	★	演習	2	◎				
	(※1)	基礎デジタル演習1		●	●	演習	2	◎				2単位以上選択必修
	(※1)	基礎デジタル演習2		●	●	演習	2	◎				

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

(※1) 科目ナンバリングコードについては、P59～のカリキュラムページで確認してください。

マンガ学部 新世代マンガコース

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業 形態	単 位 数	配当年次				備 考
				中 美術	高 美術			1年	2年	3年	4年	
教科に 関する 科目	(※1)	基礎デッサン1	A/B	★	★	実習	2		○	○	○	
	(※1)	基礎デッサン2	A/B	★	★	実習	2		○	○	○	
	MNG4031201	制作実習1		★	★	実習	3		◎			
	MNG4032201	制作実習2		★	★	実習	3		◎			
	MNG4001101	絵画技法1		★	★	実習	3	◎				
	MNG4002101	絵画技法2		★	★	実習	3	◎				
	MGS4315201	基礎立体・彫塑		★	★	実習	2		○	○	○	
	MGS4211101	マンガデザイン1		★	★	演習	2	○	○	○	○	
	MGS4212101	マンガデザイン2		★	★	演習	2	○	○	○	○	
	MGS4317201	工芸		★		実習	2		○	○	○	
	CET1003101	美学概論		★	★	講義	2		○	○	○	
	(※1)	美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	日本美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	東洋美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	西洋美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	芸術学	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
第66条の6に定める科目 （大学が独自に 設定する科目）	CQT5303101	現代学校論		●	●	講義	2	○	○	○	○	2単位以上選択必修
	CQT5301201	人権教育論		●	●	講義	2		○	○	○	
	(※1)	日本国憲法	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習1	教職A/教職B	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習2	教職A/教職B	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	英語1		★	★	演習	2	◎				指定されたクラスを履修すること
	(※1)	英語2		★	★	演習	2	◎				
	MGS4001106	基礎デジタル演習1		●	●	演習	2	◎				2単位以上選択必修
	MGS4002106	基礎デジタル演習2		●	●	演習	2	◎				

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

(※1) 科目ナンバリングコードについては、P59～のカリキュラムページで確認してください。

マンガ学部 アニメーションコース

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	クラス	必修/選択必修		授 業 形 態	単 位 数	配当年次				備 考
				中 美術	高 美術			1年	2年	3年	4年	
教科に 関する 科目	MAN4101101	アクションドローイング基礎1		★	★	演習	2	◎				
	MAN4102101	アクションドローイング基礎2		★	★	演習	2	◎				
	MAN4011101	アニメーション造形基礎実習1		★	★	実習	3	◎				
	MAN4012101	アニメーション造形基礎実習2		★	★	実習	3	◎				
	MGS4315201	基礎立体・彫塑		★	★	実習	2		◎			
	MAN4001101	アニメーションモーション基礎演習1		★	★	演習	2	◎				
	MAN4002101	アニメーションモーション基礎演習2		★	★	演習	2	◎				
	MAN4031201	アニメーション分析演習1		★	★	演習	2		◎			
	MAN4032201	アニメーション分析演習2		★	★	演習	2		◎			
	MGS4317201	工芸		★		実習	2		◎			
	CET1003101	美学概論		★	★	講義	2		○	○	○	
	(※1)	美術史	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	MAN3001101	アニメーション基礎研究1		★	★	講義	2	◎				
	MAN3002101	アニメーション基礎研究2		★	★	講義	2	◎				
	MAN3011201	アニメーション演出論1		★	★	講義	2		◎			
	MAN3012201	アニメーション演出論2		★	★	講義	2		◎			
第66条の6に定める科目 （大学が独自に 設定する科目）	CQT5303101	現代学校論		●	●	講義	2	○	○	○	○	2単位以上選択必修
	CQT5301201	人権教育論		●	●	講義	2		○	○	○	
	(※1)	日本国憲法	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習1	教職A/教職B	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習2	教職A/教職B	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	英語1		★	★	演習	2	◎				指定されたクラスを履修すること
	(※1)	英語2		★	★	演習	2	◎				
	MAN4021101	アニメーションCG演習1		★	★	演習	2	◎				
	MAN4022101	アニメーションCG演習2		★	★	演習	2	◎				

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

(※1) 科目ナンバリングコードについては、P59～のカリキュラムページで確認してください。

人文学部 文学専攻

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業 形態	単 位数	配当年次				備 考
				中	高			1年	2年	3年	4年	
				国語	国語							
教科に 関する 科目	HCH3205201	日本語学概論		★	★	講義	2		◎	○	○	
	HCH3503201	日本語学特講		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3613201	古文書解読		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3535201	古典文法		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3203201	日本文学研究		★	★	講義	2		◎			
	HCH3201201	文学概論		★	★	講義	2		◎			
	HCH3207201	日本上代文学講読		●	●	講義	2		○	○	○	4単位以上選択必修
	HCH3209201	日本中古文学講読		●	●	講義	2		○	○	○	
	HCH3211201	日本中世文学講読		●	●	講義	2		○	○	○	
	HCH3213201	日本近世文学講読		●	●	講義	2		○	○	○	
	HCH3215201	日本近現代文学講読		●	●	講義	2		○	○	○	
	HCH3501201	日本文学史		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3505201	説話・伝承史		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3517201	口承文学		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3521201	書誌学		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3617201	日本文化史		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3519201	漢文学		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3543201	書道		★		講義	2		○	○	○	
(大学が独自に 設定する科目)	HCH3711201	社会階層論		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3745201	ジェンダーと社会		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3735201	多文化共生論		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3753201	子ども支援論		★	★	講義	2		○	○	○	
第66条の6に 定める科目	(※1)	日本国憲法	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習1	教職A/教職B	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習2	教職A/教職B	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	英語1		★	★	演習	2	◎				指定されたクラスを履修すること
	(※1)	英語2		★	★	演習	2	◎				
	HCH4113201	ICT・メディア演習		★	★	演習	2		◎			

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

(※1) 科目ナンバリングコードについては、P59～のカリキュラムページで確認してください。

人文学部 歴史専攻

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業 形態	単 位 数	配当年次				備 考
				中 社会	高 地歴			1年	2年	3年	4年	
教科に 関する 科目	CHU1013101	日本史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	CHU1017101	西洋史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	CHU1015101	東洋史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	HCH3303201	日本史研究			★	講義	2		◎			
	HCH3301201	歴史学概論			★	講義	2		◎			
	HCH3305201	日本・アジア関係史			★	講義	2		◎	○	○	
	HCH3621201	日本の美術			●	講義	2		○	○	○	6単位以上選択必修
	HCH3617201	日本文化史			●	講義	2		○	○	○	
	HCH3633201	日本景観史			●	講義	2		○	○	○	
	HCH3637201	京都の歴史1			●	講義	2		○	○	○	
	HCH3639201	京都の歴史2			●	講義	2		○	○	○	
	HCH3601201	考古学特講			●	講義	2		○	○	○	4単位以上選択必修
	HCH3307201	日本古代史特講			●	講義	2		○	○	○	
	HCH3309201	日本中世史特講			●	講義	2		○	○	○	
	HCH3311201	日本近世史特講			●	講義	2		○	○	○	
	HCH3313201	日本近現代史特講			●	講義	2		○	○	○	
	HCH3603201	地理学		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3035201	地域学		★	★	講義	2		◎			
	HCH3605201	歴史地理学		★	★	講義	2		○	○	○	
	CSS1003101	法学		★		講義	2	○	○	○	○	
	CSS1001101	政治学		★		講義	2	○	○	○	○	
	HCH3703201	社会学概論		★		講義	2		○	○	○	
	HCH3721201	経済学概論		★		講義	2		○	○	○	
	HCH3011101	哲学概論1		★		講義	2	◎	○			
	HCH3012101	哲学概論2		★		講義	2	◎	○			
	CHU1029101	倫理学		★		講義	2	○	○	○	○	
	CHU1001101	宗教史		★		講義	2	○	○	○	○	
大学が独自に 設定する科目	HCH3711201	社会階層論		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3745201	ジェンダーと社会		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3735201	多文化共生論		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3753201	子ども支援論		★	★	講義	2		○	○	○	
第66条の6に 定める科目	(※1)	日本国憲法	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習1	教職A/教職B	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習2	教職A/教職B	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	英語1		★	★	演習	2	◎				指定されたクラスを履修すること
	(※1)	英語2		★	★	演習	2	◎				
	HCH4113201	ICT・メディア演習		★	★	演習	2		◎			

[必修/選択必修の見方: ★ 必修、● 選択必修]

(※1) 科目ナンバリングコードについては、P59～のカリキュラムページで確認してください。

人文学部 社会専攻

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業 形態	単 位 数	配当年次				備 考
				中 社会	高 公民			1年	2年	3年	4年	
教科に関する科目	CHU1013101	日本史		★		講義	2	○	○	○	○	
	CHU1017101	西洋史		★		講義	2	○	○	○	○	
	CHU1015101	東洋史		★		講義	2	○	○	○	○	
	HCH3603201	地理学		★		講義	2		○	○	○	
	HCH3035201	地域学		★		講義	2		◎			
	HCH3605201	歴史地理学		★		講義	2		○	○	○	
	CSS1003101	法学		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	CSS1001101	政治学		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	HCH3703201	社会学概論		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3721201	経済学概論		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3403201	社会研究			★	講義	2		◎			
	HCH3405201	現代社会論			★	講義	2		◎	○	○	
	HCH3411201	現代社会特講1			●	講義	2		○	○	○	4単位以上選択必修
	HCH3412201	現代社会特講2			●	講義	2		○	○	○	
	HCH3413201	現代社会特講3			●	講義	2		○	○	○	
	HCH3414201	現代社会特講4			●	講義	2		○	○	○	
	HCH3733201	宗教社会学			●	講義	2		○	○	○	2単位以上選択必修
	HCH3717201	国際関係論			●	講義	2		○	○	○	
	HCH3739201	環境社会論			●	講義	2		○	○	○	
	HCH3715201	南北問題			●	講義	2		○	○	○	
	HCH3011101	哲学概論1		★	★	講義	2	◎	○			
	HCH3012101	哲学概論2		★	★	講義	2	◎	○			
	CHU1029101	倫理学		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	CHU1001101	宗教史		★	★	講義	2	○	○	○	○	
	(※1)	心理学	A/B		★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
(大学が独自に設定する科目)	HCH3711201	社会階層論		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3745201	ジェンダーと社会		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3735201	多文化共生論		★	★	講義	2		○	○	○	
	HCH3753201	子ども支援論		★	★	講義	2		○	○	○	
第66条の6に定める科目	(※1)	日本国憲法	A/B	★	★	講義	2	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習1	教職A/教職B	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	スポーツ実習2	教職A/教職B	★	★	実習	1	○	○	○	○	ABクラスのいずれかを履修すること
	(※1)	英語1		★	★	演習	2	◎				指定されたクラスを履修すること
	(※1)	英語2		★	★	演習	2	◎				
	HCH4113201	ICT・メディア演習		★	★	演習	2		◎			

[必修/選択必修の見方: ★ 必修、● 選択必修]

(※1) 科目ナンバリングコードについては、P59～のカリキュラムページで確認してください。

6. 専修免許状の取得について(大学院生対象)

専修免許状とは、一種免許状(学部を卒業することで取得できる免許状)を基礎にして、大学院で所定の単位を修得し、修了することで取得できる免許状です。現在の教員採用試験において必要とされる免許状は一種免許状がほとんどですが、一方で高等学校を中心に指導教科に関する専門的な知識や力量が求められる傾向が高まりつつあります。一種免許状を基礎に、修士課程、博士前期課程での高度な学修を通して得た知見を教員として活かしたいと思うみなさんに必要な免許状と言えます。

専修免許状を取得するための条件

- 前提となる一種免許状を取得していること
例) 中学校教諭専修免許状(美術)の取得を希望する場合 → 中学校教諭一種免許状(美術)を取得していることが条件
- 修士の学位を有すること(修士課程・博士前期課程を修了すること)
- 以下の「教科又は教職に関する科目」を24単位以上修得すること

芸術研究科

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	クラス	必修/選択必修			授業 形態	単位 数	備 考
				中専	高専				
				美術	美術	工芸			
教科又は教職に関する科目 (大学が独自に設定する科目)	GMC5001501	表現特論		★	★	★	講義	2	
	GMA5001501	芸術理論特講		★	★	★	講義	2	
	GMA5011501	表現領域特講1		●	●	●	講義	2	4単位以上選択必修
	GMA5012501	表現領域特講2		●	●	●	講義	2	
	GMA5013501	表現領域特講3		●	●	●	講義	2	
	GMA5014501	表現領域特講4		●	●	●	講義	2	
	(※1)	芸術研究1		★	★	★	実習	4	
	(※1)	芸術研究2		★	★	★	実習	4	
	(※1)	芸術研究3		★	★	★	実習	4	
	(※1)	芸術研究4		★	★	★	実習	4	

デザイン研究科

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	クラス	必修/選択必修			授業 形態	単 位 数	備 考
				中専	高専				
				美術	美術	工芸			
教科又は教職に関する科目 (大学が独自に設定する科目)	GMC5001501	表現特論		★	★	★	講義	2	
	GMD5001501	デザイン理論特講		★	★	★	講義	2	
	GMD5011501	創造領域特講1		●	●	●	講義	2	4単位以上選択必修
	GMD5012501	創造領域特講2		●	●	●	講義	2	
	GMD5013501	創造領域特講3		●	●	●	講義	2	
	GMD5014501	創造領域特講4		●	●	●	講義	2	
	(※1)	デザイン研究1		★	★	★	実習	4	
	(※1)	デザイン研究2		★	★	★	実習	4	
	(※1)	デザイン研究3		★	★	★	実習	4	
	(※1)	デザイン研究4		★	★	★	実習	4	

(※1) 科目ナンバリングコードについては、P59～のカリキュラムページで確認してください。

[必修/選択必修の見方: ★ 必修、● 選択必修]

マンガ研究科

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業形態	単位数	備考
				中専美術	高美術			
教科又は教職に関する科目 (大学が独自に設定する科目)	GMC5001501	表現特論		★	★	講義	2	
	GMM5001501	マンガ理論特講		★	★	講義	2	
	GMM5011501	マンガ領域特講1		●	●	講義	2	4単位以上選択必修
	GMM5012501	マンガ領域特講2		●	●	講義	2	
	GMM5013501	マンガ領域特講3		●	●	講義	2	
	GMM5014501	マンガ領域特講4		●	●	講義	2	
	(※1)	マンガ研究1		★	★	実習	4	
	(※1)	マンガ研究2		★	★	実習	4	
	(※1)	マンガ研究3		★	★	実習	4	
	(※1)	マンガ研究4		★	★	実習	4	

人文学研究科

科目区分	科目ナンバリングコード	科目名	クラス	必修/選択必修		授業形態	単位数	備考
				中専社会	高公民			
教科又は教職に関する科目 (大学が独自に設定する科目)	GMH5011501	表象領域特講1		★	★	講義	2	
	GMH5012501	表象領域特講2		★	★	講義	2	
	GMH5013501	表象領域特講3		★	★	講義	2	
	GMH5014501	表象領域特講4		★	★	講義	2	
	GMH5111501	人文学特殊講義1		★	★	講義	2	
	GMH5112501	人文学特殊講義2		★	★	講義	2	
	GMH5113501	人文学特殊講義3		★	★	講義	2	
	GMH5114501	人文学特殊講義4		★	★	講義	2	
	(※1)	人文学合同演習		★	★	講義	2	
	(※1)	人文学基礎演習		★	★	講義	2	
	(※1)	人文学演習1		★	★	講義	2	
	(※1)	人文学演習2		★	★	講義	2	

(※1) 科目ナンバリングコードについては、P59～のカリキュラムページで確認してください。

[必修/選択必修の見方：★ 必修、● 選択必修]

博物館学芸員課程

1. 博物館学芸員課程履修の心得

博物館法に基づき、博物館において資料の収集や保管、展示、調査研究をおこなう専門的職員を一般に博物館学芸員といいます。「博物館」と呼ばれるものにも様々な館種があり、歴史・自然科学・民族などの博物館だけではなく、動物園、水族館、植物園などにおいても専門職としての職域が開かれています。本学では『博物館法』に定める科目を取得する中で、博物館学芸員に必要な資質・能力を積極的に身につけたいと考える右記のような熱意ある学生の履修を望みます。

- 博物館に興味があり、博物館学芸員になりたい人
- 一成人としてマナーを守り、謙虚な気持ちで博物館実習に臨める人
- 生涯学習に関心がある人

2. 博物館学芸員資格を取得するために必要な条件とは

博物館学芸員課程は、みなさんが所属する学部・学科・コースのカリキュラム(教育課程)とはまったく別のカリキュラムとなります。博物館学芸員資格を取得するためには、卒業に必要な単位以外に、博物館学芸員課程で定めた科目の単位を修得する必要があります。

博物館学芸員資格を取得するための条件

- (1) 博物館学芸員課程の課程登録を済ませていること(資格課程ハンドブック参照)。
- (2) 学士の学位を有すること(卒業することが条件)。
- (3) 博物館学芸員課程で定めた科目の単位を修得すること。

3. 博物館実習とは

博物館業務の基本は、資料を収集・保管・展示し、そのための調査研究、整理、分類、作品解説等を行うことです。授業科目の「博物館実習」では、博物館活動の基礎知識ならびに初歩的技術を修得するために、博物館施設において本学担当教員および博物館学芸員から実地で指導を受け、博物館実務の理論と実践を学びます。

本学の博物館学芸員課程では、3年次後期に実習先の博物館施設を学生各自が選択し、4年次に館務実習を行います。

(1) 学内実習

学内において、担当教員から収集・保管・資料管理等についての指導を受ける。

(2) 見学実習

担当教員の引率・指導のもと、もしくは学生各自で博物館施設における展示および文化財などの見学(年間を通じて10館程度)を行う。

(3) 館務実習

博物館・美術館において、現職の博物館学芸員から実務指導を受ける。館務実習は原則として、夏期休暇期間中に1週間程度実施する。

4. 博物館学芸員課程の4年間の流れ

4年間の流れ

1年	4月	学芸員資格に関する科目履修開始				
2年	4月	資格課程ガイダンス(課程登録手続き)				
3年	4月	資格課程ガイダンス	12月	博物館実習予備登録説明会		
4年	4月	資格課程ガイダンス	8月頃	博物館実習	3月下旬	学芸員資格取得(卒業式)

5. 博物館学芸員課程 履修科目一覧

- 【4年次「博物館実習」履修条件】①「博物館実習」を除くA群必修科目の単位をすべて修得済みであること。
②B群選択科目のうち、B1からB5(B6)までの5(6)系列の中から2系列以上にわたり、2科目4単位以上を修得済みであること。

芸術・デザイン・マンガ・ポピュラーカルチャー学部 履修科目一覧

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	クラス	必修/ 選択	授業 形態	単位数	配当年次				備 考
							1年	2年	3年	4年	
A群	CQG5001102	生涯学習概論	B	必修	講義	2	○	○	○		
	CQM5001101	博物館概論		必修	講義	2	○	○			
	CQM5011301	博物館経営論		必修	講義	2			○		
	CQM5021301	博物館資料論		必修	講義	2			○		
	CQM5031301	博物館資料保存論		必修	講義	2			○		
	CQM5041201	博物館展示論		必修	講義	2		○	○		
	CQM5051201	博物館教育論		必修	講義	2		○	○		
	CQM5061201	博物館情報・メディア論		必修	講義	2		○	○		
	CQM6001401	博物館実習		必修	実習	3				○	
B1群	(※1)	美術史	A/B	選択	講義	2	○	○	○		B1～B5までの B群5系列の中から、 2系列以上にわたり、 2科目4単位以上を 選択必修
	(※1)	西洋美術史	A/B	選択	講義	2	○	○	○		
	(※1)	日本美術史	A/B	選択	講義	2	○	○	○		
	(※1)	東洋美術史	A/B	選択	講義	2	○	○	○		
B2群	CHU1019101	考古学		選択	講義	2	○	○	○		
B3群	(※1)	民俗学	A/B	選択	講義	2	○	○	○		
B4群	(※1)	自然科学概論	A/B	選択	講義	2	○	○	○		
B5群	(※1)	生物学	A/B	選択	講義	2	○	○	○		

人文学部 総合人文学科 履修科目一覧

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	クラス	必修/ 選択	授業 形態	単位数	配当年次				備 考
							1年	2年	3年	4年	
A群	CQG5001102	生涯学習概論	B	必修	講義	2	○	○	○		
	CQM5001101	博物館概論		必修	講義	2	○	○			
	CQM5011301	博物館経営論		必修	講義	2		○			
	CQM5021301	博物館資料論		必修	講義	2		○			
	CQM5031301	博物館資料保存論		必修	講義	2			○		
	CQM5041201	博物館展示論		必修	講義	2		○	○		
	CQM5051201	博物館教育論		必修	講義	2		○	○		
	CQM5061201	博物館情報・メディア論		必修	講義	2		○			
	CQM6001401	博物館実習		必修	実習	3				○	
B1群	HCH3617201	日本文化史		選択	講義	2		○	○		B1～B6までの B群6系列の中から、 2系列以上にわたり、 2科目4単位以上を 選択必修
	HCH3505201	説話・伝承史		選択	講義	2		○	○		
B2群	HCH3621201	日本の美術		選択	講義	2		○	○		
	HCH3623201	アジアの美術		選択	講義	2		○	○		
B3群	HCH3601201	考古学特講		選択	講義	2		○	○		
B4群	HCH3609201	民俗学概論		選択	講義	2		○	○		
B5群	(※1)	自然科学概論	A/B	選択	講義	2	○	○	○		
B6群	(※1)	生物学	A/B	選択	講義	2	○	○	○		

(※1) 科目ナンバリングコードについては、P59～のカリキュラムページで確認してください。

図書館司書課程

1. 図書館司書課程履修の心得

図書館とはこれまで生きてきた人びとが積み重ねてきた表現活動資料が蓄積された場です。図書館司書はこのような資料を守り、人びととつなげる役割を果たす人たちのことです。現在の図書館は、情報技術のめざましい発展により、図書館相互のネットワーク機能や館内の検索機能、所蔵品データベースの多機能化、情報の発信などさまざまな機能が向上しています。一方で多様な人びとが利用できるようなサービスの向上などが社会からより一層求められるようになっていきます。

図書館司書となる資格を得るためには『図書館法』第5条第1項および本学が定めた規定に基づく条件を満たす必要がありますが、同時にこのような現在の社会状況を認識し、対応できる人材とならなくてはなりません。

本学図書館司書課程では以下のような熱意ある学生の履修を望みます。

- 生涯学習に関心がある人
- 資料収集・分析に取り組むことができる人
- 粘り強く、継続して学び続ける姿勢を持っている人
- コミュニケーション能力のある人
- 芸術、文化などの面で自らの知識を伸ばし、地域や社会に役立ちたいと思っている人

2. 図書館司書資格を取得するために必要な条件とは

図書館司書課程は、みなさんが所属する学部・学科・コースのカリキュラム（教育課程）とはまったく別のカリキュラムとなります。

図書館司書資格を取得するためには、卒業に必要な単位以外に、図書館司書課程で定めた科目の単位を修得する必要があります。

図書館司書資格を取得するための条件

- (1) 図書館司書課程の課程登録を済ませていること（資格課程ハンドブック参照）。
- (2) 学士の学位を有すること（卒業することが条件）。
- (3) 図書館司書課程で定めた科目の単位を修得すること。

3. 図書館司書課程 履修科目一覧

【履修条件】次の科目には履修順序や履修条件の指定があります。

①情報サービス系

「情報サービス演習1」「情報サービス演習2」は同一学期に履修すること。なお、「情報サービス演習1」「情報サービス演習2」の履修は、「情報サービス論」の単位修得を前提条件とする。

②情報資源組織系

「情報資源組織演習1」「情報資源組織演習2」は同一学期に履修すること。なお、「情報資源組織演習1」「情報資源組織演習2」の履修は、「情報資源組織論」の単位修得を前提条件とする。（人文学部生は、3年次前期に「フィールドスタディーズ」を履修するため、情報資源組織系3科目は4年次に履修してください。再履修のチャンスはありません。）

科目 区分	科目 ナンバリング コード	科目名	クラス	必修/ 選択	授業 形態	単位数	配当年次				備 考
							1年	2年	3年	4年	
全 学 部 対 象 履 修 科 目 一 覧	CQG5001101	生涯学習概論(生涯学習概論I)	A	必修	講義	2	◎	○	△	△	
	CQL5000101	図書館概論		必修	講義	2	◎	○	△	△	
	CQL5001301	図書館制度・経営論		必修	講義	2			○	○	
	CQL5011301	図書館情報技術論		必修	講義	2			○	○	
	CQL5021201	図書館サービス概論		必修	講義	2		○	○	○	
	CQL5031201	児童サービス論		必修	講義	2		○	○	○	
	CQL5041201	図書館情報資源概論		必修	講義	2		○	○	○	
	CQL5051201	情報サービス論		必修	講義	2		○	○	○	
	CQL6001201	情報サービス演習1		必修	演習	1		○	○	○	同一年次に履修すること
	CQL6002201	情報サービス演習2		必修	演習	1		○	○	○	
	CQL5061301	情報資源組織論		必修	講義	2			○	○	同一年次に履修すること
	CQL6011301	情報資源組織演習1	A/B	必修	演習	1			○	○	
	CQL6012301	情報資源組織演習2	A/B	必修	演習	1			○	○	同一年次に履修すること
	CQL51013	図書館サービス特論		選択必修	講義	2			○	○	
	CQL51113	図書館情報資源特論※		選択必修	講義	2			○	○	6科目のうち2科目以上を 選択必修
	CQL51212	図書・図書館史※		選択必修	講義	2		○	○	○	
	CQL51312	書誌学		選択必修	講義			○	○	○	
	CQL51413	芸術資料特論		選択必修	講義				○	○	
	CQL61013	図書館実習		選択必修	実習				○	○	

※2022年度より以下の科目変更があります。

「書誌学」、「芸術資料特論」、「図書館実習」が新規開講となり、「図書館情報資源特論」、「図書・図書館史」は閉講となります。

2021年度までに「図書館情報資源特論」、「図書・図書館史」を取得済の場合は選択必修科目として認められます。

また人文学部生は学部開講の「書誌学」を履修登録してください。

9

諸 規 程

SCHOOL REGULATIONS ➤

※諸規程ページは、2024年度版『学習のてびき(2021年度以降入学生向け)』にてご覧ください。

※諸規程ページは、2024年度版『学習のてびき(2021年度以降入学生向け)』にてご覧ください。

10 施設

← CAMPUS MAP

※施設ページは、2024年度版『学習のてびき(2021年度以降入学生向け)』にてご覧ください。

※施設ページは、2024年度版『学習のてびき(2021年度以降入学生向け)』にてご覧ください。

2024年度版

学習のてびき 2024

2017～2020年度入学生向け

2024年4月発行

京都精華大学

〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137

<http://www.kyoto-seika.ac.jp>

京 都 精 華 大 学

〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137

<http://www.kyoto-seika.ac.jp>